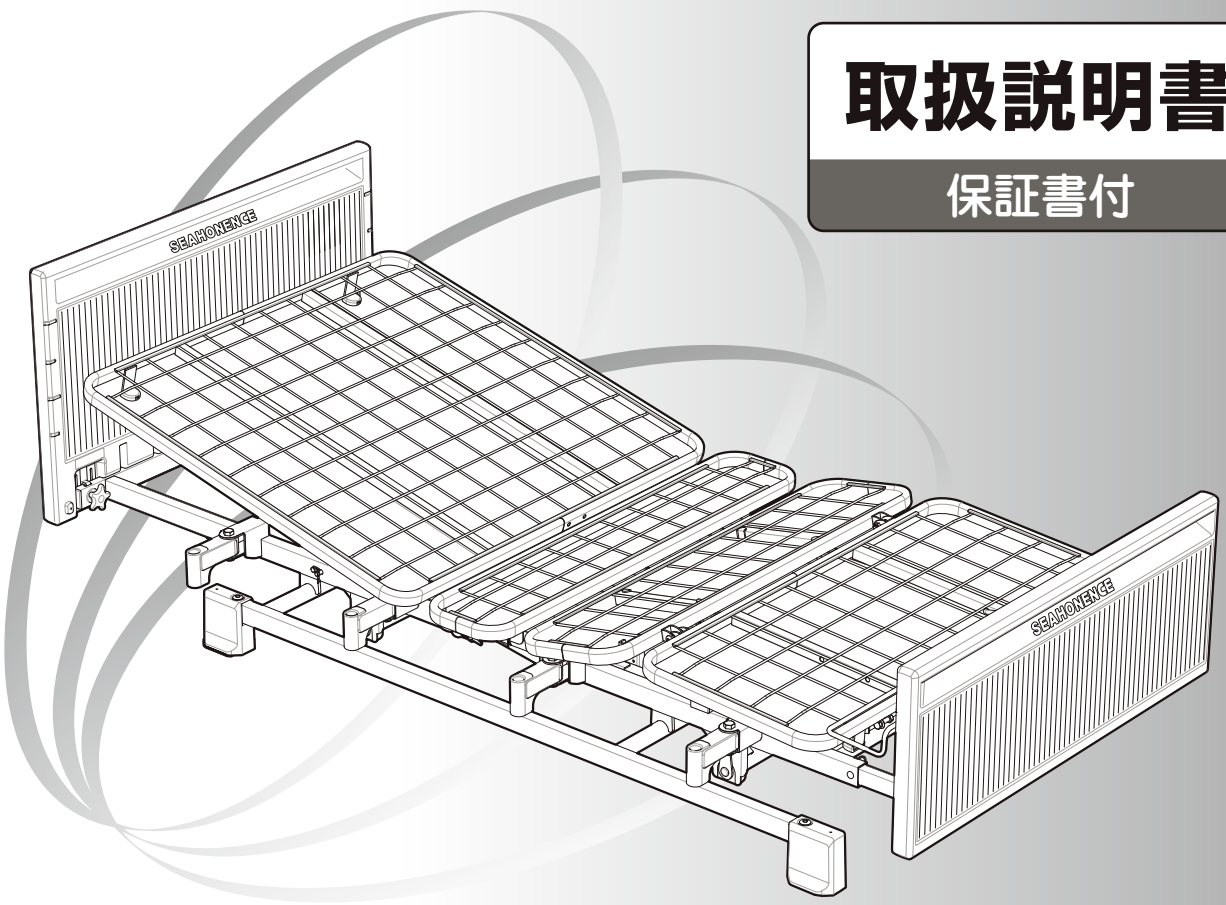
SEAHONENCE

電動在宅ケアベッド

CORE Neo（コア・ネオ）

NS-830・NS-820・NS-810



取扱説明書

保証書付

ベッドを正しくお使いいただくために シーホネンスからのお願い

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。
- **ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。**
- ベッドを使用される方ばかりでなく、付き添いの方にも安全な操作方法を説明してください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。電源・電圧が異なるため海外では使用できません。

シーホネンス株式会社

ベッドの使用目的・特長

「**電動在宅介護ベッド　CORE　Neoシリーズ**」は、ご家庭でベッドを使用する方の動作を助けること、介護する方の介護負担を軽減することを目的として作られたベッドです。

ベッドには主に次のような特長があります。

1. **電源ボタン**と**動作ロック機能**の採用で**誤操作**を防止します。

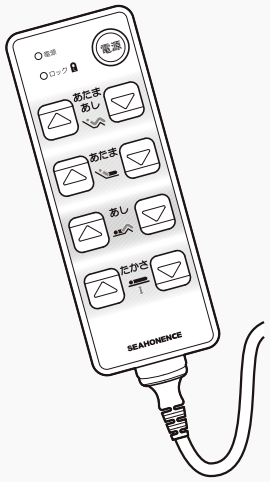
◆一定時間（5分）手元スイッチを操作しないときは、電源が自動で切れます。電源が切れた状態で、誤って操作ボタンが押されてもベッドが動くことはありません。

◆動作ロック機能により、専用のキーを使用し全ての操作、高さ操作、背上げと膝上げの操作、ヘッドレストの操作をロックできます。

2. **手元スイッチ操作** でベストポジションを自在にコントロールできます。

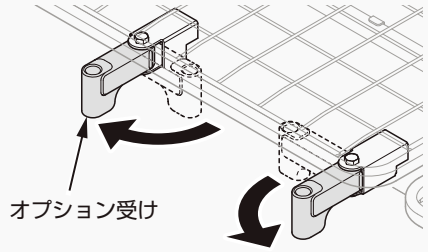
◆NS-820・NS-810は、背ボトム角度を無段階に調節できます。当社独自構造「背上げ脚連動モーション」を搭載。より良い姿勢を保ちながら、身体の前ズレを最小限に抑えて腹部にかかる圧迫も軽減できます。
NS-820は、高さも無段階に調節できます。

◆NS-830は、背ボトム、膝ボトムの角度と高さが個別に調節できます。
あたまあし連動ボタンで背ボトム、膝ボトムの角度を同時に調節できます。



3. 収納式サイドレールホルダー

◆サイドレールホルダーを収納すると、足元の突起物が無くなり、端座位や離床を安心しておこなうことができます。また、ベッドをご使用の方や介助者が接触してケガをするリスクを軽減します。

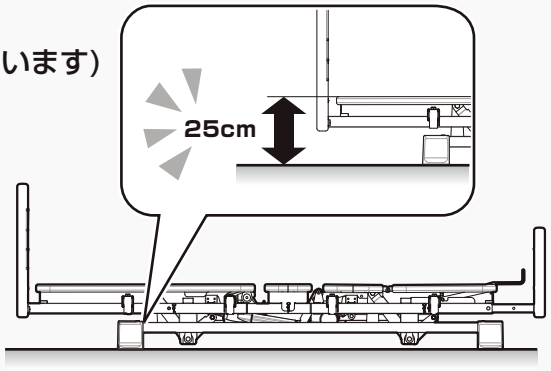


4. 低床25cm。

(ゆかからボトム上面までの高さを示しています)

◆乗り降りしやすく安定した端座位をとることができます。

◆最高床高61cmまで上がり、介護などの負担を軽減します。



5. 高性能リニアアクチュエータ を採用しています。

◆安定して動作する静音・高推力アクチュエータ。

◆万一の漏電にも安全な「低電圧DC24Vシステム」

6. 通気性抜群で衛生的なシーホネンス独自の メッシュボトム構造 を採用しています。

◆通気性に優れているため、湿気を発散し、雑菌の繁殖やカビの発生を防ぎます。

◆高強度溶接により、剛性と弾力性を兼ね備えています。

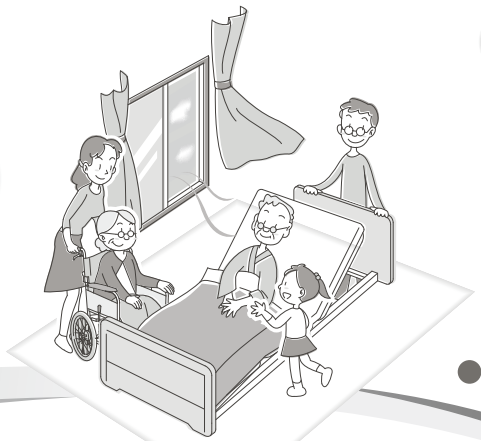
電動在宅介護ベッド CORE Neo

NS-800シリーズ

取扱説明書

―もくじ―

もくじ内の（利用者さま）のタグが付いた項目は、主にベッドを使われるかた、
（販売店さま）のタグが付いた項目は、主に販売店さまが対象になります。



ページ

はじめに（利用者さま）

安全にお使いいただくために …… **1〜7**
- 表示と絵表示について …… 1
- 警告ラベルについて …… 1
- 警告 …… 2
- 注意 …… 6〜7

主要部のなまえとはたらき …… **8**

使いかた（利用者さま）

操作のしかた …… **9〜14**
- 電源ボタンと動作ロック機能について …… 10
- 手元スイッチのボタン操作のしかた …… 11〜12
- 背上げ脚連動の切り換えについて …… 13
- 手元スイッチの取り付け位置について …… 14
- 脚先角度調整について …… 14

寝位置の調整（利用者さま）

CORE Neo専用ポジションスケールの活用方法について …… **15**
- ベッドのポジション（寝位置）の調節について …… 15

設置（販売店さま）

設置場所について …… **16**
ユニット変換について …… **17**
開梱と部品の確認 …… **18**
組み立てかた …… **19〜36**
- STEP1 脚座の取り付け …… 19
- STEP2 モーターユニットの取り付け …… 20〜21
- STEP3 ハイローモーターの取り付け …… 22
- STEP3 ハイロー支持金具の取り付け …… 23〜24
- STEP4 ベッドの角度と高さ調節 …… 25〜26
- STEP5 座ボトムの取り付け …… 27
- STEP6 背ボトムの取り付け …… 28
- STEP7 フロントユニットの取り付け …… 29
- STEP8 膝・脚ボトムの取り付け …… 30
- STEP9 リアユニットの取り付け …… 31〜32
- STEP10 マットレス止めの取り付け …… 33〜34
- STEP11 ヘッドボード・フットボードの取り付け …… 35〜36

組み立て後の点検 …… **37**

オプション（販売店さま）

オプション受けの使用方法 …… **38**
サイドレール …… **38〜41**
サポートグリップ …… **42**
回転式アーム介助バー …… **43**
キャスターセット …… **44〜45**
- 部品の確認 …… 44
- 取り付けかた …… 44〜45

ページ

オプション（販売店さま）
- IVポールホルダー …… 46
  - 取り付けかた …… 46
- ハイトスペーサー …… 47
  - 部品の確認 …… 47
  - 取り付けかた …… 47
- 電動ヘッドレストボトムユニット …… 48〜50
  - 部品の確認 …… 48
  - 取り付けかた …… 48〜50
  - 取り外した部品 …… 50
- ロングボトムユニット …… 51〜53
  - 部品の確認 …… 51
  - 取り付けかた …… 51〜53
  - 取り外した部品 …… 53
- 延長マットレス …… 54
  - 部品の確認 …… 54
  - 取り付けかた …… 54
- 後付けフットモーターユニット …… 55〜57
  - 部品の確認 …… 55
  - 取り付けかた …… 55〜57
  - 取り外した部品 …… 57

介護リフト使用時のご注意 …… 58
脚座保護パッド …… 58
マットレス …… 59

分解（販売店さま）
- 分解の前に …… 60
- 分解のしかた …… 60〜70
  - STEP1 ヘッドボード・フットボードの取り外し …… 60
  - STEP2 マットレス止め金具の取り外し …… 61
  - STEP3 リアユニットの取り外し …… 62
  - STEP4 膝ボトム・脚ボトムの取り外し …… 63
  - STEP5 フロントユニットの取り外し …… 64
  - STEP6 背ボトムの取り外し …… 64〜65
  - STEP7 座ボトムの取り外し …… 65
  - STEP8 ハイローモーターの取り外し …… 66
  - STEP8 ハイロー支持金具の取り外し …… 67
  - STEP9 モーターユニットの取り外し …… 68〜69
  - STEP10 脚座の取り外し（脚座を取り外して保管する場合） …… 70
- 付属部品と分解したユニットの保管 …… 71

こんなときは（利用者さま・販売店さま）
- 日常のお手入れ …… 72
- 故障かな？と思ったら …… 72
- 緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応） …… 73〜74
  - セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】を使用する方法について …… 73〜74
  - 手動での方法 …… 74
  - もどしかた …… 74
- 保管と移動 …… 75
  - 組み立てた状態で保管する場合 …… 75
  - 組み立てた状態で移動する場合 …… 75
  - 分解して保管または移動する場合 …… 75

仕　様 …… 76
ポジションスケール …… 77
保証とアフターサービス …… 裏表紙

はじめに

安全にお使いいただくために

必ずお読みください	必ずご使用前に『**安全にお使いいただくために**』をよくお読みになり正しくお使いください。 ベッド本体とオプションを安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

＜絵表示の例＞

 感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。
 分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図中の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。
 必ず守る	❗記号は、必ず実行していただく強制の内容があることを告げるものです。左図は、「必ず守る」を示しています。

ベッドのご使用時には、下記の項目の『警告』および『注意』を必ずお読みください。

警告ラベルについて 下記参照
警告内容について 2～5ページ 参照
注意内容について 6～7ページ 参照

警告ラベルについて

ベッドをお使いになる方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、各ユニットなどに貼っています。

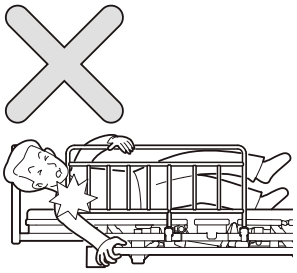
警告ラベルは、はがしたり傷をつけたりしないでください。

警 告 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●サイドレールやヘッド･フットボードのすき間に注意する

必ず守る

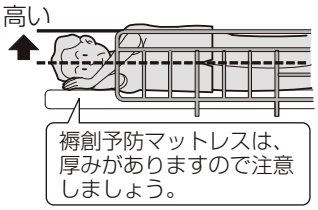
身体の一部（特に頭や首）がサイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間、サイドレール・回転式アーム介助バーなどとヘッド・フットボードや各ボトム・マットレスなどのすき間に入らないように注意してください。
すき間に入った状態でベッドを操作すると、はさまれてケガをするおそれがあります。
また、すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなったりするなどして、ケガをするおそれがあります。
特に予測のできない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避できないと思われる方につきましては、十分注意してください。
38 ページ 参照



●マットレス厚みとサイドレールの高さに注意して使用する

必ず守る

厚みのあるマットレスを使用する場合は、サイドレールの有効寸法高さが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。転倒・転落してケガをするおそれがあります。
最大マットレス厚（17cm）を超えない厚みのマットレスを使用してください。59 ページ 参照
高さの高いサイドレールが必要な場合は弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。



●サイドレールを使用するときはベッドからの転落に注意する

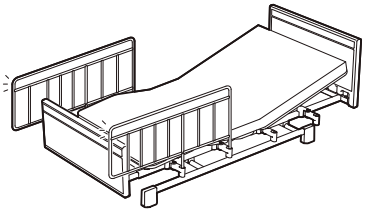
必ず守る

サイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間やヘッド・フットボードとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間から転落してケガをするおそれがあります。また、ヘッド・フットボード・サイドレール・回転式アーム介助バーなどの上から身を乗り出して転落し、ケガをするおそれがあります。
ベッドの背ボトムを上げた状態で使用する場合、転落防止としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
特に予想できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。

●オプション部品は正しい向きで取り付ける

必ず守る

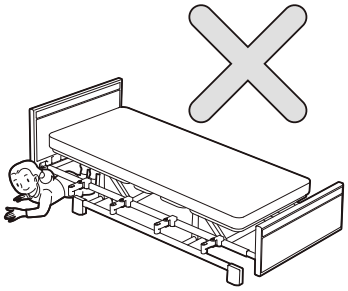
サイドレールや回転式アーム介助バーなどのオプション部品を取り付ける際は、正しい向きで取り付けてください。
ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して身体の一部がはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。
正しい向きでの取り付けかたについては、必ず各オプションの「取扱説明書」を参照してください。



●ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない

禁 止

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとの間に身体の一部（頭や手、足）をはさんでケガをするおそれがあります。
ベッドの操作時は、ベッドの下や周りに障害物がないことを確認して操作してください。
やむをえずベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れる必要がある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



●オプション部品やヘッドボードなどに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がらない

禁 止

サイドレールや回転式アーム介助バー、ロングボトムユニットなどのオプション部品やヘッド・フットボードに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がったりしないでください。
乗り降りの際は、足元のスペースを確保し、足がしっかりゆかにつくようにベッド高さを調節してください。
ベッドから転倒・転落してケガをしたり、ベッドやサイドレール・回転式アーム介助バー、ロングボトムユニットなどが破損・変形するおそれがあります。

●操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）に操作させない

禁 止

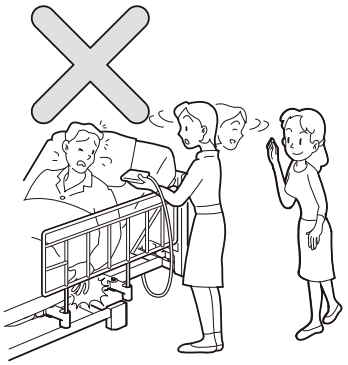
操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）が１人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。１人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

・手元スイッチの動作ロック機能で「高さの操作」または「全ての操作」をロックする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。10 ページ 参照
動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されているか必ず確認してください。
・電源プラグを抜いてください。

●ベッドをご使用の方に注意して操作する

必ず守る

ベッドを操作するときにオプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。衣類などが引っ張られるなどしてケガをするおそれがあります。
ベッドをご使用の方がボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、サイドレール・回転式アーム介助バーなどや各ボードなどとのすき間にはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。
無意識にボタンが押されることのないように手元スイッチは安全な位置においてください。
特に予測のできない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避できないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●ベッドからの転倒･転落に十分注意する

必ず守る

ベッドの乗り降りや車いすへの移乗のときにオプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。転倒･転落してケガをするおそれがあります。
特に介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離したりする際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じてボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。
思わぬケガをするおそれがあります。

●乳幼児やお子さまには使用しない

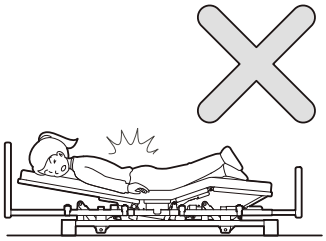
禁 止

本製品は、乳幼児やお子さま向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。
サイドレールを使用していてもすき間から転落して、ケガをするおそれがあります。

●うつ伏せや無理な姿勢での角度調節はおこなわない

禁 止

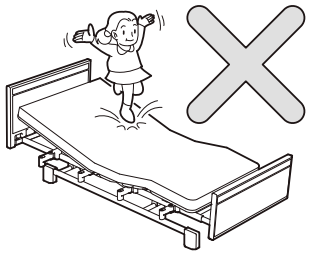
うつ伏せや無理な姿勢（仰向け以外）での角度調節は、ケガをするおそれがあります。
また、ベッドの頭側と足側を間違えた状態での角度調節も無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。



●ベッドの上で飛び跳ねたりしない

禁 止

ベッドから転倒・転落してケガをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。
特にお子さまにご注意ください。



●上がっている背ボトムや背ボトムに取付けられたオプション部品を手すりの代わりにしない

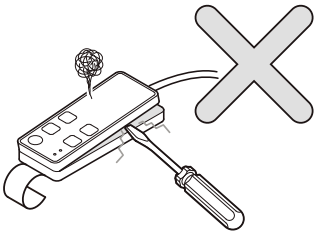
禁 止

無理に体重をかけたりすると、破損・抜け・変形などがおこり、転倒・転落してケガをするおそれがあります。

●分解、改造はしない

禁 止

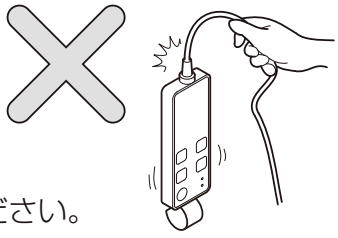
意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、ケガをするおそれがあります。
弊社指定の技術者以外の方は絶対に修理しないでください。
改造などをおこなった場合は、JIS 認証品として取扱いができなくなります。



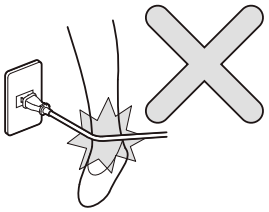
●コード類を傷つけない

禁 止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）が破損し、感電・火災のおそれがあります。
ベッドの可動部に手元スイッチやコード類をはさまないようにしてください。
コード類に重い物を置いたり無理な力を加えたりしないでください。
ベッドでコード類を踏みつけないでください。
傷んだ手元スイッチなどの電装部品やコード類は修理（交換）を依頼してください。



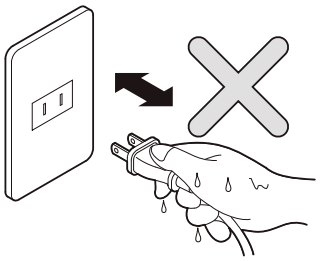
●コード類に足を引っ掛けない



禁 止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）に足を引っ掛けないようにしてください。
プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
また、転倒してケガをするおそれがあります。

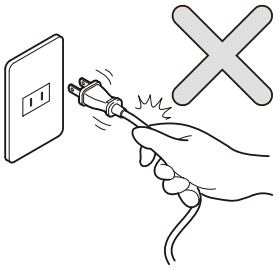
●電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



感電注意

ショートして感電・故障するおそれがあります。

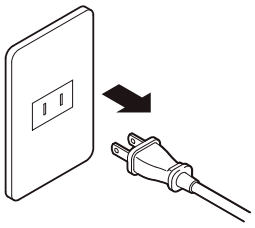
●電源コードを持って抜かない



感電注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
コードが傷んで感電・発火のおそれがあります。また、電源プラグには、無理な力を加えないでください。

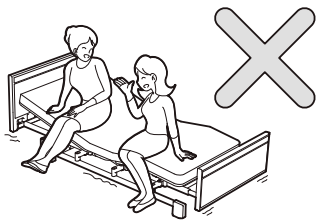
●お手入れは電源プラグを抜いてからおこなう



プラグを抜く

お手入れや掃除などベッドの下に入る際は、電源プラグを抜いてからおこなってください。
誤操作によるケガやショートによる感電のおそれがあります。

●このベッドは1人用の設計になっています



このベッドの最大利用者体重は 138kg です。一時的に介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確かめてください。

○ベッドにかかる荷重が最大利用者体重 138kg を超えていないこと

禁 止

安全動作荷重について

・このベッドの安全動作荷重は 174kg です。安全動作荷重は、ベッドの動作がおこなえる最大荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

※ベッドに安全動作荷重以上の荷重を加えないでください。

・ベッドが破損してケガをするおそれがあります。

注意　以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人がケガを負う可能性や物品的損害の発生が想定されます。

●本製品の取り扱いに注意する

禁 止

輸送、設置、移動の際は絶対に落下など衝撃を与えないでください。
振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管しないでください。
使用時はたたいたり、飛び乗ったりしないでください。
故障の原因となります。

●静電気に注意する

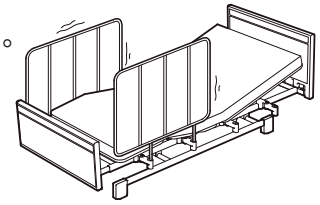
禁 止

コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属部分に触れるなどして、人体や衣服から静電気を除去してください。また、コード類を接続する際には差し込み口の内部に触れないよう注意をしてください。静電気の影響によって故障などの原因となるおそれがあります。49～50、56～57 ページ 参照

●適合品以外と組み合わせしない

禁 止

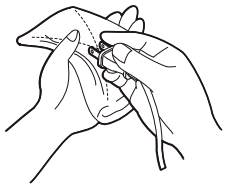
弊社が指定する適合品以外の製品とは組み合わせしないでください。
オプション製品などは、必ず弊社が指定する適合品を使用してください。適合品以外の製品と組み合わせると意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、ケガをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。38～57 ページ 参照



●電源プラグにほこりを付着させない

禁 止

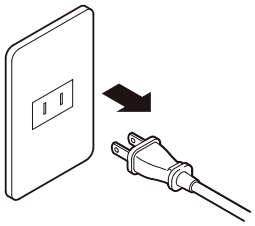
電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火のおそれがあります。
電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



●電子治療器を使用するときは、必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

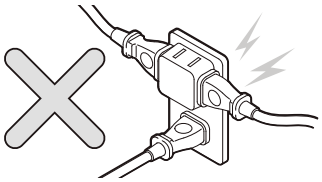
電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
なお、他の ME 機器と併用する際は、安全を確認の上、使用してください。



●タコ足配線はおこなわない

禁 止

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。



●ベッドは定期的に点検する

必ず守る

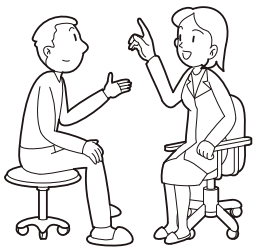
使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。
定期的に各部のゆるみ、可動部の動作破損の有無などを点検してください。
思わぬケガをするおそれがあります。

●被災したベッドは点検・修理する

必ず守る

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートまで点検・修理を依頼してください。
電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってケガをするおそれがあります。

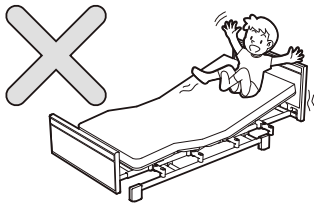
●容態にあわせて使用する



必ず守る

ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談してください。
ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない



禁 止

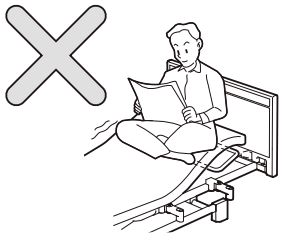
ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因になります。

●火器に近付けない

必ず守る

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。
変質・変形・発火などの原因になります。

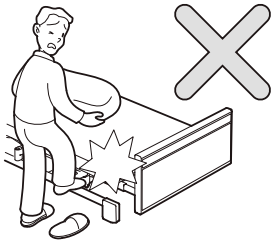
●ヘッドレストを上げた状態でヘッドレストの上に座らない



禁 止

ヘッドレストを上げた状態でヘッドレストに大きな負荷をかけないでください。
破損・故障の原因になります。
また、ご利用にならない際は介護者が操作し、介護者がベッドから離れる際は、安全確保のためヘッドレストを水平な位置に戻してください。12 ページ 参照

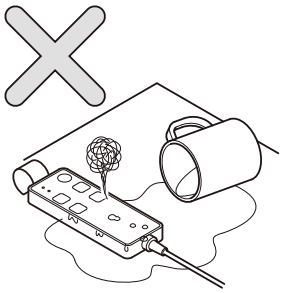
●足先をベースフレームの上や下に置かない



禁 止

ベースフレームの上に足をかけたり、足先を下にいれたりしないでください。
はさまれてケガをするおそれがあります。

●水などをこぼさない



必ず守る

手元スイッチなどの電装品は防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。
故障の原因になります。
水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取り、乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

●スプレータイプの殺虫剤をベッドなどに直接噴射しない

禁 止

殺虫剤に含まれる溶剤によって樹脂部品が破損・変形・溶解するおそれがありますので十分ご注意ください。

●ベッドやベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください

必ず守る

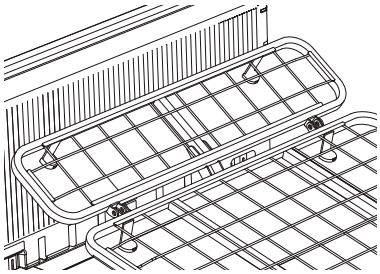
キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

主要部のなまえとはたらき

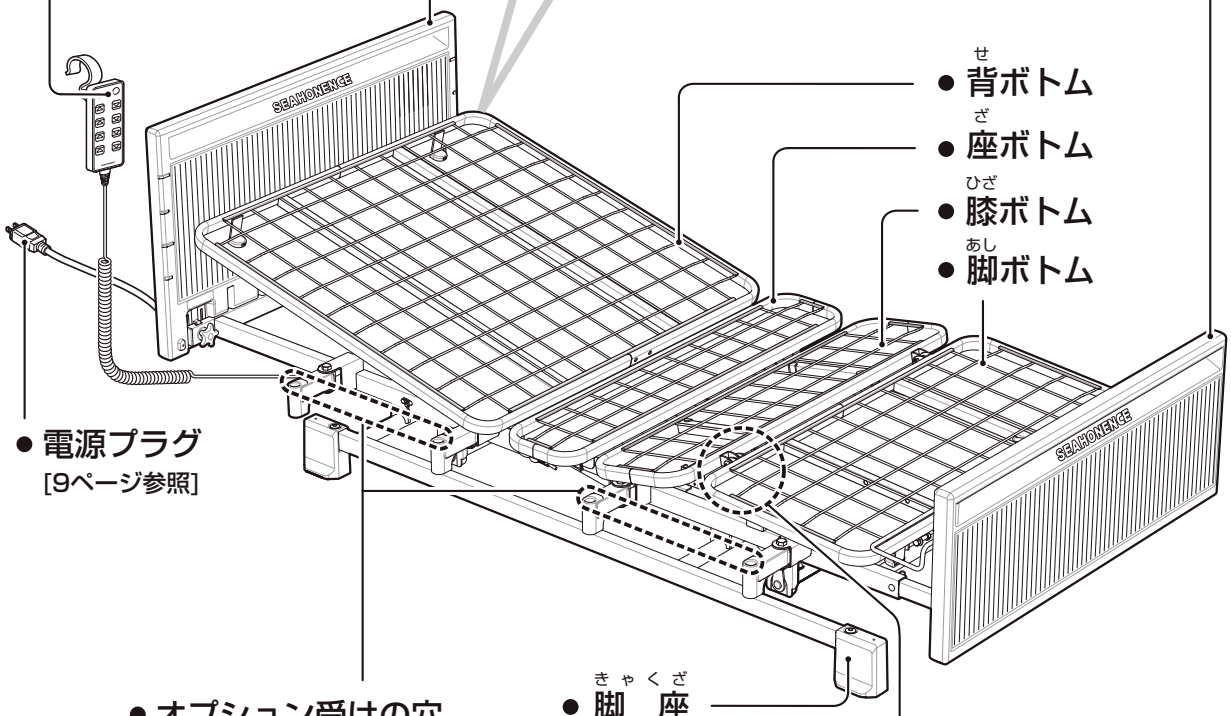
● **手元スイッチ**
[10～11、14ページ参照]
ベッドの高さ、ボトムの角度を無段階で調節できます。
上部に付いているフックで、ボードまたはサイドレールなどの外側に掛けてください。
※操作(動作)については、「使いかた」を参照してください。

● **ヘッドボード**
[35～36、60ページ参照]
ノブボルトを外して、上に持ち上げると外れます。

● **フットボード**
[35～36、60ページ参照]
ノブボルトを外して、上に持ち上げると外れます。



[オプション]
● **電動ヘッドレストユニット**
[10～12、48～50ページ参照]
オプションとして取り付け可能です。

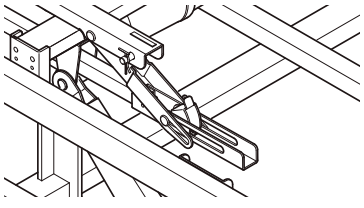


● **背(せ)ボトム**
● **座(ざ)ボトム**
● **膝(ひざ)ボトム**
● **脚(あし)ボトム**

● **電源プラグ**
[9ページ参照]

● **オプション受けの穴**
[38ページ参照]
オプションを取り付けられます。
片側にそれぞれ4ヶ所あります。

● **脚　座(きゃくざ)**
[19、44、70ページ参照]
左右に４ヶ所あります。



[NS-820、NS-810のみ]
● **背上げ脚連動切り換えレバー**
[13ページ参照]
「背上げ脚連動」と「背上げ」の切り換えができます。

使いかた

操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトムの角度、ベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

※NS-820・NS-810（背上げ1モーター）は、膝ボトムだけでの角度調節はできません。

操作の前に、ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⚠ 警 告

◆操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）が1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

・手元スイッチの動作ロック機能で「高さロック」または「全ロック」の設定をする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。10 ページ 参照

動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されていることを必ず確認してください。

・電源プラグを抜いてください。

⚠ 注 意

ケガ・破損の原因になります

◆電動ヘッドレスト（オプション）を上げた状態で電動ヘッドレスト（オプション）に大きな負荷をかけないでください。

◆電動ヘッドレスト（オプション）を上げた状態で背ボトムを必要以上に高く上げないでください。

ベッドをご使用の方が体位を崩し、ベッドから転落するおそれがあります。ベッドのあたま側にサイドレールや回転式アーム介助バーなどを取り付け、転落事故を未然に防いでください。
ご使用にならない際は水平な位置に戻してください。

◆電動ヘッドレスト（オプション）は介護者が操作してください。体位をご自分で保持できない方がご使用になる場合、介護者がベッドから離れる際には、安全確保のためヘッドレストを水平な位置に戻してください。

故障の原因になります

◆モーターの連続使用時間は2分までです。2分以上の連続使用はおこなわないでください。
続けて使用する場合はしばらく時間をおいて使用してください。

◆手元スイッチは防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。

水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取ってください。乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

◆手元スイッチはNS-800シリーズ以外のベッドに取り付けないでください。また、他の機種の手元スイッチをNS-800シリーズのベッドに取り付けないでください。

誤った手元スイッチの組み合わせは、誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

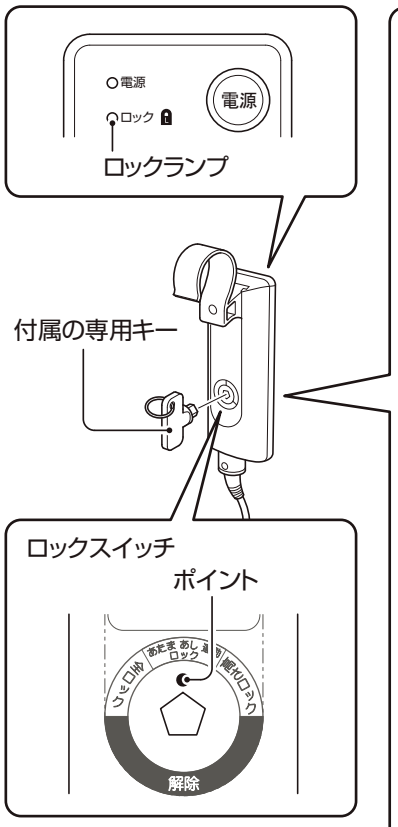
電源ボタンと動作ロック機能について

電源ボタン

手元スイッチの電源ボタンを押すことで各操作ができるようになります。（電源ランプ:緑点灯）
誤操作による事故を未然に防ぐため、操作が終わったら電源ボタンを押して電源を切ってください。

動作ロック機能

手元スイッチ裏側のロックスイッチを付属している専用キーで回転させることで、ロック操作を設定できます。ロックスイッチを回転させて設定するときは、ポイントの位置を表示の中央に合わせてください。



・ポイントの位置が
「解除」のとき
→全ての操作ができます。
工場出荷時は「解除」になっています。

・ポイントの位置が
「高さロック」のとき
（NS-810は**「高さロック」**ではなく、**「ロック」**と表示されています）
→高さの操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

・ポイントの位置が
「全ロック」のとき
（NS-810は**「全ロック」**ではなく、**「ロック」**と表示されています）
→全ての操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

・ポイントの位置が
「あたま あし 連動ロック」のとき
（NS-820とNS-810は**「あたま あし 連動ロック」**ではなく、**「解除」**と表示されています）
→「あたま　あし」ボタンの操作ができません。
※「あたま」ボタンと「あし」ボタンは個別に操作できます。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

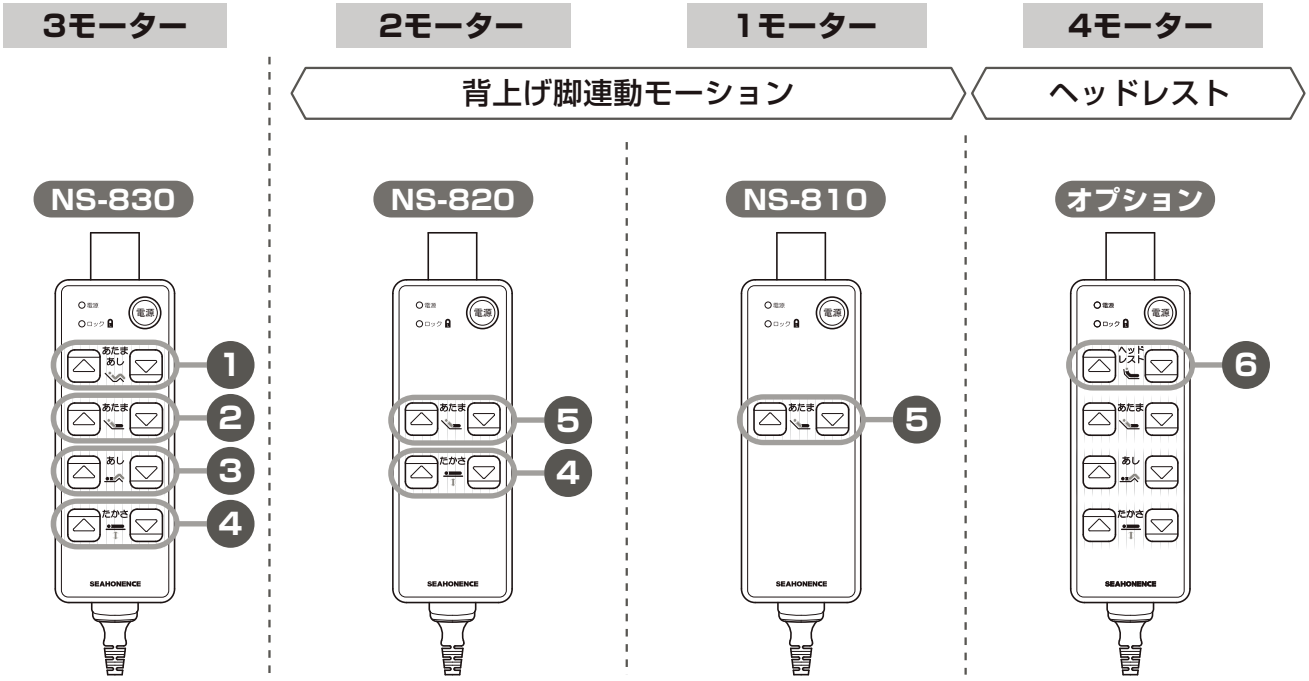
電動ヘッドレストボトムユニット（オプション）のロックスイッチ
・ポイントの位置が**「ヘッドレストロック」**のとき
（NS-830は**「ヘッドレストロック」**ではなく、**「あたま あし 連動ロック」**と表示されています。
NS-820とNS-810は**「ヘッドレストロック」**ではなく、**「解除」**と表示されています）
→ヘッドレストの操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

Point

●動作ロックを設定したにもかかわらず、ロックランプが点灯していないときは、動作ロックが正しく設定できていません。再度設定してください。

手元スイッチのボタン操作のしかた

下図のボタンでベッドの背ボトム、膝ボトムの角度、ベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。



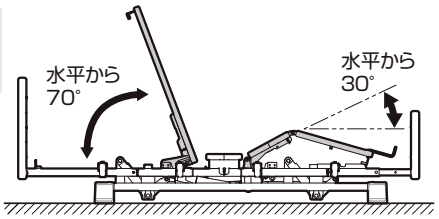
Point

- 手元スイッチの操作ボタンや使える機能は、お使いのベッドのタイプにより異なります。
  お使いのベッドのタイプをご確認のうえ、手元スイッチを操作してください。
- 電源ボタンとロック機能の操作のしかたは、「電源ボタンと動作ロック機能について」を参照してください。10 ページ 参照
- 手元スイッチを押してもベッドが動かないときは、「故障かな？と思ったら」を参照して点検してください。72 ページ 参照
  それでも正常に動作しない場合は、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。
- ベッド上で飲食される際には、背ボトムを上げてヘッドレストをご使用いただき誤嚥のリスク低減を図ってください。また、就寝中に唾液を誤嚥する危険のあるご利用者は、就寝時にもヘッドレストをご利用いただけます。
  ヘッドレストをご使用の場合は、かかりつけの医師やホームヘルパーなどにご相談ください。

❶あたま＋あしについて（NS-830）

からだに負担をかけない

を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に上がります
を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に下がります

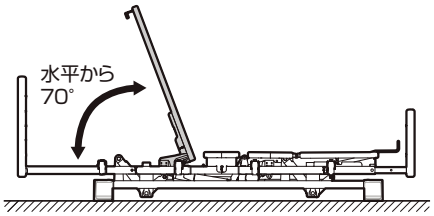


●背ボトムと膝ボトムの角度を同時に調節できます。

❷あたまについて（NS-830）

・ベッドから起き上がるとき
・ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

を押すと背ボトムが上がります
を押すと背ボトムが下がります



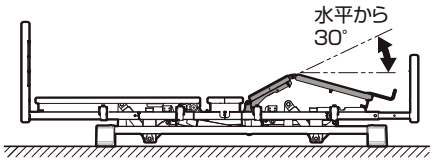
●背ボトムの角度を調節できます。

背ボトムは、水平から最大70°まで調節できます。

❸あしについて（NS-830）

・背上げをおこなう場合に便利
・からだに負担をかけない

を押すと膝ボトムが上がります
を押すと膝ボトムが下がります



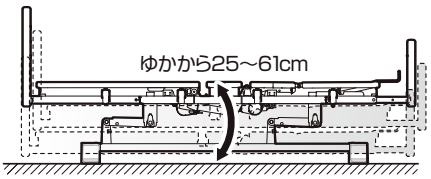
●膝ボトムの角度を調節できます。

膝ボトムは、水平から最大30°まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

❹たかさについて（NS-830・NS-820）

・乗り降りのときに高さを調節
・サポートしやすい高さに調節するときに便利
・介護する方の腰に負担をかけない

を押すと高さが上がります
を押すと高さが下がります



● ベッドの高さを調節できます。

ゆかからボトムまでの高さは25～61cm間で調節できます。（マットレスを除く）

❺背上げ脚連動モーションについて（NS-820・NS-810）

・ベッドから起き上がるとき
・ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

●背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム最大70°、膝ボトム最大20°まで上がります。

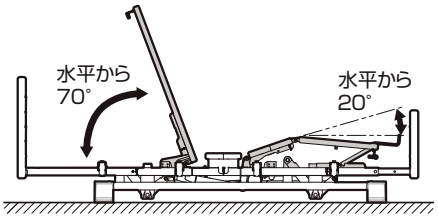
※NS-820・NS-810は、膝ボトムだけでの角度調整はできません。

●背上げ脚連動モーション使用時

を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に上がります
を押すと背ボトムと膝ボトムが同時に下がります

●背上げ脚連動モーション解除時

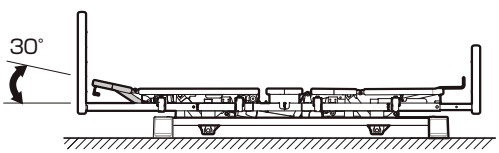
を押すと背ボトムが上がります
を押すと背ボトムが下がります



❻ヘッドレストについて（オプション）

・食事をおこなう場合に便利
・誤嚥のリスクを低減

を押すとヘッドレストが上がります
を押すとヘッドレストが下がります



●ヘッドレストの角度を調節できます。

ヘッドレストは、最大30°まで調節できます。
※からだに負担がかからないように調節します。

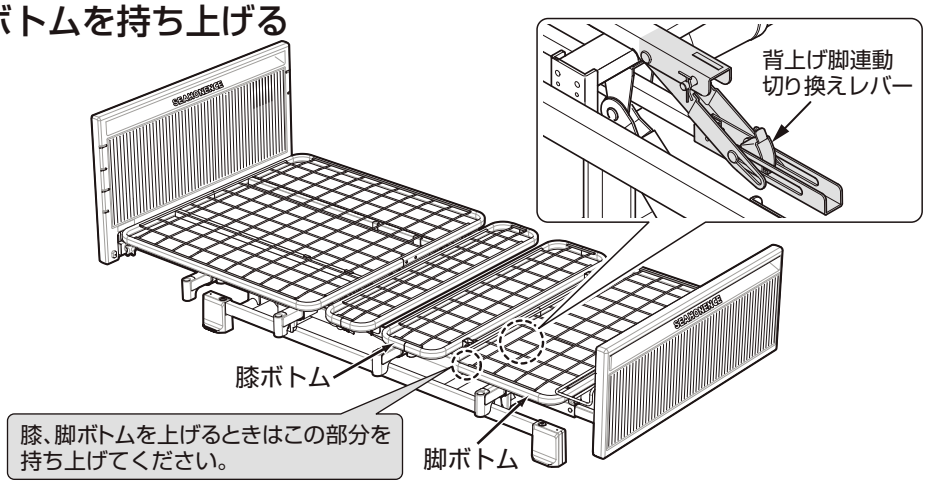
背上げ脚連動の切り換えについて

NS-820･NS-810

NS-830ではこの作業はおこないません

切り換えレバーにより背ボトムと膝ボトムが連動して上がる「背上げ脚連動」と背上げ単独の「背上げ」の2種類の操作が選択できます。ベッドをご使用の方の状態に合わせて使い分けてください。

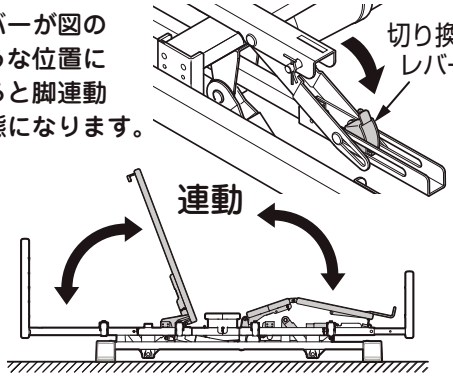
1 膝・脚ボトムを持ち上げる



2 背上げ脚連動切り換えレバーを操作する

＜背上げ脚連動 状態＞

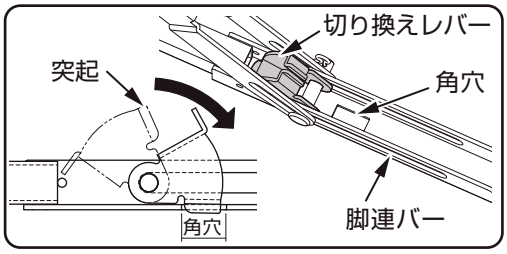
レバーが図のような位置にあると脚連動状態になります。



Point

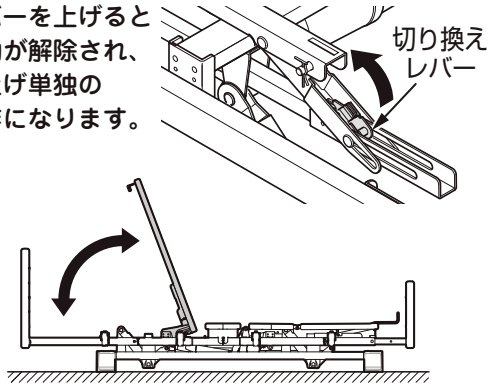
背上げ脚連動状態に切り換えるとき、
切り換えレバーの突起の位置を確認する

切り換えレバーの突起が脚連バーの角穴にはまっていることを確認してください。



＜背上げ脚連動 解除 状態＞

レバーを上げると連動が解除され、背上げ単独の操作になります。



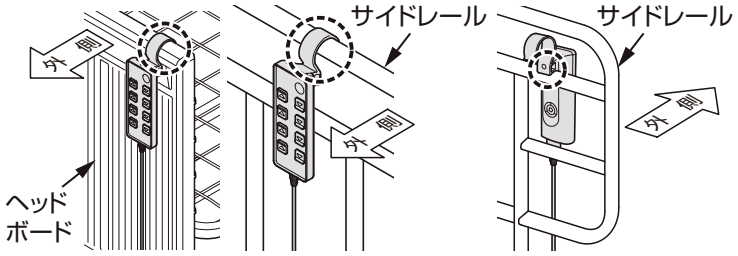
⚠ 注意

ケガをするおそれがあります

◆背上げ脚連動切り換えレバーの操作は、背ボトムを水平にして必ず手でおこなってください。
◆ボトムとフレームの間で手をはさまないよう注意してください。
◆ベッドをご使用中の方に必ずベッドから降りていただき、切り換えレバーの操作をおこなってください。

手元スイッチの取り付け位置について

手元スイッチは手元スイッチ上部のフックを利用してヘッドボードやフットボードの上端やサイドレールに引っ掛けることができます。引っ掛けるときはベッドの外側に掛けてください。また、フックの根元付近を利用してサイドレールや手に引っ掛けることもできます。



⚠ 警 告

ケガをするおそれがあります

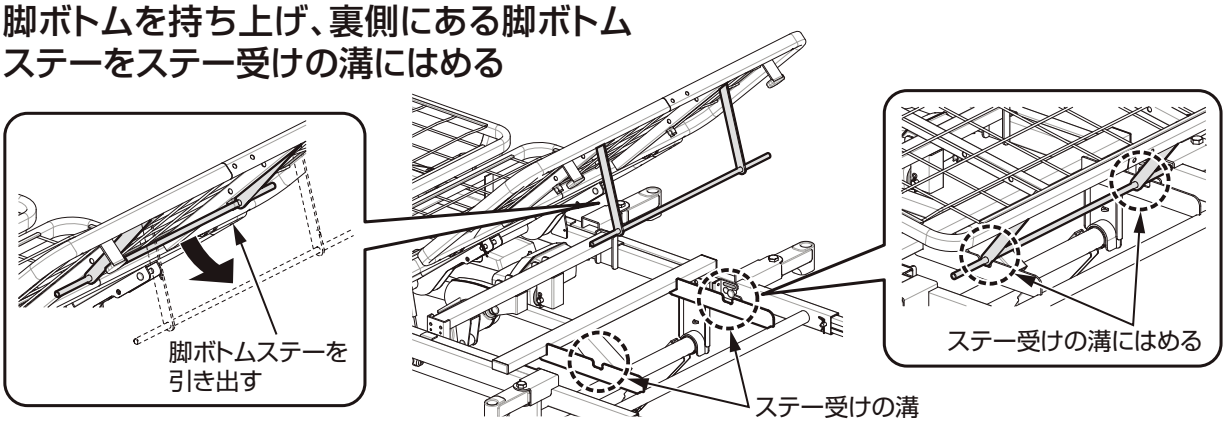
◆ベッドをご使用の方が手元スイッチを操作するときは、必ず手に持って操作してください。誤操作や意図しない動作をして、ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとはさんでケガをするおそれがあります。

◆手元スイッチをヘッドボードやフットボード、サイドレールに引っ掛けるときは、安全のためベッドの外側に掛けてください。ベッドの外側以外の場所に掛けるとボトムとサイドレールのすき間に手元スイッチがはさまれ、手元スイッチが破損・変形するおそれがあります。

脚先角度調整について

足のむくみ対策のため、膝上げ時に足先を持ち上げることができます。

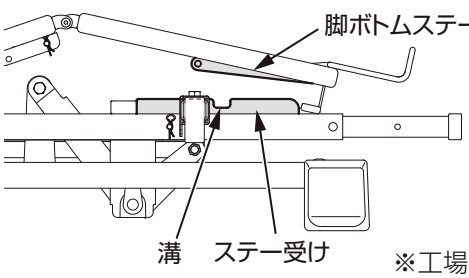
1 脚ボトムを持ち上げ、裏側にある脚ボトムステーをステー受けの溝にはめる



Point

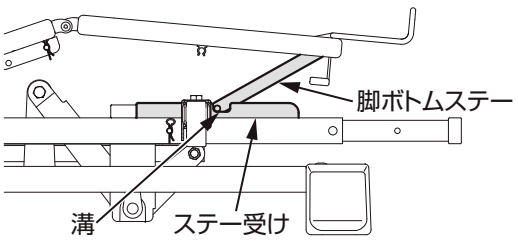
●脚ボトムステーを使用することにより脚ボトムを持ち上げることができます。

使用しないとき



※工場出荷時

使用したとき



膝ボトムの持ち上げ角度に応じて脚ボトムが持ち上がります。

⚠ 注 意

ケガ・破損の原因になります

◆脚先角度調整は、手や腕などをはさまないように注意してください。

◆脚先角度調整は、ベッドをご使用中の方に必ずベッドから降りていただいてからおこなってください。

ベッドの寝位置の調整

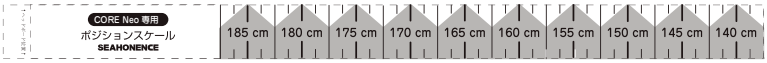
CORE Neo 専用ポジションスケールの活用方法について

「ポジションスケール」を使用することで、ベッドを利用される方の身長からおおよその寝位置を合わせることができます。
ベッドの背上げ動作の効果を十分発揮させるためにご活用ください。

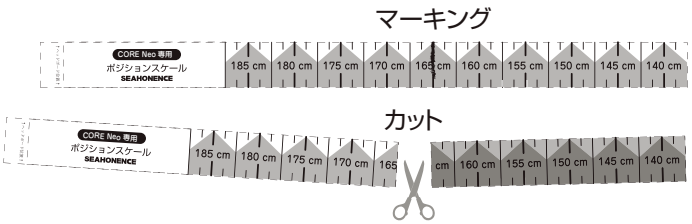
ベッドのポジション（寝位置）の調節について

1 ポジションスケールを用意する

1. このページまたは77ページをコピーします。
2. ポジションスケールを切り取り線にそって、下図のように切り抜きます。



3. ご利用になる方の身長に合わせてペンやマジックなどでマーキングし、はさみでカットします。

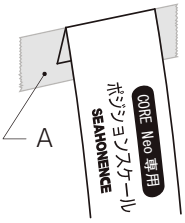


（例：身長165cmの人の場合、165ｃｍラインでマーキングしてカットします。）

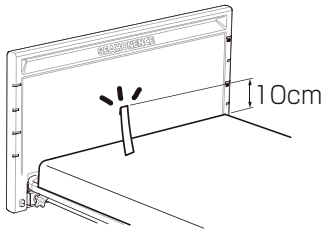
2 ポジションスケールをヘッドボードに貼り付ける

1. ポジションスケールを点線部で折り曲げます。

2. Aの面にセロハンテープを貼ります。

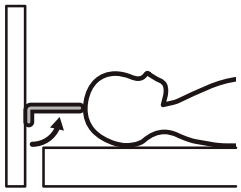


3. ヘッドボードのマットレス面から10cmほどの位置に貼り付けます。



3 ベッドの寝る位置を確認する

スケールを水平に伸ばします。頭の頂点とマーキングしたポイントが合わさる場所がおおよそのポジションです。



Point

- 寝る位置の目安がついたら枕の位置を合わせてご使用ください。
- このポジションスケールは、CORE Neo専用です。他のベッドでご使用になれません。
- 全てのご使用者様にとって正確な寝る位置を示すものではありません。
  ベッドに寝る位置を合わせる際のおおよその目安としてご活用ください。

設置

設置場所について

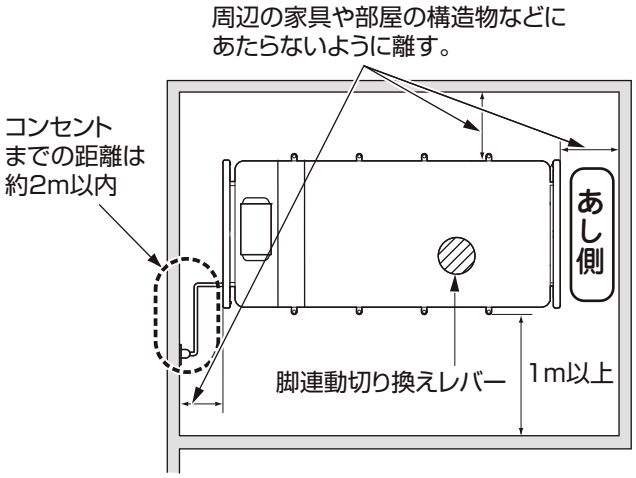
ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

設置スペースを確保する

右図を参考に設置します。

1.ベッドの一方の側面を壁際に寄せて設置する場合は、ご利用者の乗り降りや介助をするためのスペースと方向を予め検討してください。

2.ご利用者や介護する方が、誤って電源コードに足を引っ掛けないように引回しをしてください。



水平で丈夫なゆかを選ぶ

ベッドの質量は最大約88kgです。ベッドの質量と使用される方、オプション製品、寝具なども含めた質量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

⚠ 警 告

ケガの原因になります

◆滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
使用中にベッドが動き、転倒やケガをするおそれがあります。

⚠ 注 意

家財破損の原因になります

◆畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

電源プラグが抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。

⚠ 注 意

事故・破損・ケガの原因になります

◆ベッドと壁、周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。
特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自力で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては十分ご注意ください。

◆ベッドを操作する（高さ調節や背上げ）際に周辺のポータブルトイレやくずかご、家具、部屋の構造物に当たらないように気を付けてください。
高さ調節をしたとき、あたま側からあし側の方向に8.5cm動作するため、周囲のものから10cm以上離して設置してください。

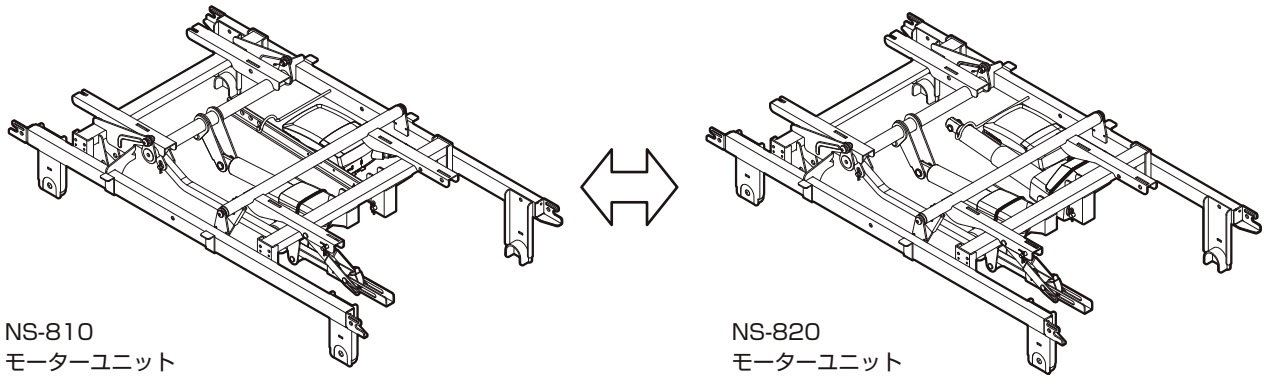
◆火気に近付けないでください。

◆タコ足配線はおこなわないでください。

ユニット変換について

ユニット変換により、3モーターから2モーターさらに1モーターへとベッド機能の選択が広がります。

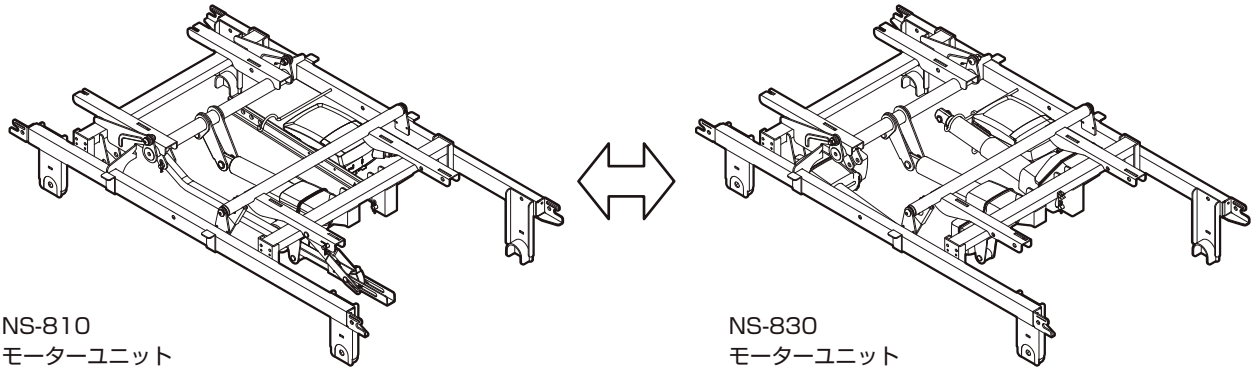
NS-810(背上げ1モーター) ⇔ NS-820(2モーター)



NS-810
モーターユニット

NS-820
モーターユニット

NS-810(背上げ1モーター) ⇔ NS-830(3モーター)

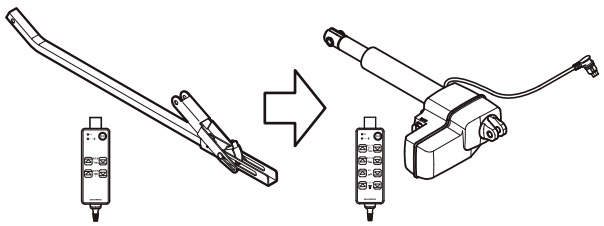


NS-810
モーターユニット

NS-830
モーターユニット

NS-820(2モーター)を3モーターへ

変換前のユニット　　変換するユニット



脚連動モーションユニット
2モーター手元スイッチ

後付けフットモーターユニット
脚上げモーター
3モーター手元スイッチ

⚠ 警告

事故・破損・ケガの原因になります

◆ユニット交換をおこなう際には、以下のページをご参照ください。

・ベッドの「分解」を参照してベッドを分解してください。60 ～ 71 ページ 参照

・「組み立てかた」「組み立て後の点検」を参照して変換前のユニットから変換するユニットへ組み立ててください。19 ～ 37 ページ 参照

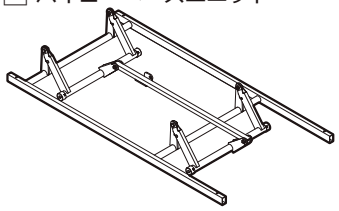
◆本書に記載された組み合わせ以外でのユニット交換はしないでください。

開梱と部品の確認

●組み立てる前に下記の部品が全て揃っているか確認してください。
●不足している部品や破損している部品がある場合は、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。

ハイローベースユニット
145×79×21（cm）
約 14.5kg（19.5kg）*

□ ハイローベースユニット



□ 脚座（4個）

□ プッシュリベット（4本）

□ ピン A（4本）

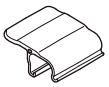
□ ピン B（1本）

□ ピン C（10本）

□ 取扱説明書（1冊）

□ スピードピン（15本）
（予備 3本）

□ マットレス止め（4個）



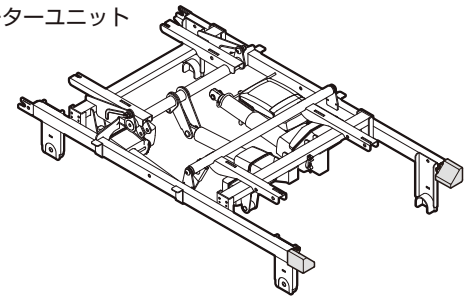
□ ワッシャ（4個）

□ スパックワッシャー
（4個）

□ ノブボルト（4本）

モーターユニット
112×68×27（cm）
NS-830：約 20kg（25kg）*
NS-820：約 19kg（24kg）*
NS-810：約 17.5kg（22.5kg）*

□ モーターユニット

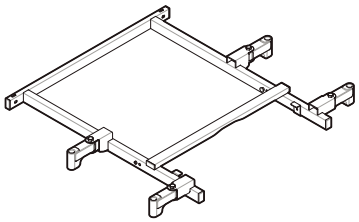


□ 手元スイッチ

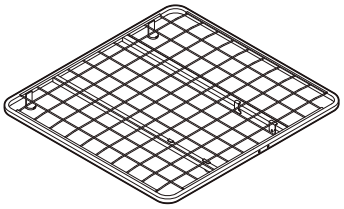
イラストは 3 モーター（NS-830）です。

フロントユニット / 背ボトム / 座ボトム
97×96×15（cm）
約 15.5kg（20kg）*

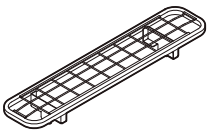
□ フロントユニット



□ 背ボトム

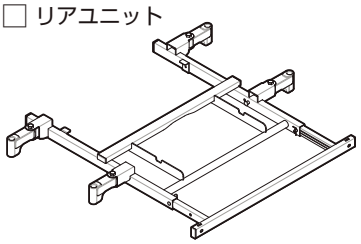


□ 座ボトム

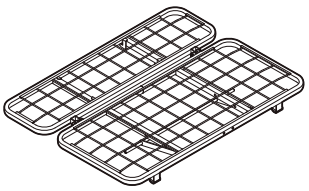


リアユニット / 膝・脚ボトム
93×96×15（cm）
約 15kg（20kg）*

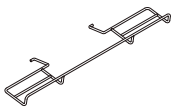
□ リアユニット



□ 膝・脚ボトム

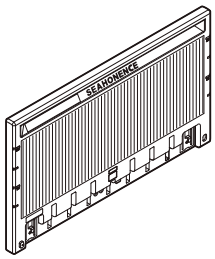


□ マットレス止め金具
（1本）

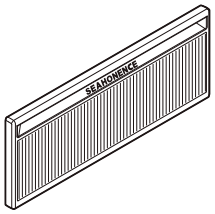


ヘッドボード・フットボード
（樹脂ボード）
94×53×11（cm）
約 7kg（9kg）*
（木製ボード）
94×56×9（cm）
約 8kg（10kg）*
（宮付きボード）
94×55×24（cm）
約 12.5kg（16.5kg）*

□ ヘッドボード



□ フットボード



イラストは樹脂ボードです。

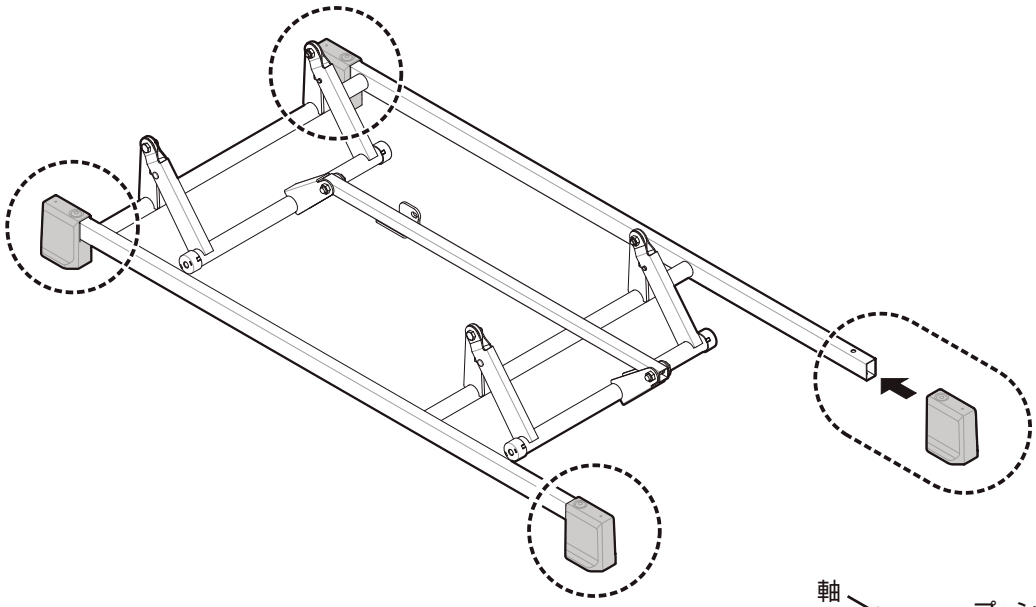
*：（　kg）は梱包材を含めた質量です。

組み立てかた

STEP1　脚座の取り付け

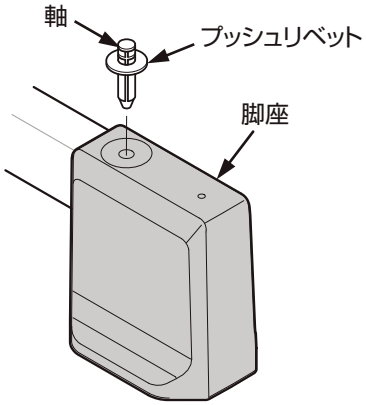
ベッドを組立てる前に、16ページの「設置場所について」を参照してベッドの配置を決めてください。

1 ハイローベースユニットに脚座を差し込む（4ヶ所）

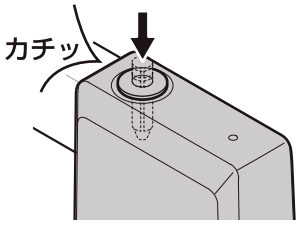


2 脚座をプッシュリベットで固定する（4ヶ所）

1. 脚座にプッシュリベットを差し込みます。



2. カチッと音がするまで軸を押し込みます。



⚠ 注意

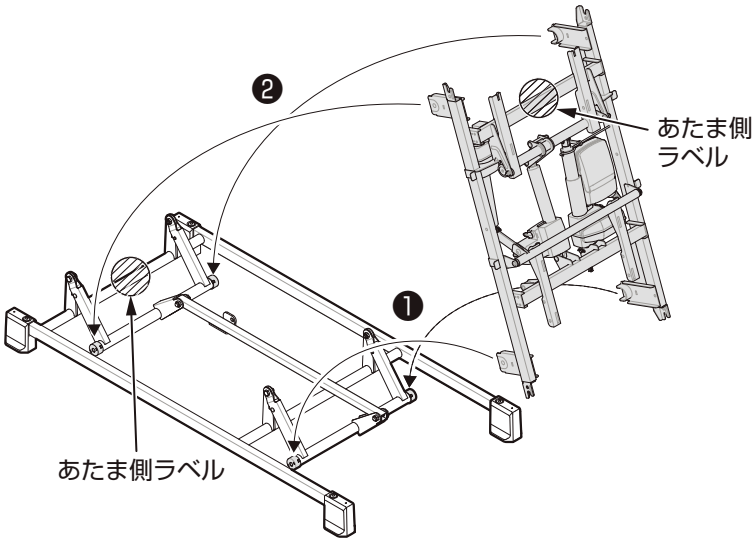
◆脚座はプッシュリベットで確実に固定してください。事故、破損の原因となります。

STEP2　モーターユニットの取り付け

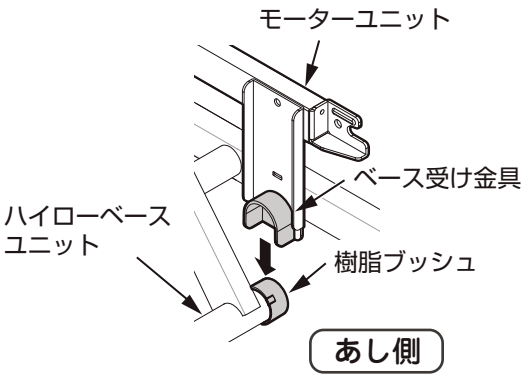
ユカキズ防止キャップ無しのとき
ユカキズ防止キャップ付きは次頁を参照願います

① モーターユニットの前後を確認して、ハイローベースユニットにのせる

1. ハイローベースユニットをモーターユニットの頭側ラベルが合うように、向きを合わせます。

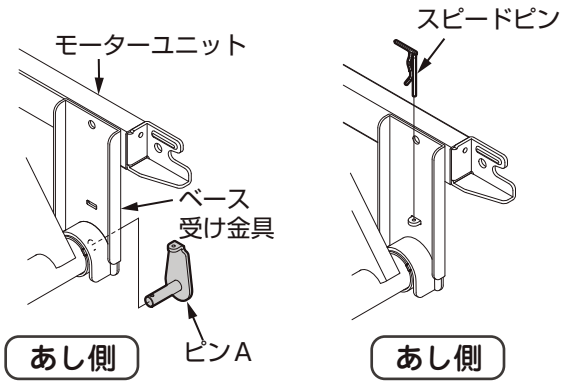


2. 図のようにあし側のハイローベースユニットの樹脂ブッシュ上にモーターユニットのベース受け金具をのせます。あたま側へフレームをゆっくり倒し、あたま側の樹脂ブッシュの上にベース受け金具をのせます。



② モーターユニットをハイローベースユニットに取り付ける

ピンAを差し込み、スピードピンで固定します（4ヶ所）。



⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります。

◆モーターユニットのあたま側ラベルとハイローベースユニットのあたま側ラベルを合わせてください。

◆ピンAとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

◆手、指づめに注意してください。

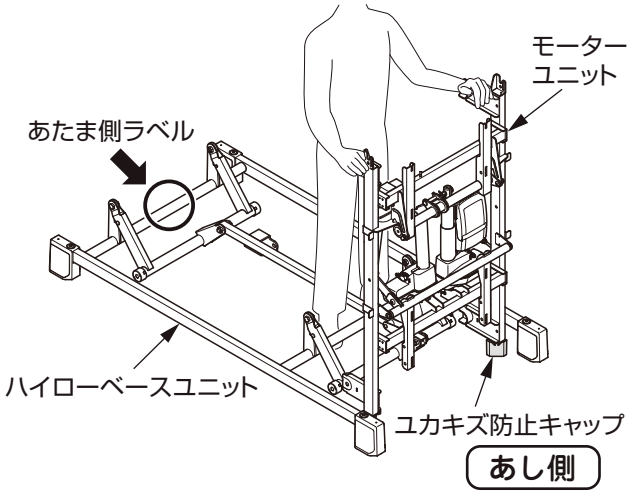
STEP2　モーターユニットの取り付け

ユカキズ防止キャップ付きのとき
ユカキズ防止キャップ無しは前頁を参照願います

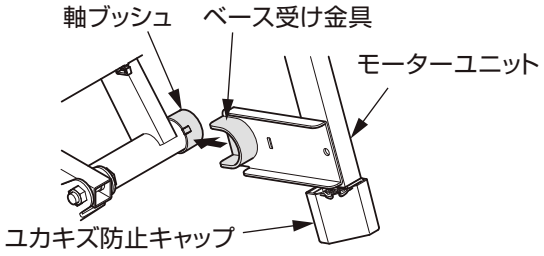
1 モーターユニットの前後を確認して、ハイローベースユニットにのせる

1. ハイローベースユニットをモーターユニットの頭側ラベルが合うように、向きを合わせます。

2. 右図のようにユカキズ防止キャップを下にしてモーターユニットを脚座の内側に立てます。

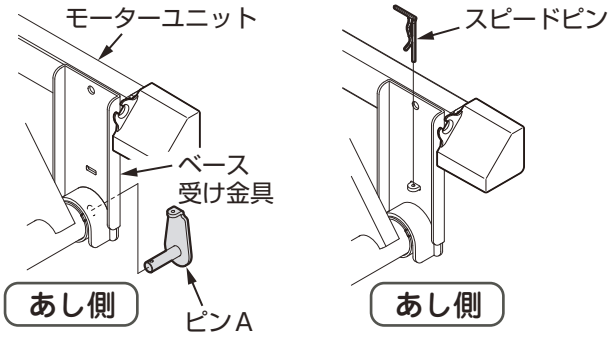


3. モーターユニットをハイローベースユニットのあたま側に移動させ、あし側の軸ブッシュにベース受け金具をのせます。



2 モーターユニットをハイローベースユニットに取り付ける

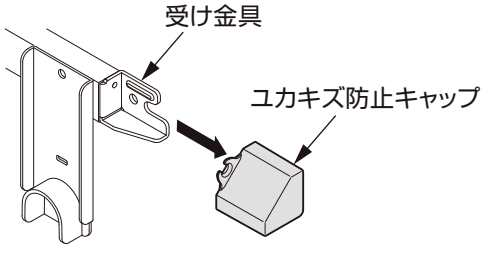
ピンAを差し込み、スピードピンで固定します（4ヶ所）。



3 ユカキズ防止キャップを取り外す

ユカキズ防止キャップを受け金具から取り外します（2ヶ所）。

※ユカキズ防止キャップが取り付けられた状態では組み立てることができません。



⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります。

◆モーターユニットのあたま側ラベルとハイローベースユニットのあたま側ラベルを合わせてください。

◆ピンAとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

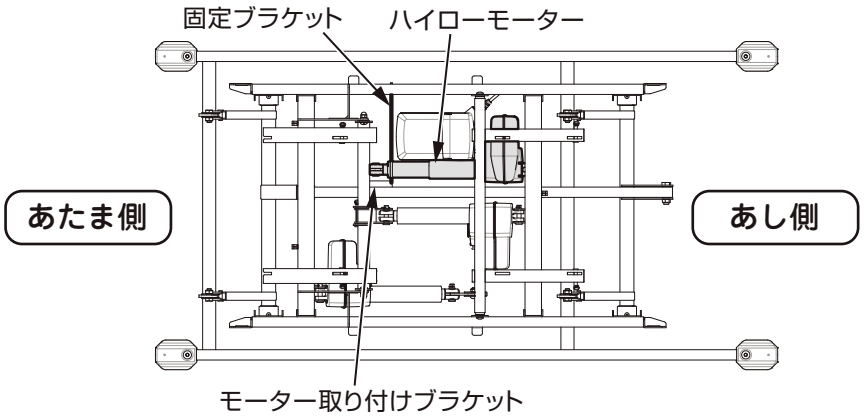
◆手、指づめに注意してください。

STEP3　ハイローモーターの取り付け

NS-830･NS-820

NS-810ではこの作業はおこないません

位置関係図　ベッドを上から見たイラストです。



1　ハイロー固定バンドを取り外す

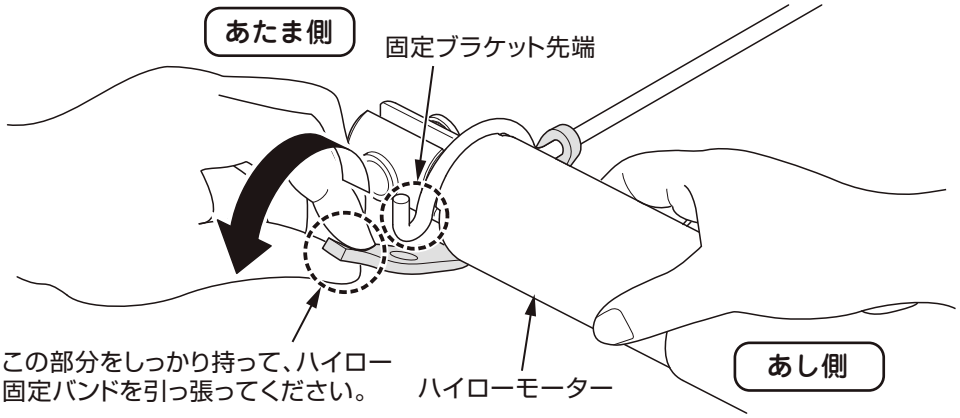
ハイロー固定バンドを矢印の方向に引っ張って固定ブラケットの先端から外します。

⚠ 注 意

事故、破損の原因になります。

◆ハイローモーターが脱落しないように必ずハイローモーターを手で支えてください。

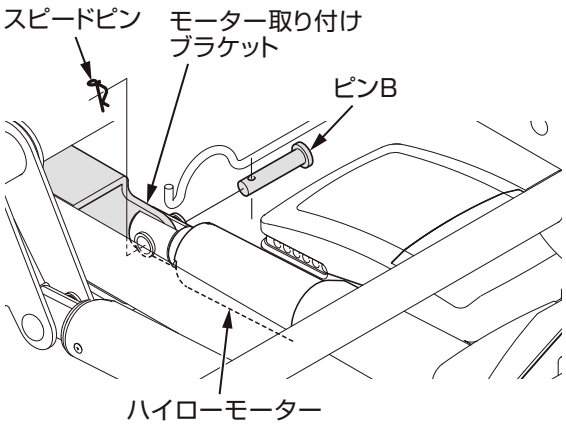
◆ハイロー固定バンドを必ず取り外してください。故障の原因になります。



2　モーター先端をブラケットに取り付ける

1. モーター先端とモーター取り付けブラケットの穴を合わせます。

2. ピンBを差し込み、スピードピンで固定します。



STEP3　ハイロー支持金具の取り付け

NS-810

NS-830･NS-820ではこの作業はおこないません

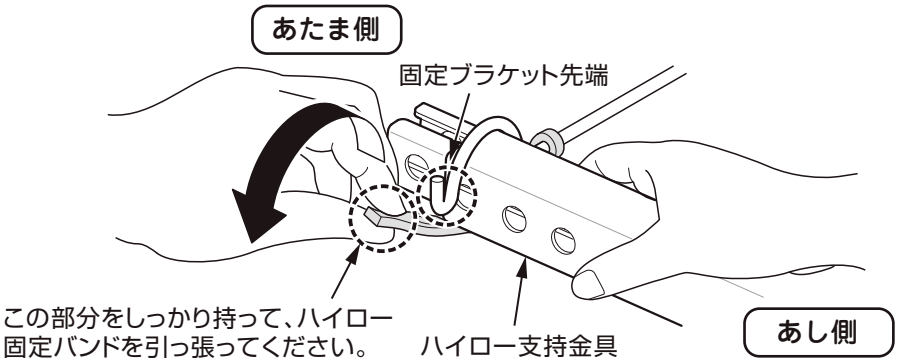
1　ハイロー支持金具をハイロー固定バンドから取り外す

ハイロー固定バンドを矢印の方向に引っ張って固定ブラケットの先端から外します。

⚠ 注 意

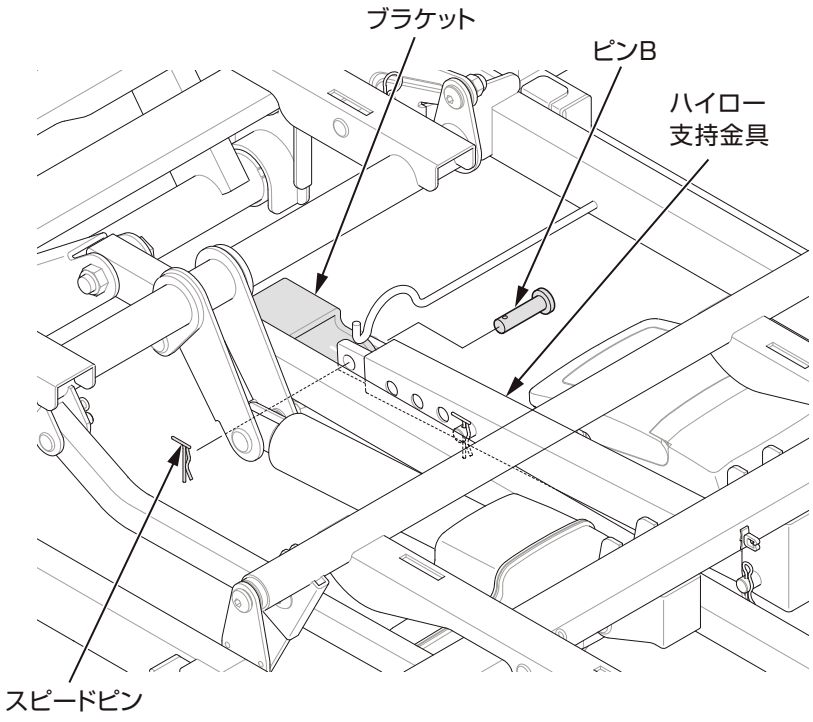
事故、破損の原因になります。

◆ハイロー支持金具が脱落しないように必ずハイロー支持金具を手で支えてください。



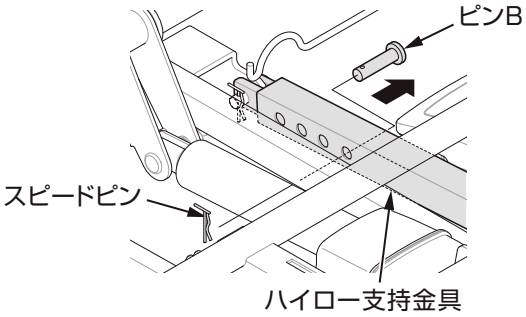
2　ハイロー支持金具をブラケットに取り付ける

ピンBを差し込み、スピードピンで固定します。



3 ベッドの高さを調節する

1. ハイロー支持金具の高さ位置決め穴のスピードピン、ピンBを取り外します。

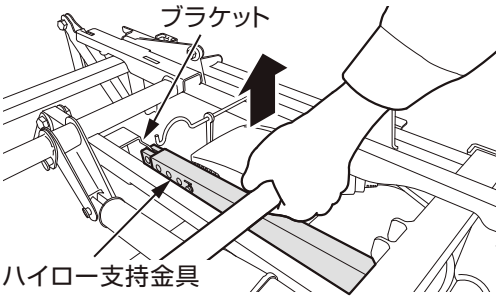


2. 使用する高さまでモーター･ユニットを持ち上げます。
下記表を参考にベッドをご使用の方に合った高さに調節してください。

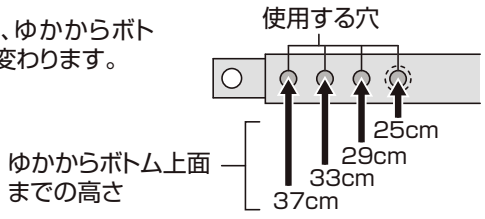
8cm 厚のマットレスの場合

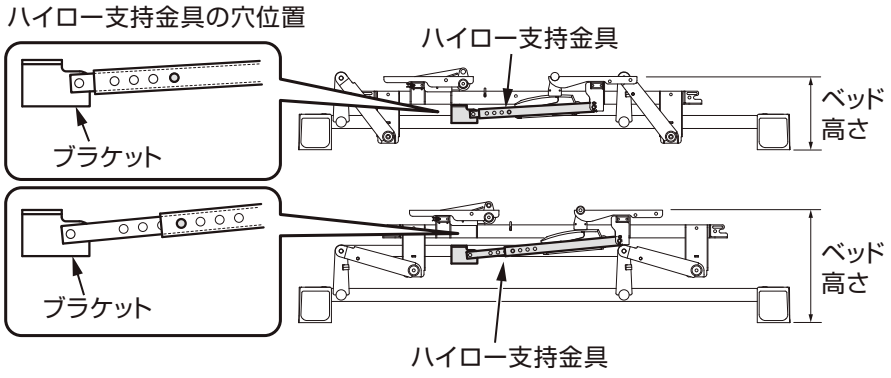
高さ	37cm	33cm	29cm	25cm
想定身長※	187cm	168cm	152cm	136cm

※目安として参考にしてください。



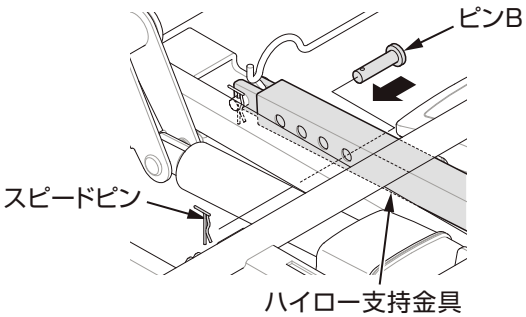
ハイロー支持金具の穴位置は4ヶ所あります。
使用する穴によって、ゆかからボトム上面までの高さが変わります。





4 ハイロー支持金具の長さを固定する

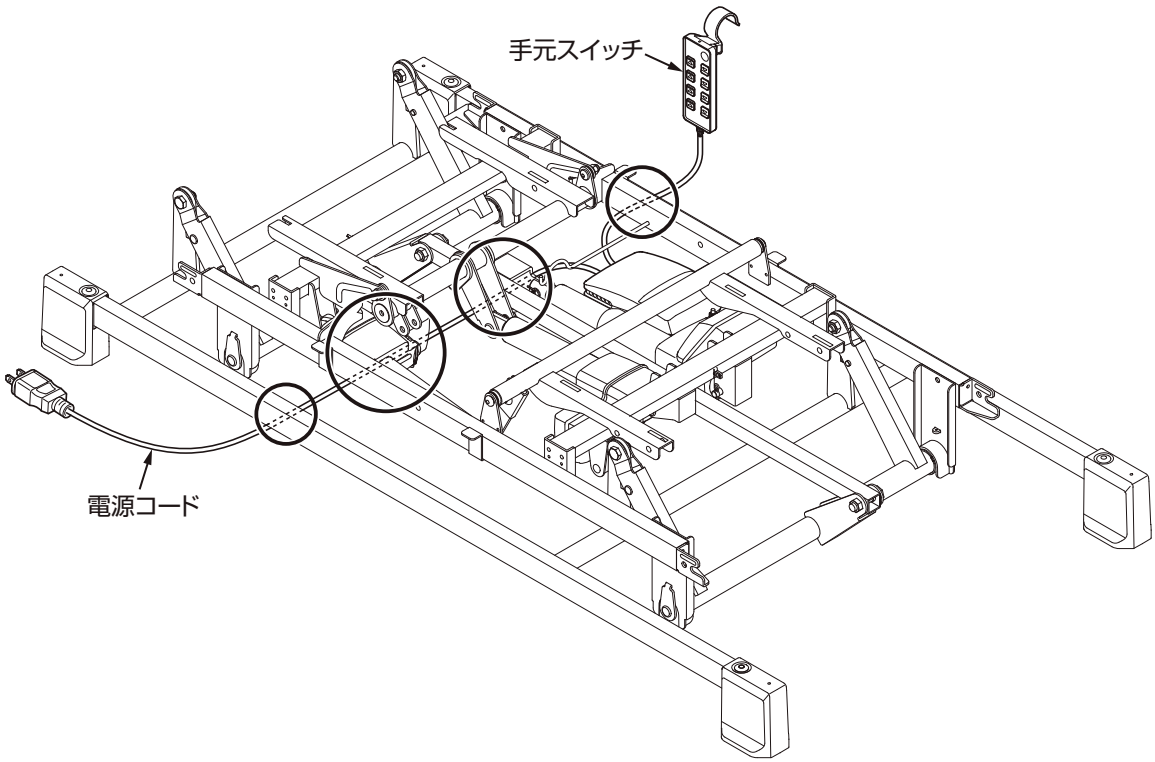
ハイロー支持金具の穴を使用する高さの位置にあわせ、ピンBを差し込み、スピードピンで固定します。



STEP4　ベッドの角度と高さ調節

1 電源コード、手元スイッチのコードを配線する

●各コードは、必ずフレームの下側を通すように、また、ベッドの可動部分に触れないように配線してください。



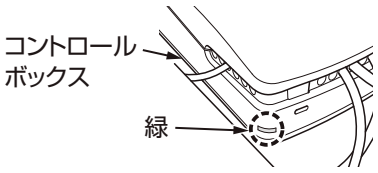
⚠ 警 告

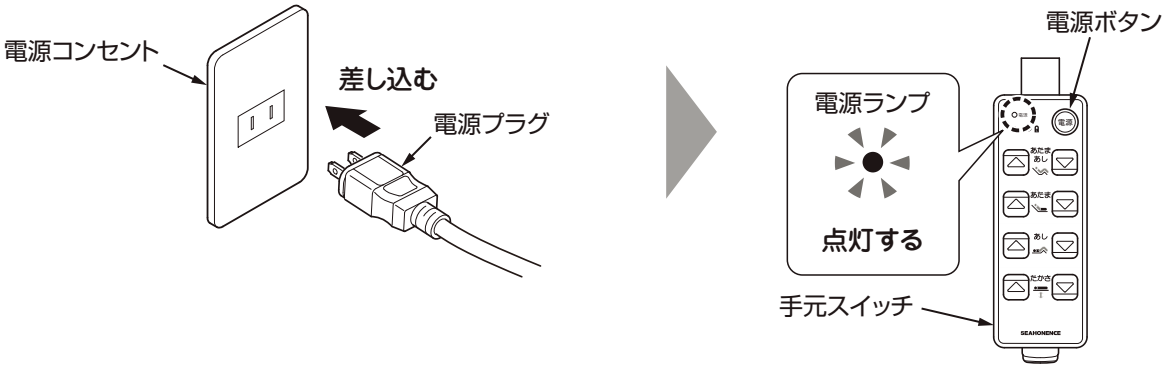
破損・感電・火災の原因になります

◆各コードが正しく配線されていることを確認してください。
脚座やキャスターに踏まれたり、可動部との接触によりコードの破損、感電、火災につながるおそれがあります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

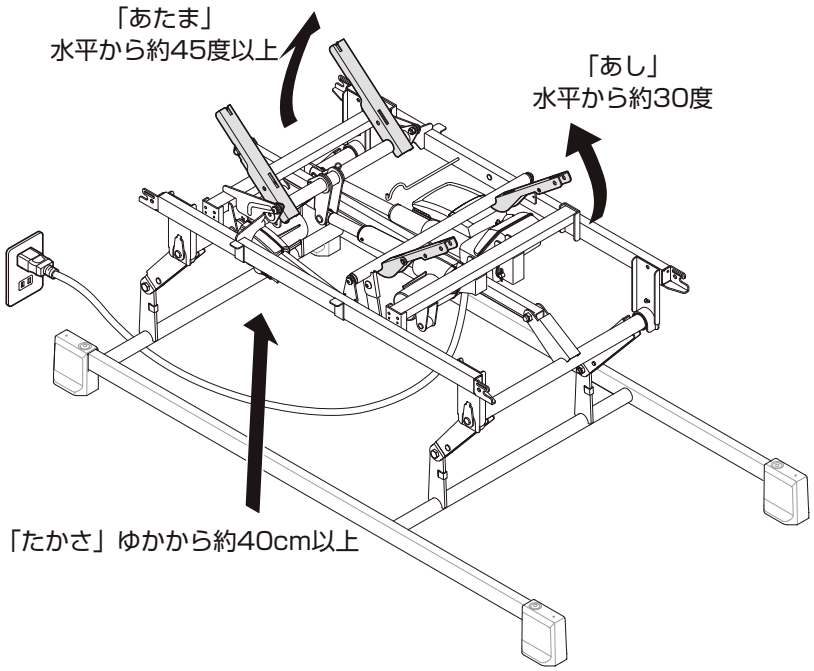
電源プラグをコンセントに差し込みます。
コントロールボックスのランプが緑色に点灯します。
電源ボタンを押すと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯します。





3 ベッドを動作させる

手元スイッチのボタンを「あたま」、「あし（NS-830、NS-820後付けモーターユニット装着時）」、「たかさ（NS-830、NS-820）」を押すとベッドの各部分が動きます。
組み立てやすくするために目安としてあたまを約45度、あしを約30度、たかさを約40cmに上げた状態にします。

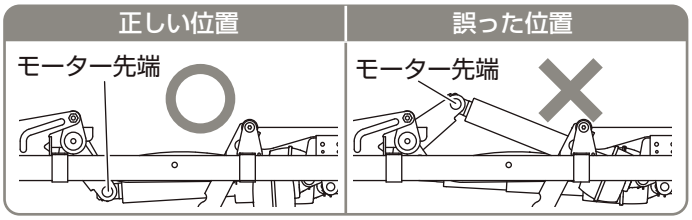


⚠ 注意

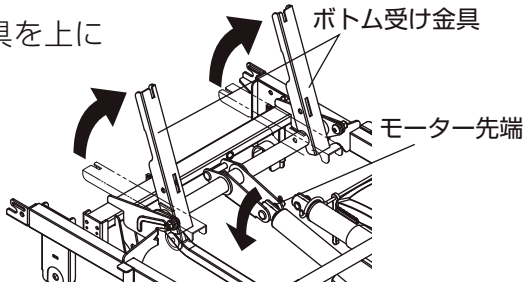
事故、破損の原因になります。

◆背上げモーターの先端の位置に注意してください。

ベッドを動作させる前に必ず背上げモーターの先端の位置を確認してください。



先端が上図の誤った位置にある場合、ボトム受け金具を上にあげてモーター先端の位置を下げてください。
背上げモーターは正しい位置（下向き）に戻ります。



◆2モーターは、正常な動作確認のために背上げ脚連動にして上げておいてください。

この時点で下記の項目を確認してください。

・電源プラグをコンセントに差し込むとコントロールボックスのランプが緑色に点灯しますか？
・手元スイッチの電源ボタンを押すと電源ランプは点灯しますか？
・モーターユニットおよびモーターを取り付けたときのピンAとピンB、スピードピンは確実に差し込まれていますか？
・モーターから異常音がしていませんか？
・あたま、あし（NS-830、後付けフットモーターユニットを取り付けているNS-820）、たかさ（NS-830・NS-820）がスムーズに動作しますか？

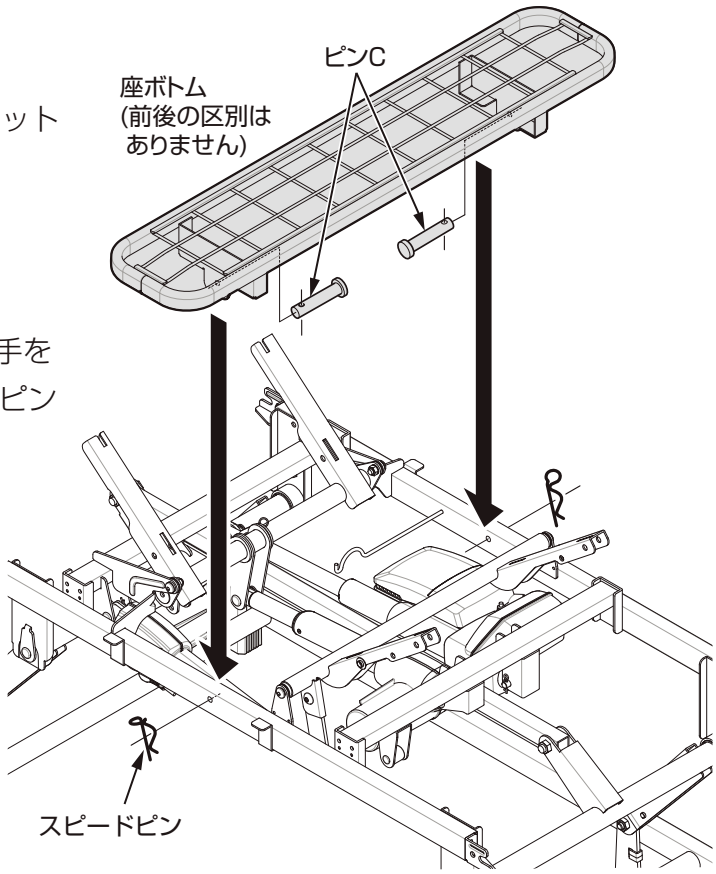
以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度P19「STEP1　脚座の取り付け」から見直してください。
それでも直らない場合は、組み立てをやめて電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

STEP5　座ボトムの取り付け

1 座ボトムを取り付ける

1. 座ボトムの取付け穴とモーターユニットの取付け穴を合わせます。

2. ピンCをモーターユニットの下から手を入れて内側から差し込み、スピードピンで固定します。
（左右２ヶ所）



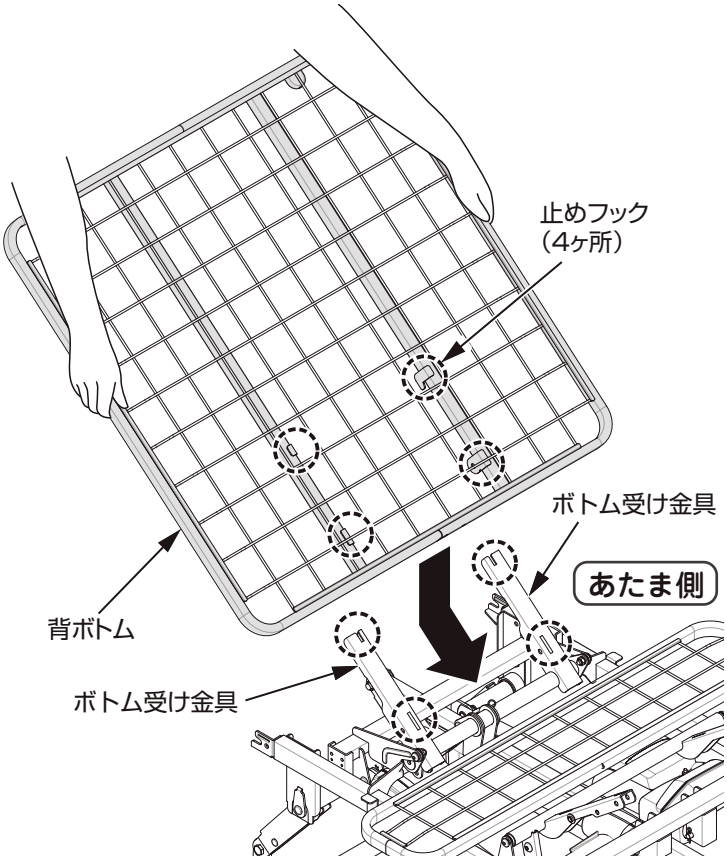
⚠ 注意

事故、破損の原因になります。
◆ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

STEP6　背ボトムの取り付け

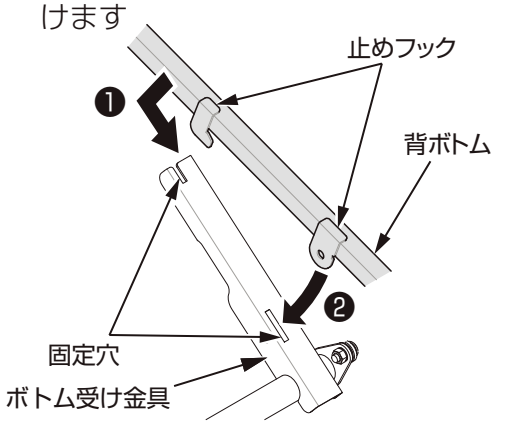
1 背ボトムを取り付ける

1. 背ボトムを図のように持ちます。



2. 背ボトムの止めフックをボトム受け金具の固定穴に合わせ、矢印の方向に背ボトム全体をスライドさせて差し込みます。（左右４ヶ所）

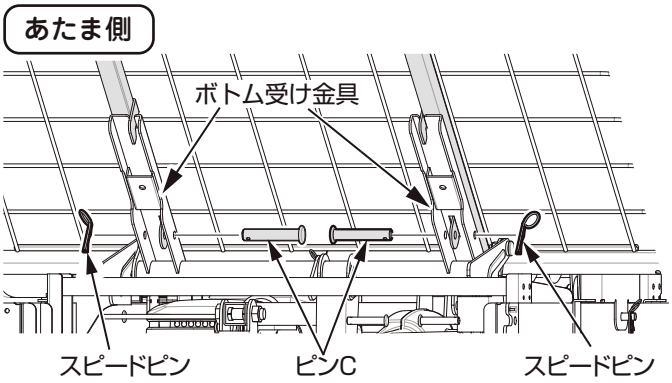
❶ 頭側の止めフックを固定穴に引っかけます



❷ 背ボトムを回転させて足側の止めフックを固定穴に差し込みます。

2 ピンで固定する

ボトム受け金具の穴にピンCを内側から外側に向けて差し込み、スピードピンで固定します。（左右２ヶ所）



Point

●背ボトムの止めフックのピン穴とボトム受け金具のピン穴が合わない場合は、背ボトムを左右などにゆらす、背ボトムの差し込み部を下側に押さえるなどして、それぞれのピン穴が合うように調整してください。

⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆背ボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に入っているか必ず確認してください。

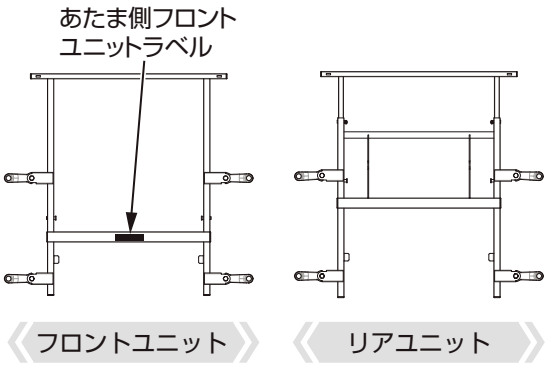
◆ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

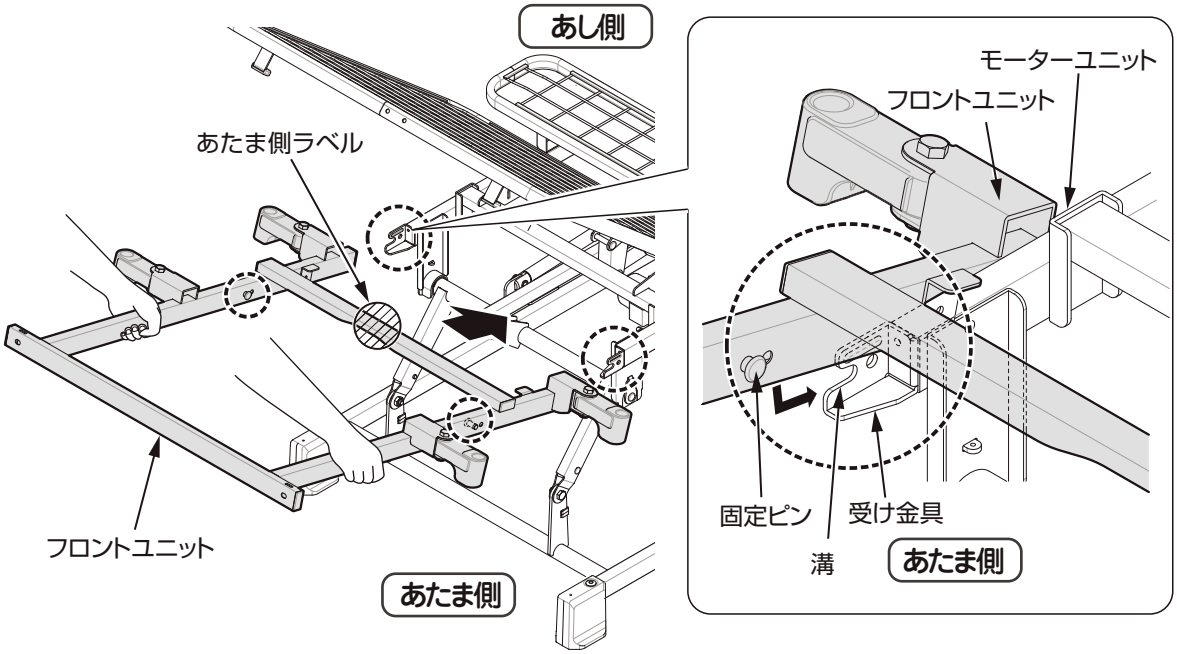
STEP7　フロントユニットの取り付け

1 フロントユニットを取り付ける

1. フロントユニットを下図のように持ちます。

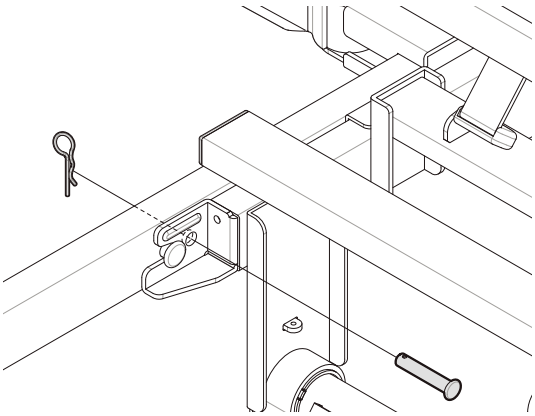
2. モーターユニットの受け金具の溝にフロントユニットの固定ピンをはめます。





2 ピンで固定する

フロントユニットと受け金具の穴を合わせてピンCを内側から外側に向けて差し込み、スピードピンで固定します。
（左右２ヶ所）



⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆フロントユニットのあたま側シールを必ず確認してください。

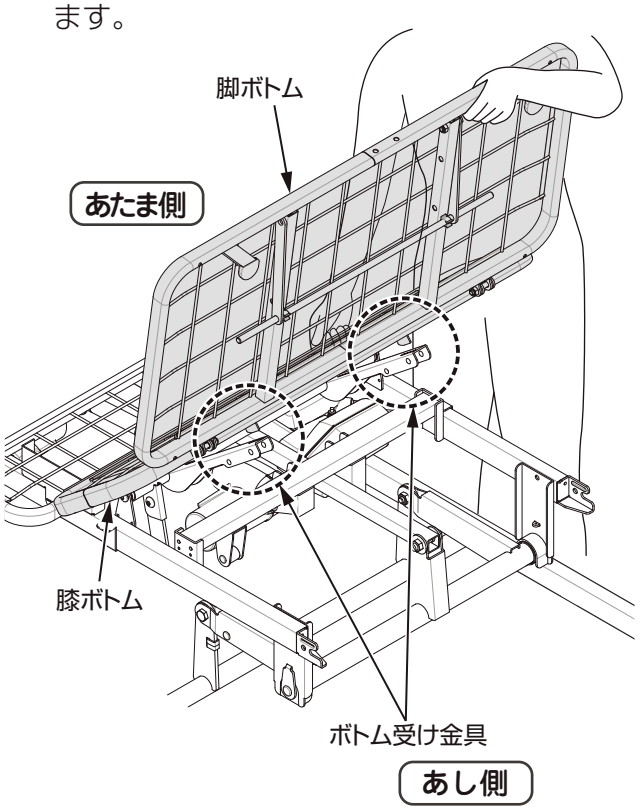
◆フロントユニットの固定ピンがモーターユニットの受け金具の溝にはまり込んでいるか必ず確認してください。

◆ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

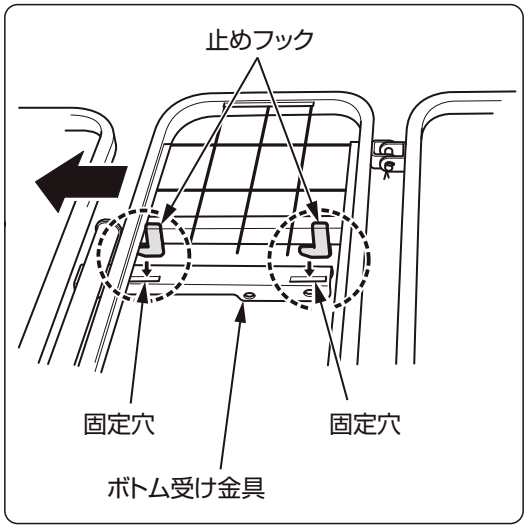
STEP8　膝ボトム・脚ボトムの取り付け

1 膝ボトムと脚ボトムを取り付ける

1. 膝ボトムと脚ボトムを図のように持ちます。

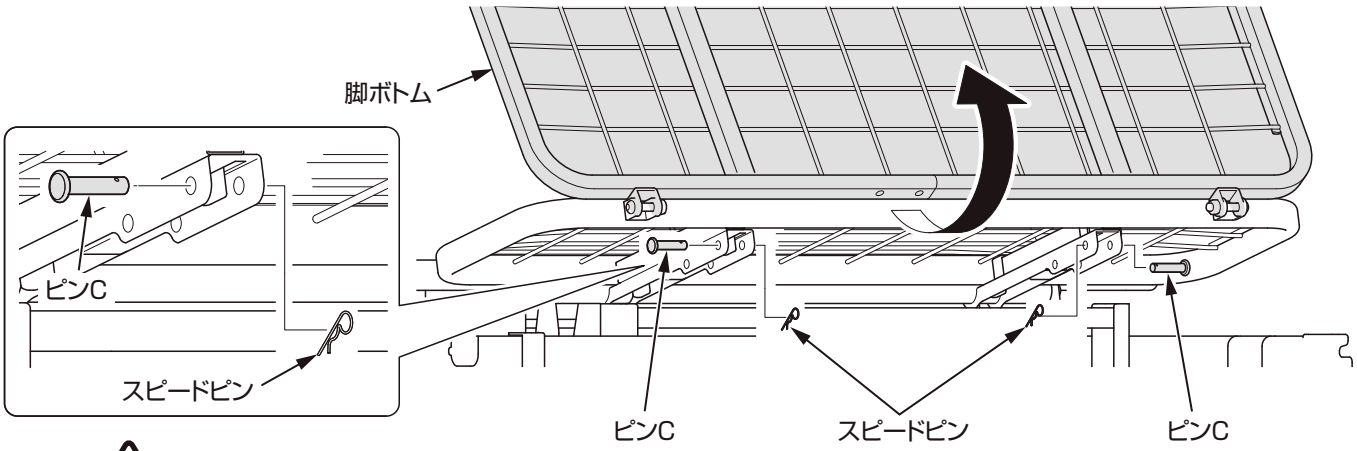


2. 膝ボトムの止めフックをボトム受け金具の固定穴に合わせ、矢印の方向にボトム全体をスライドさせて差し込みます。（左右４ヶ所）



2 ピンで固定する

脚ボトムを図のように押し上げて、ボトム受け金具の穴にピンCを外側から内側に向けて差し込み、スピードピンで固定します。（左右２ヶ所）



⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆膝ボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に入っているか必ず確認してください。

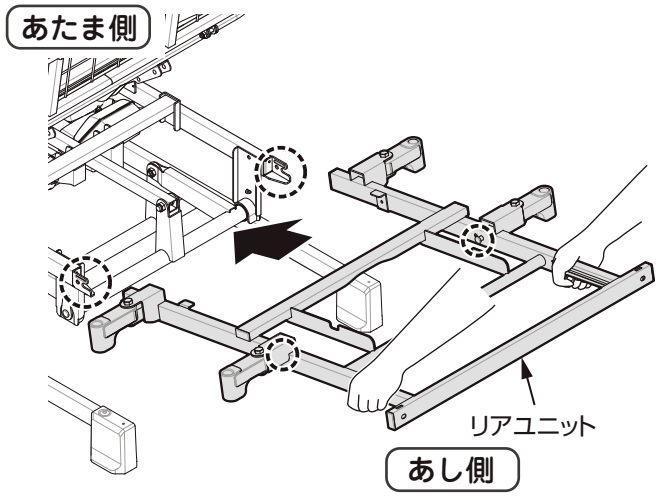
◆ピンCは、ベッドの外側から内側に向けて差し込みスピードピンで固定してください。

◆脚ボトムの落下に注意してください。

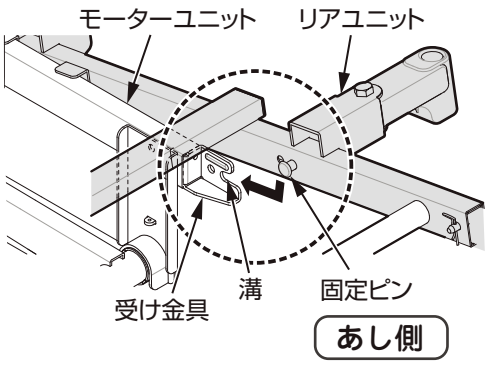
STEP9　リアユニットの取り付け

1 リアユニットを取り付ける

1. リアユニットを下図のように持ちます。

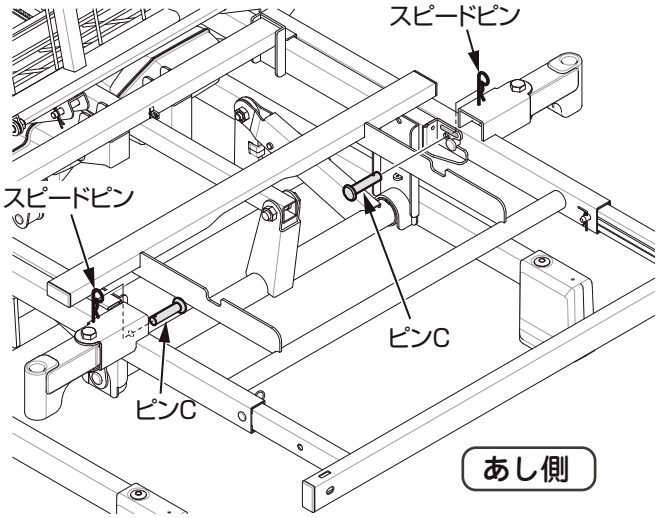


2. リアユニットの固定ピンがモーターユニットの受け金具の溝にはまり込むようにリアユニットを取り付けます。



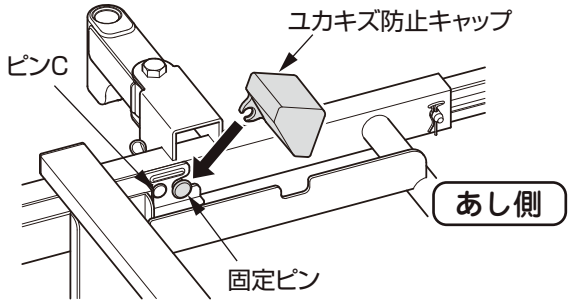
2 ピンで固定する

リアユニットと受け金具の穴を合わせてピンCを内側から外側に向けて差し込み、スピードピンで固定します（左右２ヶ所）。



Point

●ユカキズ防止キャップ付きのとき
STEP2で取り外したユカキズ防止キャップは、紛失を防止するために、リアユニットの固定ピンに取り付けて保管できます（左右２ヶ所）。
※ピンCには取り付けることはできません。



⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆リアユニットの固定ピンがモーターユニットの受け金具の溝にはまり込んでいるか必ず確認してください。

◆ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

◆脚ボトムの落下に注意してください。

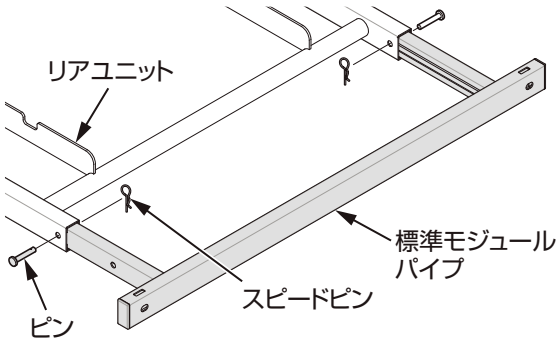
3 脚ボトムを静かにおろす

脚先の角度調節についてはP14を参照してください。

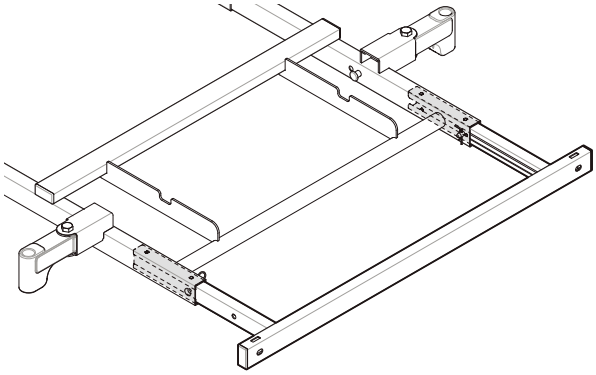
Point

●ショートサイズおよび、レギュラーサイズで使用する場合
※工場出荷時は、レギュラーサイズに設定されています。
ロングサイズをご使用になる際は、ロングボトムユニット（オプション）をご利用ください。

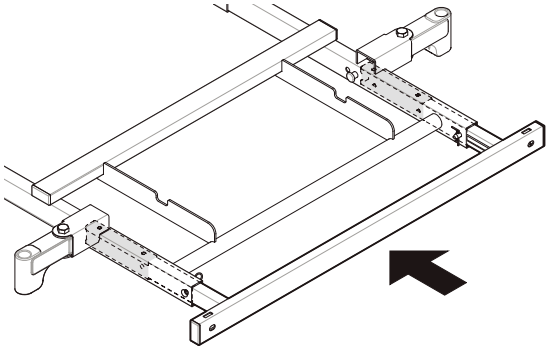
1. リアユニットの標準モジュールパイプを固定しているピンを取り外します。（左右）



2. リアユニットの標準モジュールパイプ長さを調整します。

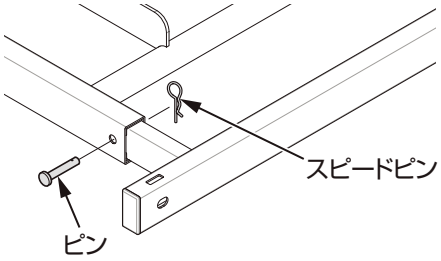


レギュラーサイズ



ショートサイズ

3. 先の手順で外したピンを通しスピードピンで固定します。（左右）



⚠ 注意

事故・破損の原因になります

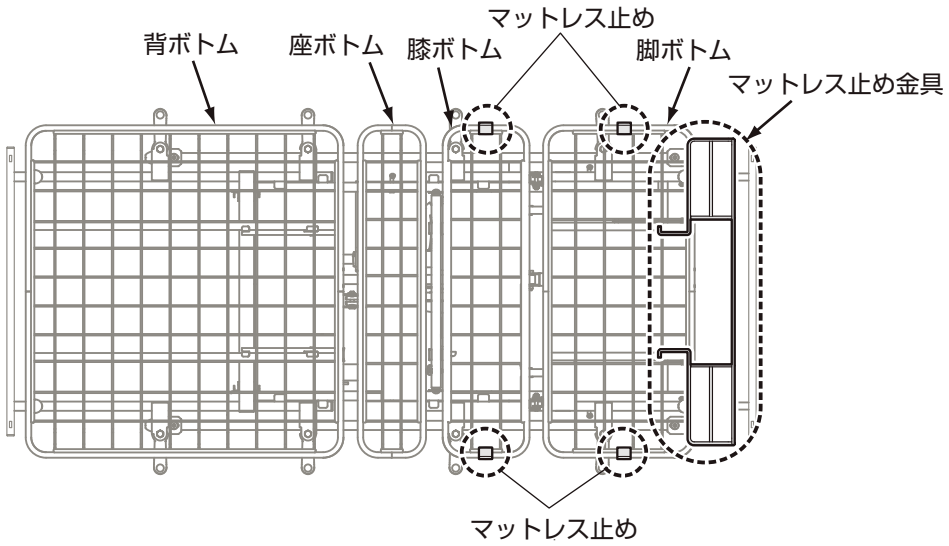
◆ピンはスピードピンで確実に固定する。

◆レギュラーとショートでリアユニットの長さを変更したときは、必ずマットレス止め金具の取り付け位置を長さに合わせて変更してください。34 ページ 参照

STEP10　マットレス止め・マットレス止め金具の取り付け

下図を参照して取り付けてください。

取り付け位置

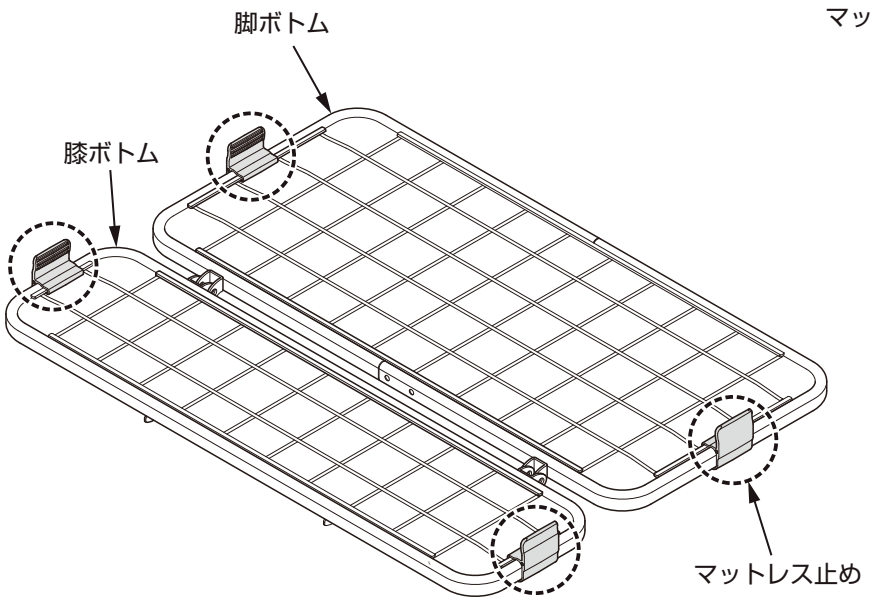


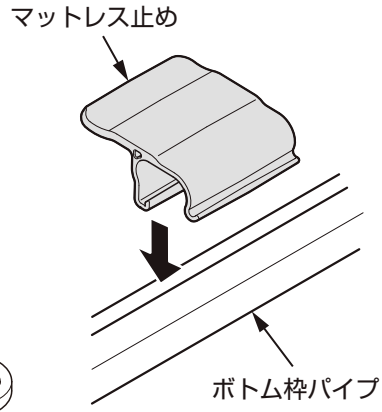
お願い

◆背ボトムと座ボトムへのマットレス止めの取り付けは、ベッドの乗り降りの邪魔になるためおすすめできません。

1　はめ込む

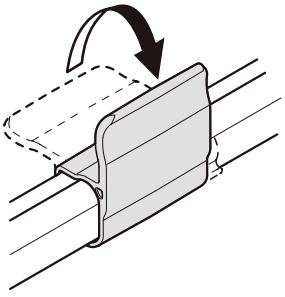
マットレス止めをボトム枠パイプにはめ込みます。





2　固定する

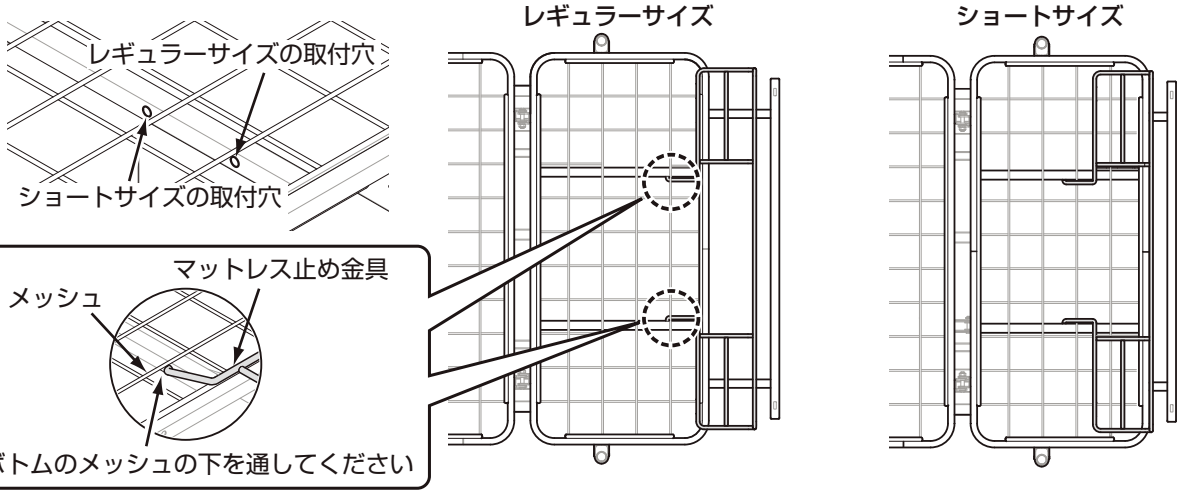
取り付けたマットレス止めを矢印方向に回転させて
ボトム枠パイプに固定します。

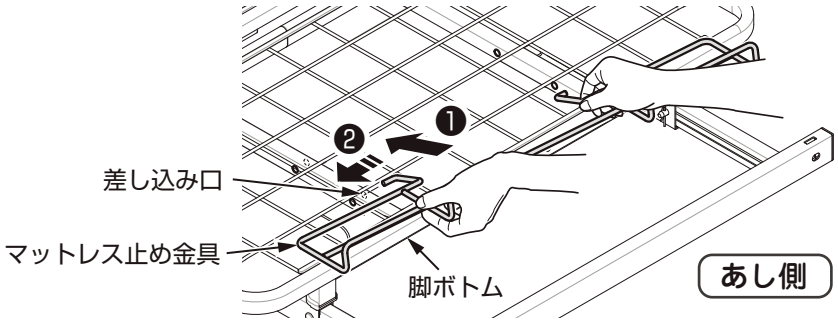


3 マットレス止め金具の片側を差し込み口に差し込む

Point

- ショートサイズとレギュラーサイズではマットレス止め金具の取付穴が異なります。ご使用になられるベッドサイズと取付穴を確認して作業をおこなってください。
- マットレス止め金具は脚ボトムのメッシュの下を通るように取り付けてください。

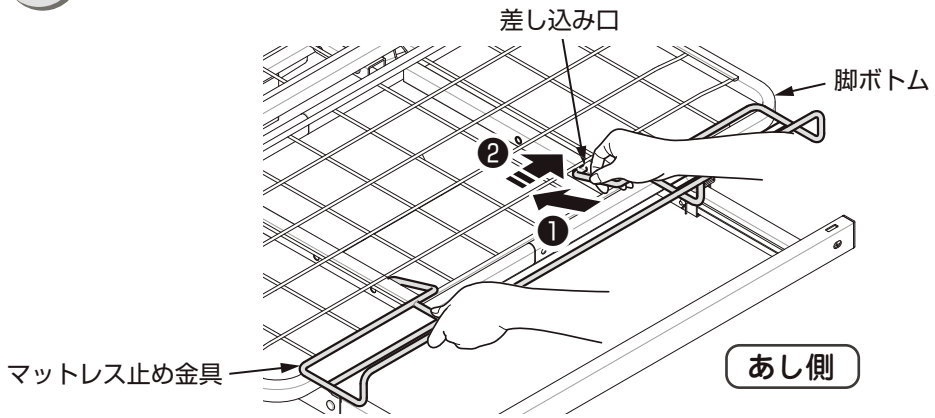




Point

- あし側からベッドに向かって左の差し込み口からマットレス止め金具を差し込むと取り付けやすくなります。

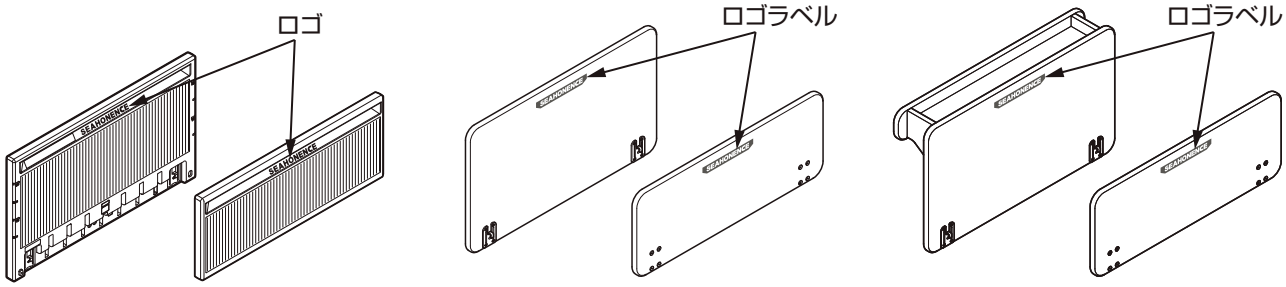
4 反対側の差し込み口にもマットレス止め金具を差し込む



5 確認する

マットレス止め金具が固定されていることを必ず確認します。

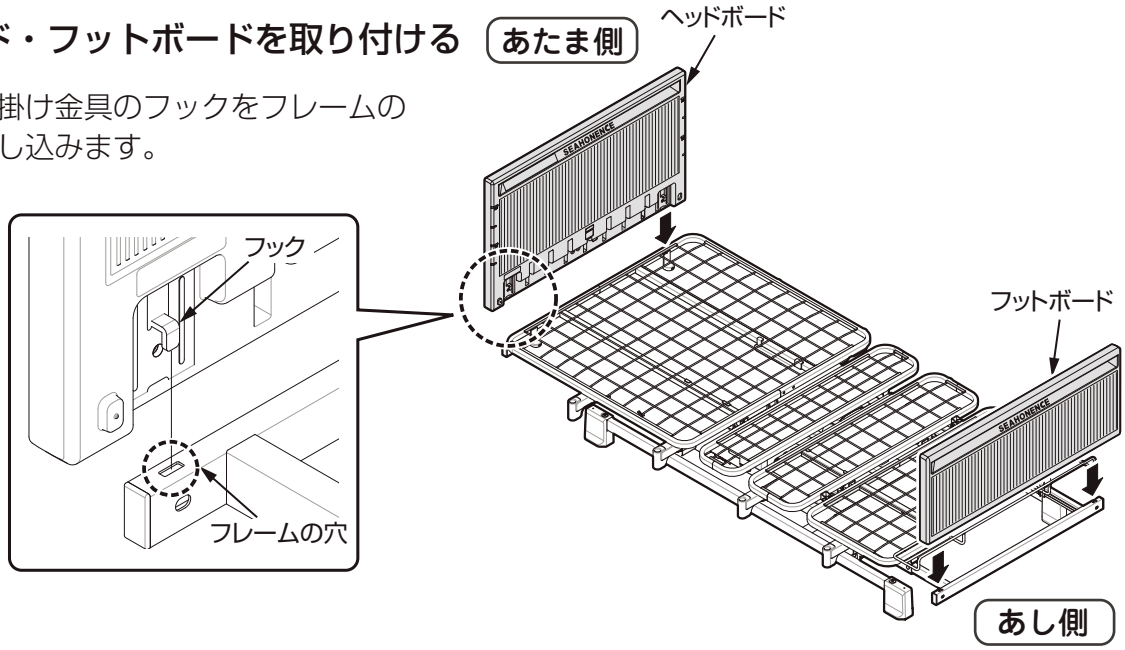
STEP11　ヘッドボード・フットボードの取り付け



樹脂ボード　　木製ボード　　宮付きボード

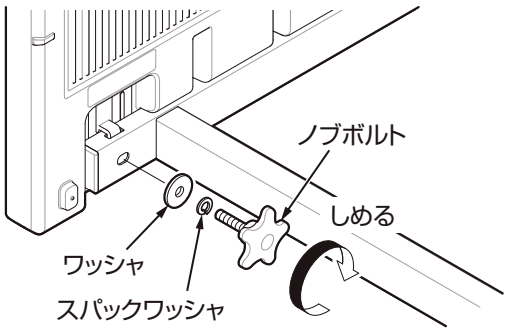
1　ヘッド・フットボードを取り付ける　あたま側

ボード掛け金具のフックをフレームの穴に差し込みます。



2　ノブボルトで固定する

穴の位置を合わせ、ノブボルトとスパックワッシャ、ワッシャで固定します。（左右）



Point

●木製ボードや宮付きボードは樹脂ボードと同じ方法で取り付けることができます。

⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

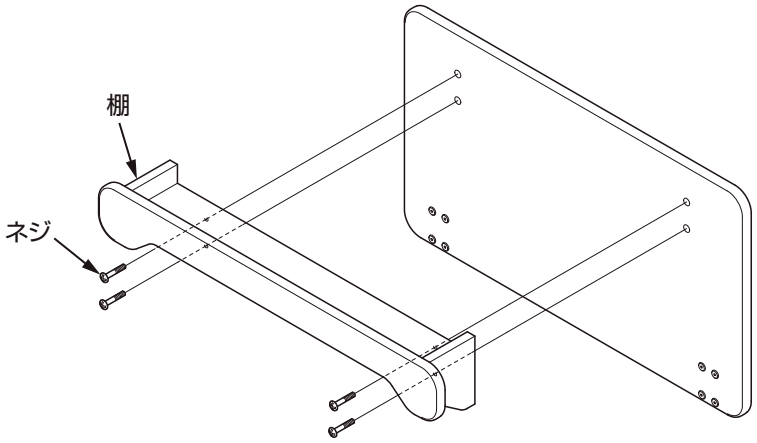
◆ヘッド･フットボードの取り付け、取り外しの際は、手や指などをはさまないように注意してください。
◆ボードが外れるおそれがありますので、ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込み、確実にノブボルトで固定してください。
◆ヘッド・フットボードに腰を掛けたり寄りかかったり、無理な荷重をかけないでください。

Point

●宮付きボードの棚を取り外して使用する場合
宮付きボードの棚は取り外すことができます。取り外すことで、木製ボードとして使用できます。

1 宮付きボードの棚を取り外す

宮付きボードの裏側のネジ（4ヶ所）をプラスドライバーで取り外します。



※取り外した棚とネジを無くさないように保管してください。

組み立て後の点検

ベッドの組み立てが終了したら、以下の項目にそって点検してください。

⚠ 警 告

事故、破損の原因になります。

◆手元スイッチで操作しながら点検している際に、異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用をやめて販売店または弊社カスタマーサポートへにご連絡ください。

	点 検 項 目	参照ページ	チェック
1	**モーターユニットの取り付け** ①モーターユニットはハイローベースユニットに確実にのっていますか？	p.20	□
	②モーターユニットとハイローベースユニットのあたま側シールの向きは合っていますか？		□
	③ピン A とスピードピンは確実に差し込まれていますか？		□
2	**ハイローモーターの取り付け（NS-830・NS-820)** ①ピンBとスピードピンは確実に差し込まれていますか？ ②ハイロー固定バンドはハイローモーターから外されていますか？	p.22	□
	ハイロー支持金具の取り付け（NS-810) ①ピンBとスピードピンは確実に差し込まれていますか？ ②ハイロー固定バンドはハイロー支持金具から外されていますか？	p.23	□
3	**座ボトムの取り付け** ①ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？	p.27	□
4	**背ボトムの取り付け** ①背ボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に差し込まれていますか？	p.28	□
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		□
5	**フロントユニットの取り付け** ①フロントユニットはモーターユニットに確実に取り付けられていますか？	p.29	□
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		□
6	**膝ボトム・脚ボトムの取り付け** ①膝ボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に差し込まれていますか？	p.30	□
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		□
7	**リアユニットの取り付け** ①リアユニットはモーターユニットに確実に取り付けられていますか？	p.31 〜 p.32	□
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		□
8	**電源（ベッドと手元スイッチ）について** ①ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでいますか？ ②手元スイッチの電源ボタンを押すとランプは点灯しますか？	p. 9 〜 p.12	□
	③ロックスイッチは解除していますか？		□
9	**操作（作動時）について** ①手元スイッチのボタンを押して、あたま・あし（NS-830、後付けフットモーターユニットを取り付けている NS-820 のみ）・たかさがスムーズに動作しますか？ 動作時には、コントロールボックスの電源ランプが緑からオレンジに変わります。 ②モーターから異常音がしませんか？	p. 9 〜 p.12	□
	③手元スイッチのボタンを押して背ボトムを上げた際、高さを昇降させた際に、周囲の家具などにあたりませんか？		□

以上の項目を点検しても異常がある場合には、電源プラグをコンセントから抜き販売店、または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

オプション

⚠注意

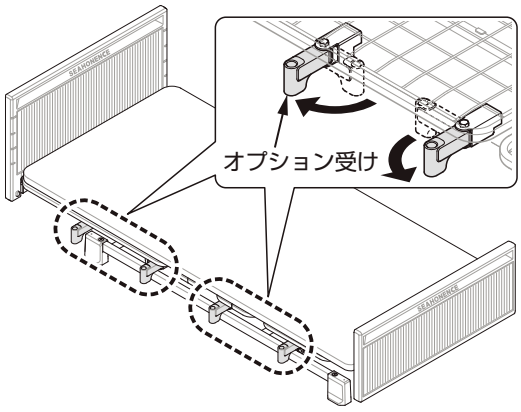
事故、破損の原因になります。

◆このベッドには、必ず弊社製品のオプションを使用してください。
他社製品は、寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけて故障の原因になります。

◆各オプションに付属の取扱説明書も必ずお読みください。

オプション受けの使用方法

ベッド両サイドのオプション受けは、ボトム下部に格納できます。
格納するとベッドからの突出を抑えて､車椅子をより接近させることが可能です｡移乗や歩行時にも引っかかりや動作の妨げにはなりません。

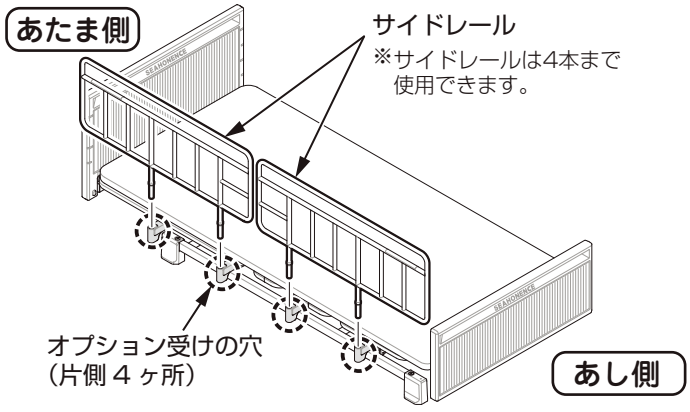


サイドレール JIS認証対象

ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサイドレールを使用できます。

※適合するサイドレール､ベッドへの取り付け位置は組み合わせ表※1 を参照して正しく取り付けてください。
※必ずベッドのサイズに合ったサイドレールをご使用ください。
※本製品と組み合わせ表※1 のサイドレールの組み合わせは JIS 認証を取得しています｡図表以外のサイドレールと組み合わせた場合､JIS 認証を取得していない状態となります。

※1　39～41 ページ

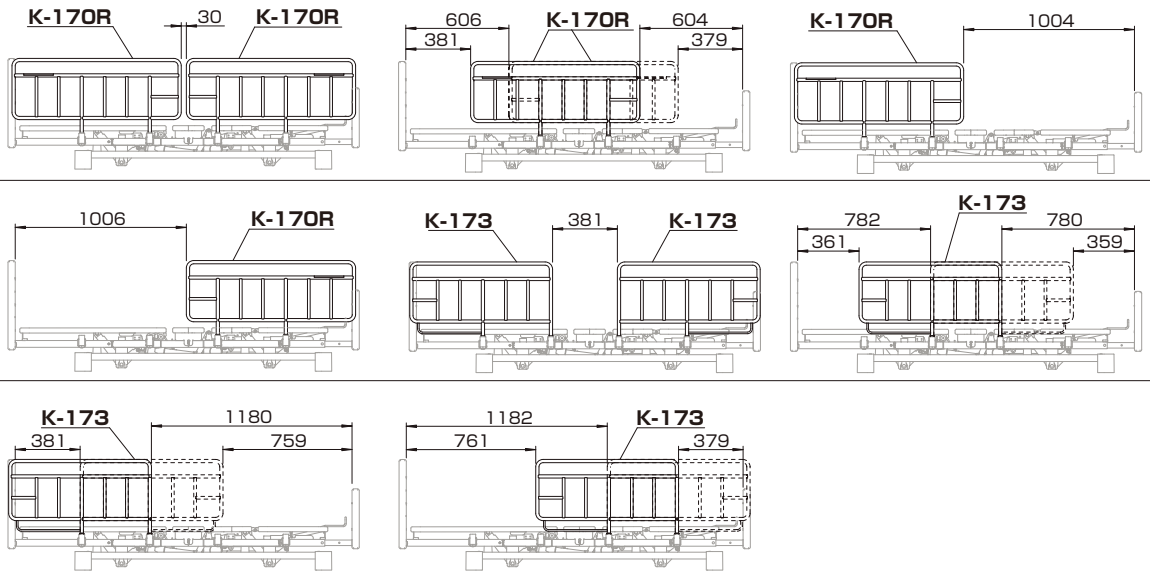


レギュラーサイズの組み合わせ表

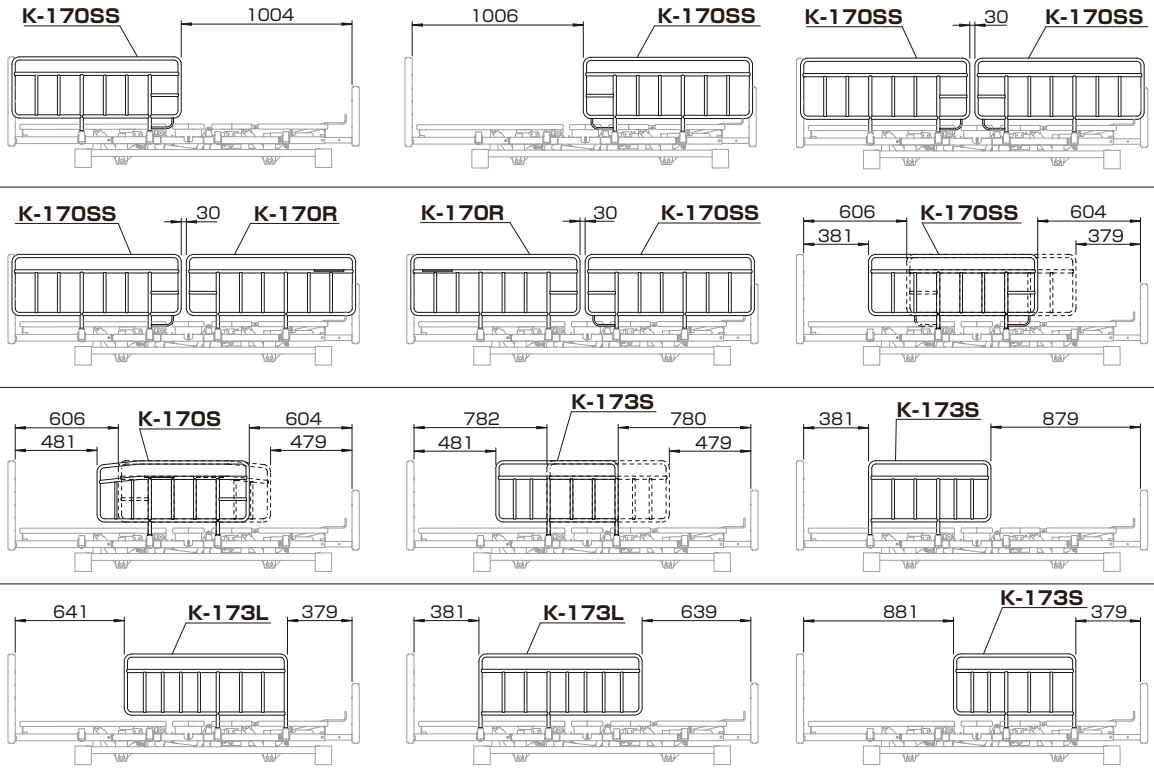
（単位：㎜）

あたま側

K-170R、K-173を使用した、サイドレールの組み合わせ



K-170R、K-170SS、K-170S、K-173S、K-173Lを使用した、サイドレールの組み合わせ



あし側

⚠ 警告

事故・破損・ケガの原因になります

◆サイドレールの差込み部を2ケ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。

◆サイドレールを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。

異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

ショートサイズの組み合わせ表

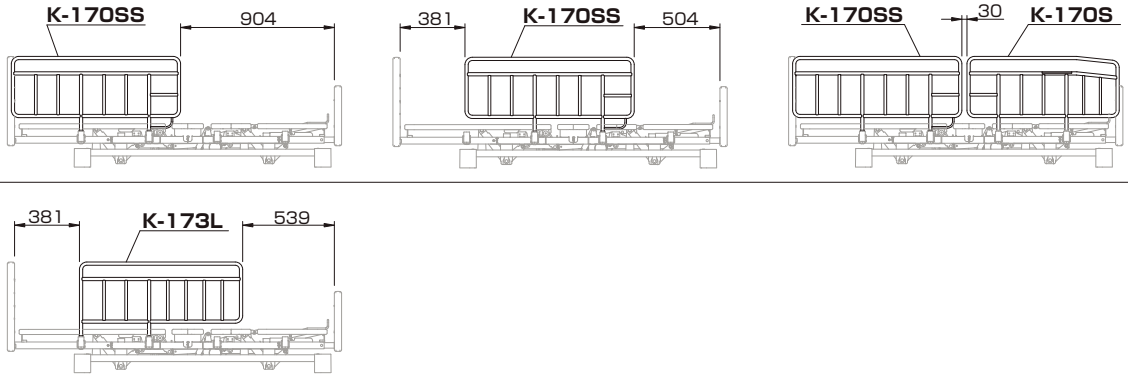
（単位：㎜）

あたま側

あし側

K-170R、K-170S、K-173、K-173Sを使用した、サイドレールの組み合わせ

K-170SS、K-170S、K-173Lを使用した、サイドレールの組み合わせ



⚠ 警 告

事故・破損・ケガの原因になります

◆サイドレールの差込み部を2ケ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。

◆サイドレールを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

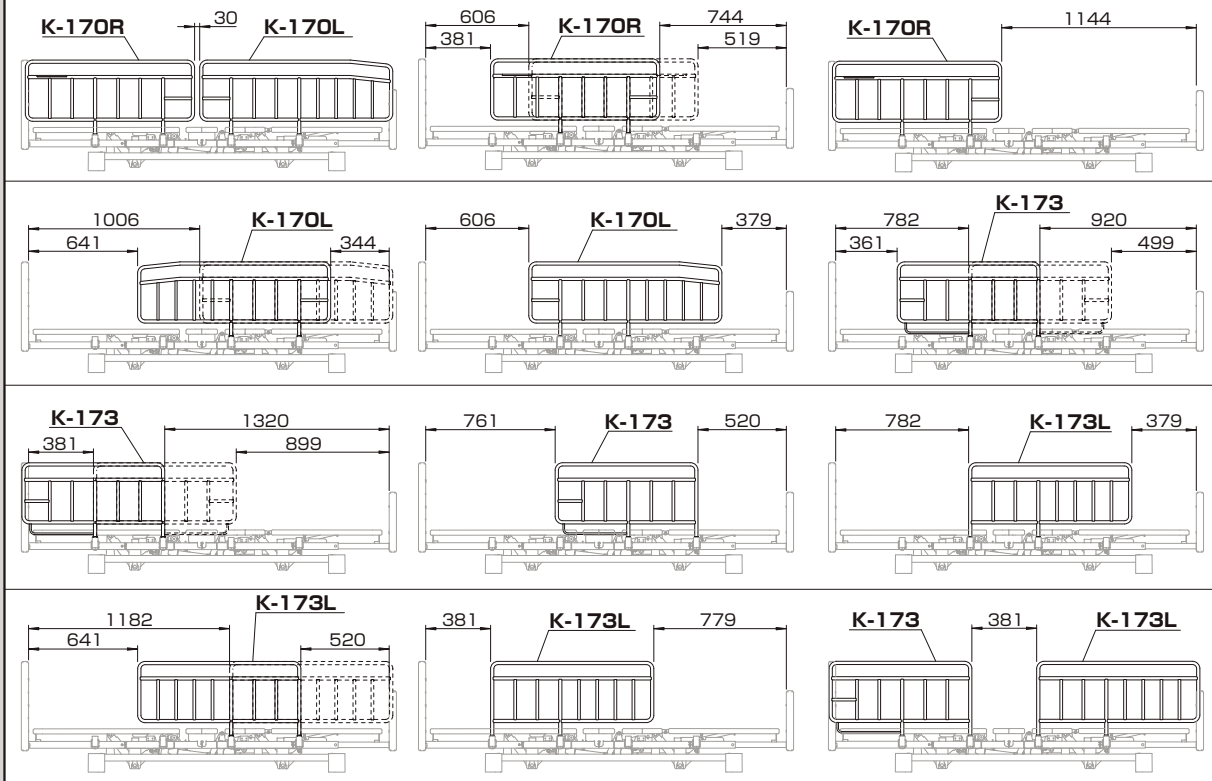
◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

ロングサイズの組み合わせ表

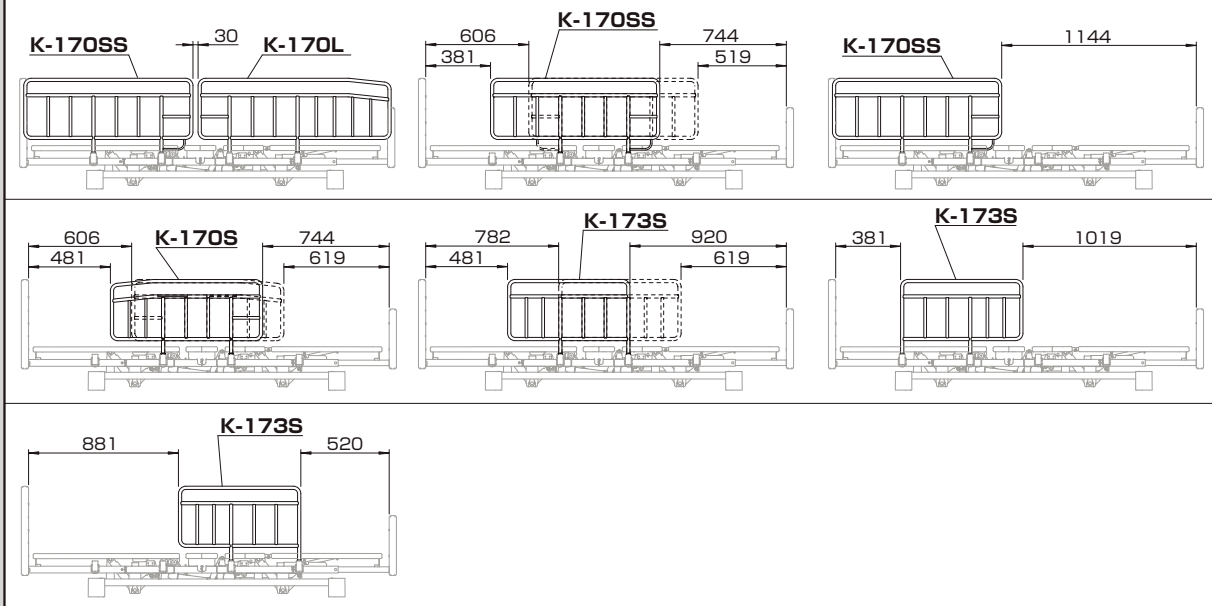
（単位：㎜）

あたま側

K-170R、K-170L、K-173、K-173Lを使用した、サイドレールの組み合わせ



K-170SS、K-170S、K-170L、K-173Sを使用した、サイドレールの組み合わせ



あし側

⚠ 警 告

事故・破損・ケガの原因になります

◆サイドレールの差込み部を2ケ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。

◆サイドレールを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。

異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

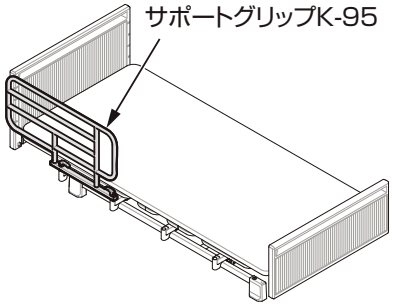
サポートグリップ K-95 JIS認証対象

ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサポートグリップを使用できます。

※安全のため、ご使用の方がベッドから転落するおそれがある場合などには、このサポートグリップと併用して「回転式アーム介助バー K-47R、K-45R、K-40RX」または「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」をベッドのサイズに応じて、組み合わせてご使用ください。

※ベッドへの取り付け位置は組み合わせ表を参照して正しく取り付けてください。

※本製品とこのサポートグリップと「回転式アーム介助バー K-47R、K-45R、K-40RX」または「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」の組み合わせはJIS認証を取得しています。
図表以外と組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。

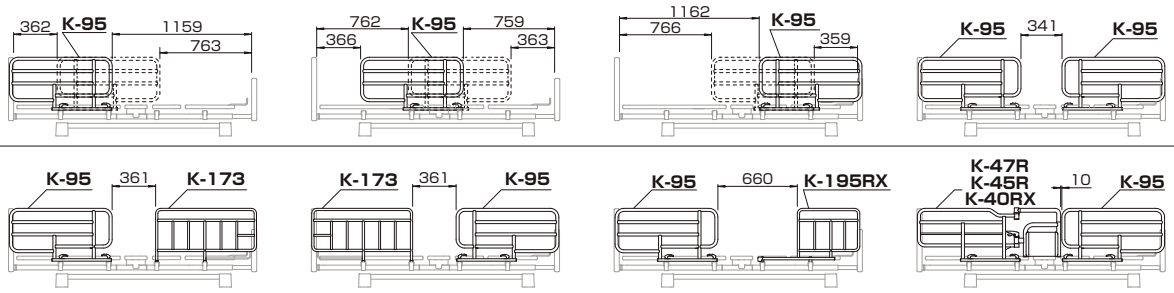


レギュラーサイズの組み合わせ表

（単位：mm）

K-40RX、K-45R、K-47R、K-95、K-173、K-195RXを使用した、サイドレールの組み合わせ

あたま側



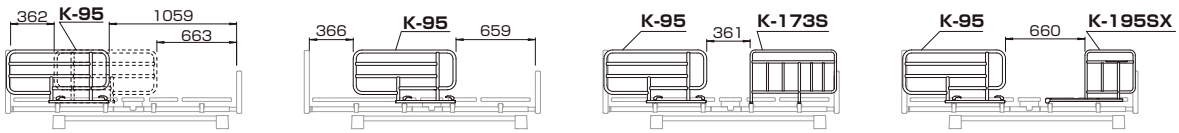
あし側

ショートサイズの組み合わせ表

（単位：mm）

K-95、K-173S、K-195SXを使用した、サイドレールの組み合わせ

あたま側



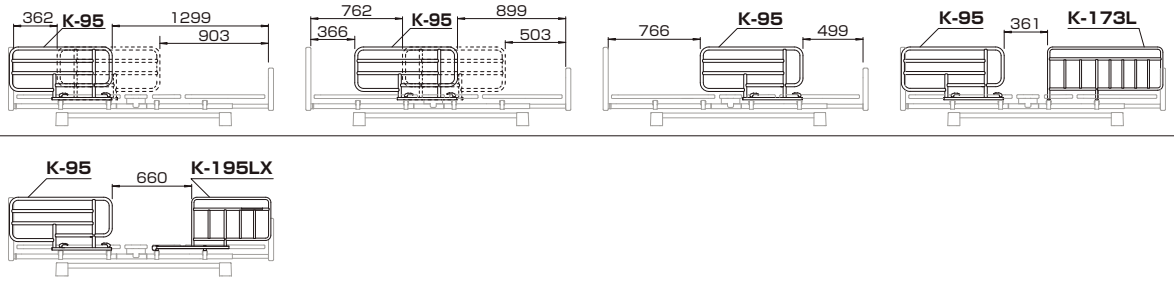
あし側

ロングサイズの組み合わせ表

（単位：mm）

K-95、K-173L、K-195LXを使用した、サイドレールの組み合わせ

あたま側



あし側

⚠ 警 告

事故・破損・ケガの原因になります

◆固定脚を2ケ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。

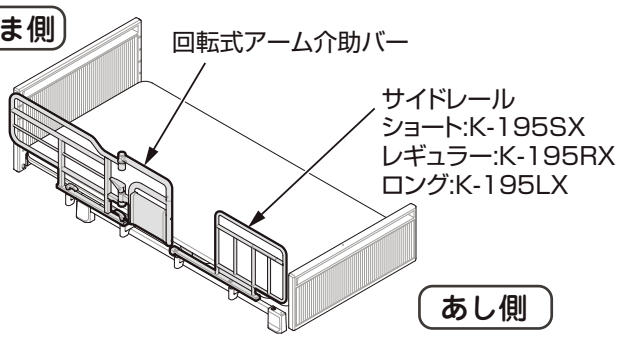
◆サポートグリップを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

◆ベッドに取り付ける際は取り付けレバーで確実に固定してください。

◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

回転式アーム介助バー K-47R/K-45R/K-40RX JIS認証対象

ベッド両側のオプション受けの穴を利用して回転式アーム介助バーを使用できます。
回転式アーム介助バーはバッドからの起き上がりや立ち上がりなどの動作を補助するのに役立ちます。

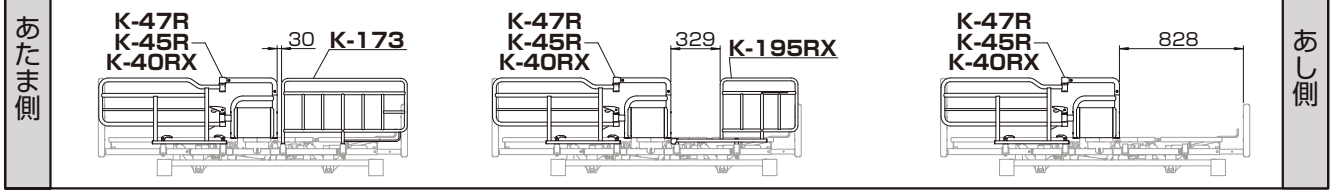


※安全のため、ご使用の方がベッドから転落するおそれがある場合などには、この回転式アーム介助バーと併用して「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」をベッドのサイズに応じて、組み合わせてご使用ください。
※ベッドへの取り付け位置は組み合わせ表を参照して正しく取り付けてください。
※本製品とこの回転式アーム介助バーと「サイドレール K-195RX、K-195SX、K-195LX、K-173、K-173S、K-173L」の組み合わせは JIS 認証を取得しています。図表以外と組み合わせた場合、JIS 認証を取得していない状態となります。

レギュラーサイズの組み合わせ表

(単位:㎜)

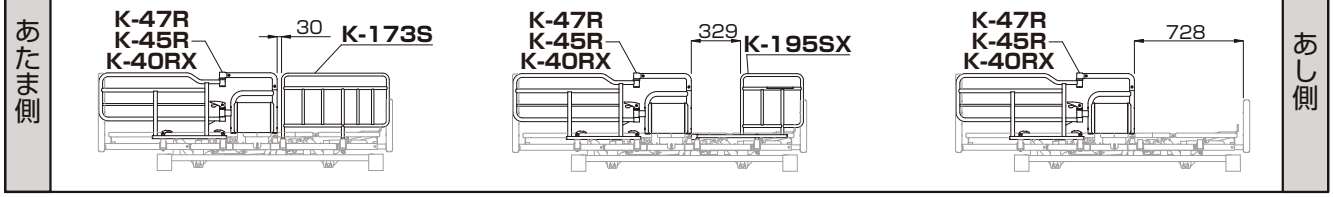
K-45R、K-47R、K-40RX、K-173、K-195RXを使用した、サイドレールの組み合わせ



ショートサイズの組み合わせ表

(単位:㎜)

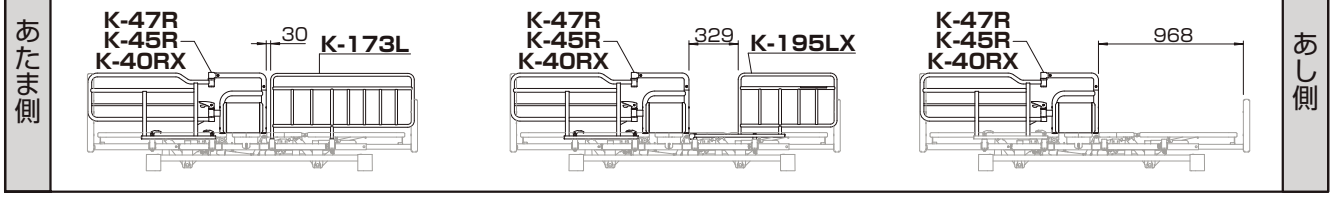
K-45R、K-47R、K-40RX、K-173、K-195SXを使用した、サイドレールの組み合わせ



ロングサイズの組み合わせ表

(単位:㎜)

K-45R、K-47R、K-40RX、K-173L、K-195LXを使用した、サイドレールの組み合わせ



⚠ 警告

事故・破損・ケガの原因になります

◆固定脚を2ケ所ともベッドのオプション受けの穴に差込んでください。
◆グリップは、必ず固定して使用してください。
転倒やはさみ込みの危険があります。
◆ベッドに取り付ける際は取り付けレバーまたは、固定ネジで確実に固定してください。
◆組み合わせを間違えると事故につながるおそれがあります。

キャスターセット K-128/K-129 JIS認証対象

- 本製品に取り付けることができるキャスターセットは、K-128（径10cm）、K-129（径7.5cm）です。
- キャスターは、ストッパー付きとなしの2種類があります。

※本製品とこのキャスターセットの組み合わせはJIS認証を取得しています。これ以外のキャスターと組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。

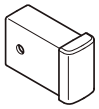
Point

- ベッドの移動が頻繁にある場合や、ご利用者の体重が重い場合は、K-128をおすすめします。

部品の確認

キャスター
ストッパー付き（2個）

キャスター
ストッパーなし（2個）



キャップ（4個）

スプリングワッシャ（4個）

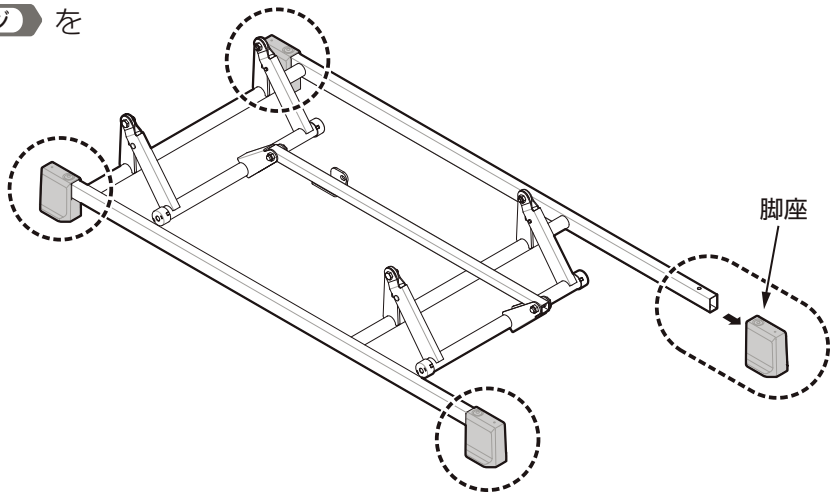
専用スパナ（1個）

ワッシャ（4個）

取り付けかた

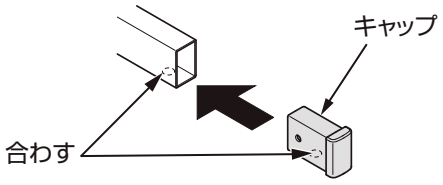
1 ハイローベースユニットの脚座を取り外す

取り外しかたは 68 ページ を参照してください。



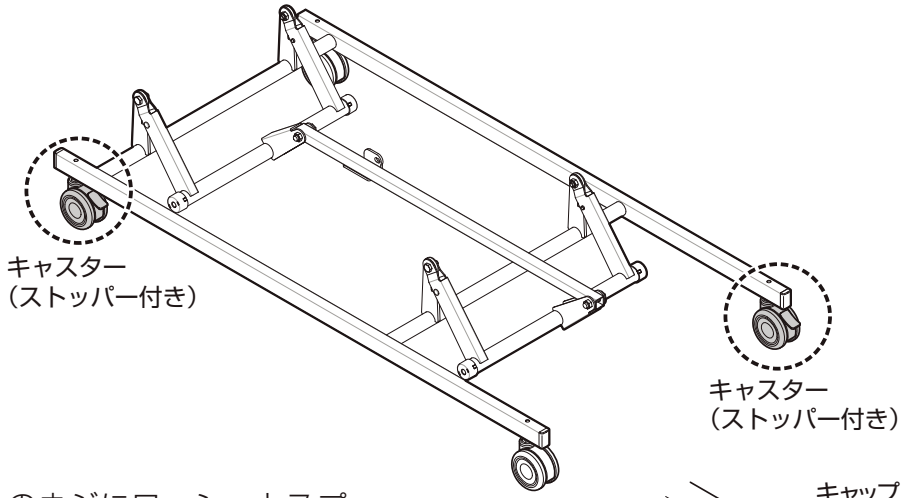
2 キャップを差し込む

ハイローベースユニットの先端の下部の丸穴とキャップのネジ穴位置を合わせて差し込んでください。（4ヶ所）

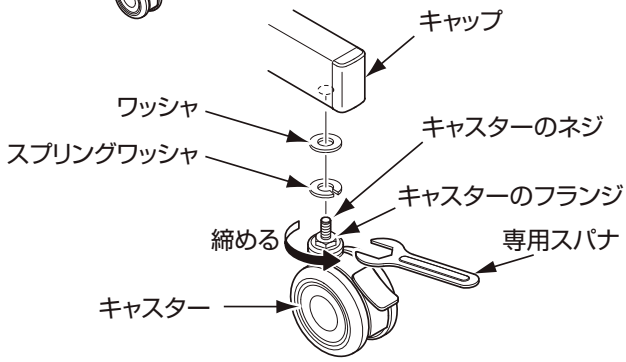


3 キャスターを取り付ける

1. ストッパー付きのキャスターが対角になるように取り付けてください。



2. キャスターのネジにワッシャとスプリングワッシャを入れて、キャスターを取り付けてください。
専用スパナを使用して、キャスターのフランジを締め付けてください。
（4ヶ所）



Point

●キャスター（ストッパー付き）をロックし、ハイローベースユニットが動かない状態にしてからベッドを組み立てるようにしてください。

⚠ 警告

破損・ケガの原因になります

◆キャスターは確実に締め付けてください。
キャスターの脱落によりベッドがバランスを崩し、転落・ケガをするおそれがあります。

◆ベッドを移動させるとき以外は、必ずロックを掛けてください。
使用者がベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

◆キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

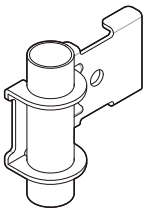
⚠ 注意

家財破損の原因になります

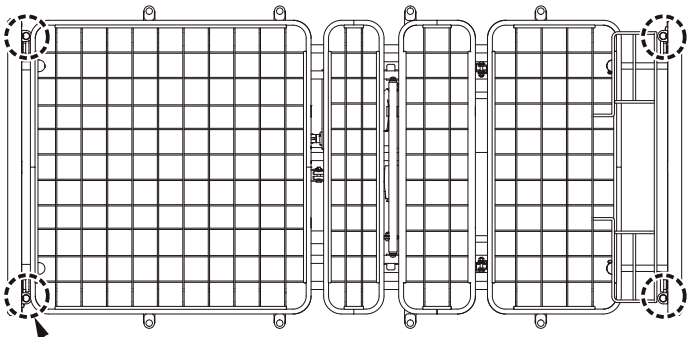
◆畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

IV ポールホルダー K-1500 JIS認証対象

ヘッドボード、フットボードのノブボルトを利用して4ヶ所に取り付けることができます。
IVポールを使用するときに使います。



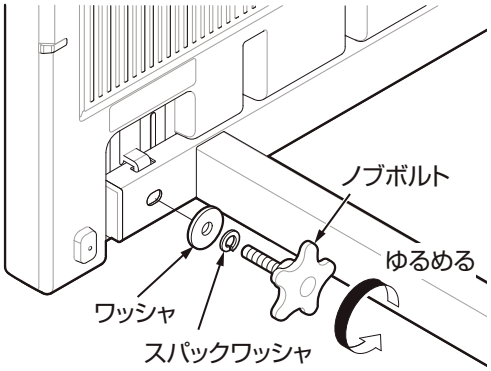
IVポールホルダー



取り付けかた

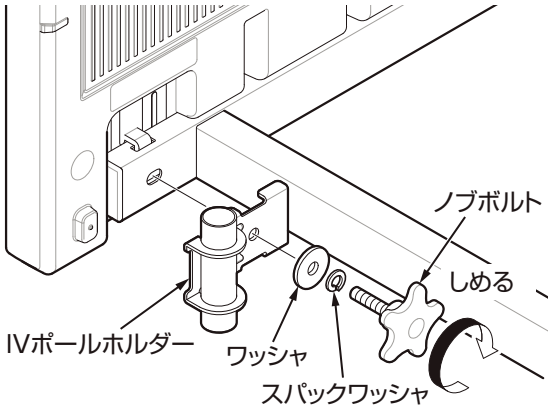
1 ヘッドボードまたはフットボードのノブボルトを外す

IVポールホルダーを取り付ける位置のノブボルトを外します。



2 ノブボルトで固定する

ヘッドボードまたはフットボードとIVポールホルダーの穴の位置を合わせ、ノブボルトとスパックワッシャ、ワッシャで固定します。



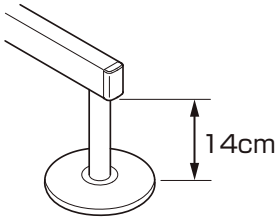
警 告

◆IVポールを差し込んだままでIVポールを持ってのベッドの移動はしないでください。
◆点滴用のチューブなどをIVポールやベッドにはさまないように注意してください。
チューブなどが外れてけがをしたり、チューブなどが破損・変形したりするおそれがあります。

ハイトスペーサー K-140 JIS認証対象

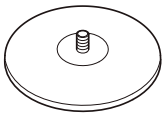
ハイトスペーサーを取り付けることにより、介護リフトなどを使用するために必要な空間を確保できます。
ゆかからフレーム下面の高さが約14cmになります。

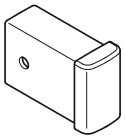
※本製品とこのハイトスペーサーの組み合わせはJIS認証を取得しています。
これ以外のハイトスペーサーを組み合わせた場合、JIS認証を取得していない状態となります。



部品の確認

軸（4個）

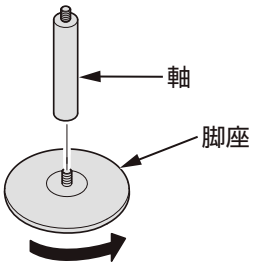

脚座（4個）


キャップ（4個）

取り付けかた

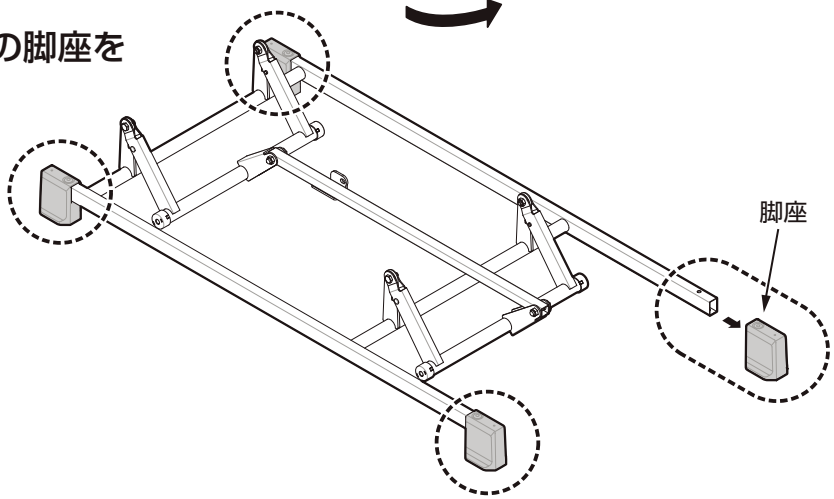
1 ハイトスペーサーを組み立てる

脚座を軸にねじ込んで確実に取り付けてください。（4個）



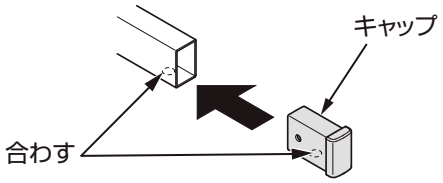
2 ハイローベースユニットの脚座を取り外す

取り外しかたは 68 ページ を参照してください。



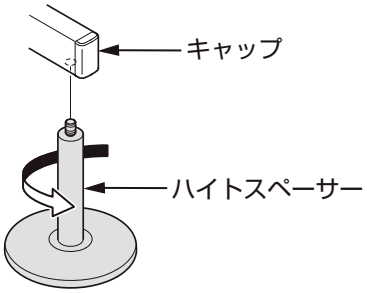
3 キャップを差し込む

ハイローベースユニットの先端の下部の丸穴とキャップのネジ穴位置を合わせて差し込んでください。
（4ヶ所）



4 ハイトスペーサーを取り付ける

ハイトスペーサーを手で回して、ハイローベースユニットに取り付けてください。（4ヶ所）

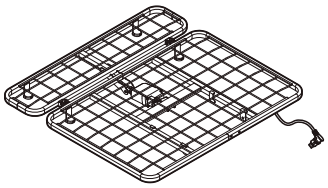


電動ヘッドレストボトムユニット NS-HRB90 JIS認証対象

背ボトムのヘッドレスト部は、背ボトムに対して0～30度の範囲で、無段階で調節することができます。ヘッドレスト部を上げて使用すると、顎を少し引いた姿勢となり、飲み物を口に入れやすく、また飲み込みやすくして誤嚥を軽減することができます。

部品の確認

専用手元スイッチ（ヘッドレスト用）



電動ヘッドレストボトム

初回購入時から電動ヘッドレストをご希望の方には「電動ヘッドレストボトム専用フロントユニットセット」のオプションもご用意しております。弊社カスタマーサポートまでお問合せください。

取り付けかた

1 背上げをする 11～12ページ 参照

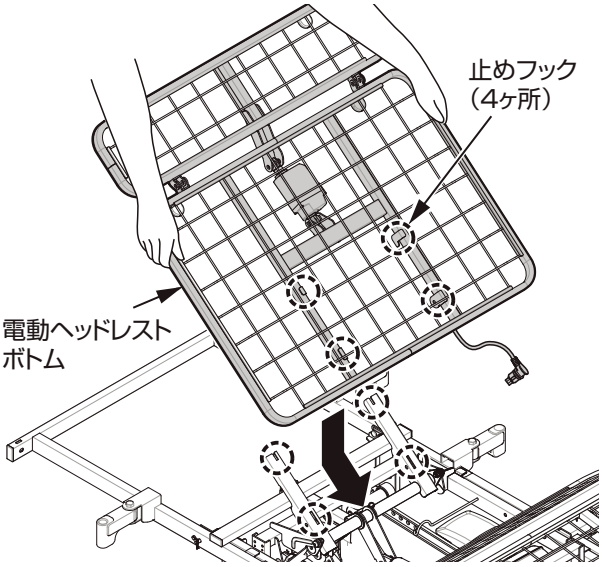
手元スイッチのボタンを操作して背ボトムを約45度上げた状態にします。

2 ヘッドボードを取り外す 60ページ 参照

3 背ボトム、座ボトムを取り外す 64～65ページ 参照

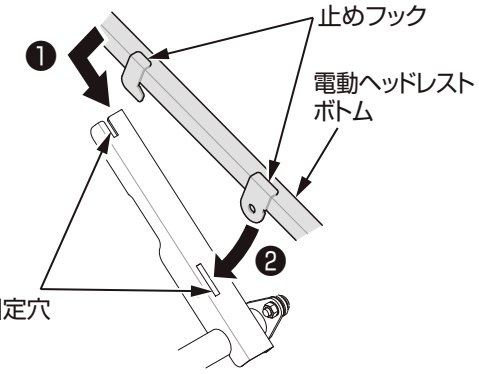
4 電動ヘッドレストボトムを取り付ける

1. 電動ヘッドレストボトムを図のように持ちます。



2. 止めフックをボトム受け金具の固定穴に合わせ、矢印の方向に背ボトム全体をスライドさせて差し込みます。（左右4ヶ所）

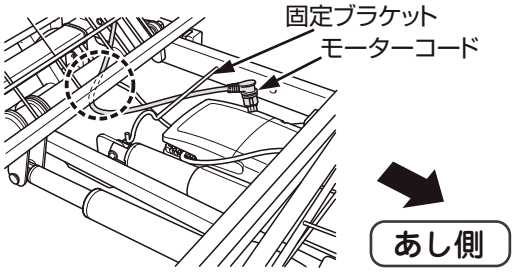
❶ 頭側の止めフックを固定穴に引っかけます



❷ 電動ヘッドレストボトムを回転させて足側の止めフックを固定穴に差し込みます。

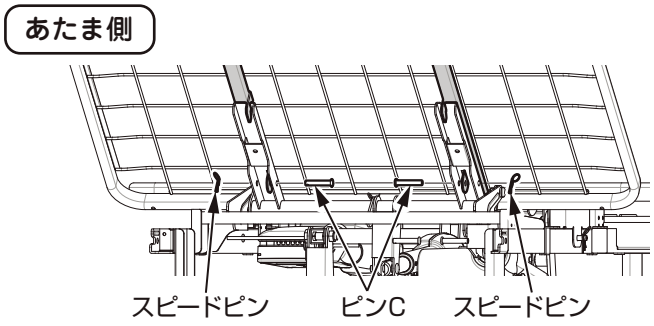
Point

- モーターコードは、電動ヘッドレストボトムとフレームの間、固定ブラケットの下を通してあし側に出します。



5 ピンで固定する

ボトム受け金具の穴にピンCを内側から外側に向けて差し込み、スピードピンで固定します。（左右２ヶ所）



⚠ 注 意

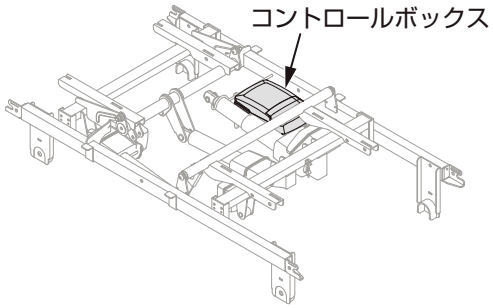
事故、破損の原因になります。

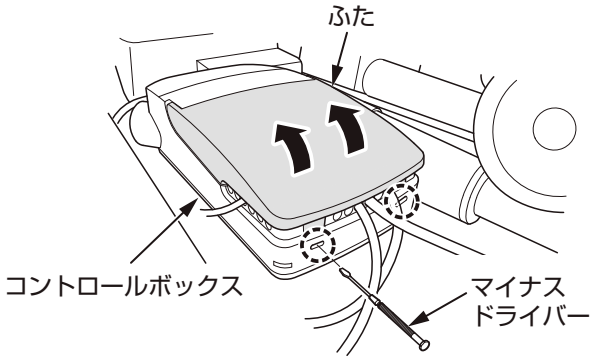
◆電動ヘッドレストボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に入っているか必ず確認してください。

◆ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

6 コントロールボックスを開ける

コントロールボックスのふたを引き上げながら、片側ずつ穴（2 ヶ所）にマイナスドライバーを差し込み、ふたを開けます。



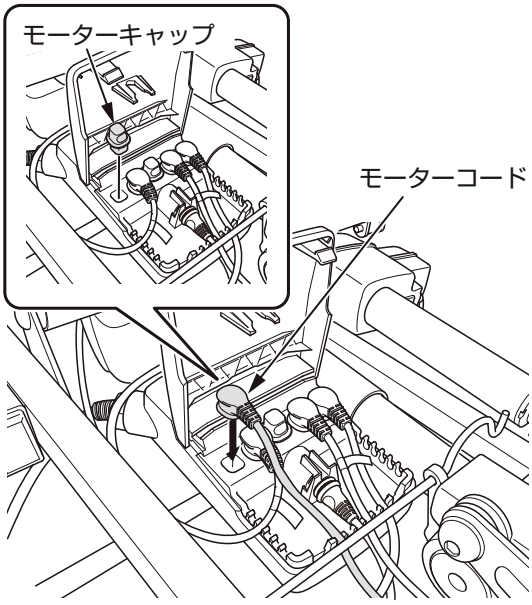


Point

●コントロールボックスを開けるときにマイナスドライバーで穴（2ヶ所）の中からツメを下から押し上げると開けやすくなります。

7 モーターコードを接続する

接続口のモーターキャップを取り外し、モーターコードを接続します。



⚠ 注 意

静電気によって故障するおそれがあります

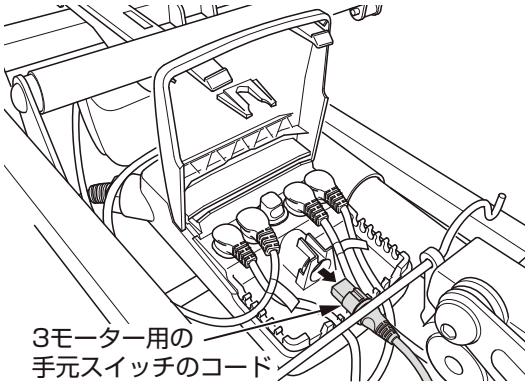
静電気は衣類や人体に帯電しています。コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属製のものに触れるなどして、必ず静電気を逃してください。

故障や感電の原因となるおそれがあります。

コード類を接続する際には接続口に直接手を触れないでください。

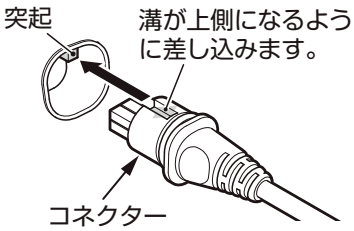
8 手元スイッチを取りかえる

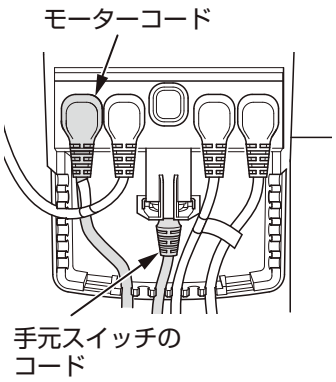
コントロールボックスに元から接続されている3モーター用の手元スイッチのコードを抜き、電動ヘッドレスト対応の手元スイッチのコードを接続します。
手元スイッチのコネクターが奥まで差し込まれたことを必ず確認します。



⚠ 注意

コネクターの差し込みには方向性がありますので、正しい向きで差し込んでください。
間違った向きで無理やり差し込むと、突起やコネクターを破損するおそれがあります。





9 コントロールボックスを閉じる

コントロールボックスの下面を支えながら、ふたをしっかりと押さえて閉めます。
また、ふたのツメが引っかかり、開かないことを必ず確認します。

10 座ボトム、ヘッドボードを取り付ける 27、35 ページ 参照

11 動作確認

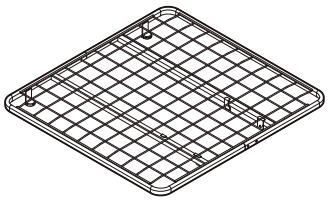
手元スイッチのボタンを押すとベッドの各部が動きます。
ボタンを押したときにベッドの各部が動くことを確認します。
手元スイッチに文字が記載されていても、製品によっては使用しないボタンがあります。
（他の製品と共用仕様のため）
手元スイッチのボタンを押しても動かないときは他のボタンが使えるか確認してください。
72 ページ 参照

12 「使いかた」をよく読み、正しく使う 9 ～ 12 ページ 参照

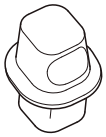
取り外した部品

※取り外した部品は、大切に保管してください。

手元スイッチ（3モーター用）



背ボトム

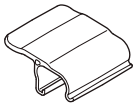


モーターキャップ

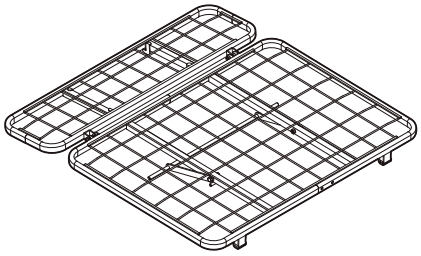
ロングボトムユニット NS-LB90 JIS認証対象

ロングボトムユニットは、長身の方に合わせてベッドの全長を14cm延長してご使用いただけます。
専用の延長マットレス（別売）を取り付けてご使用ください。

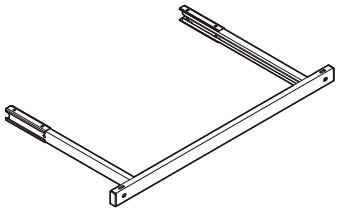
部品の確認



マットレス止め（2個）



膝・脚ボトム（ロング）



ロング用モジュール調節ユニット

別売の延長マットレス
LBU-MB900

取り付けかた

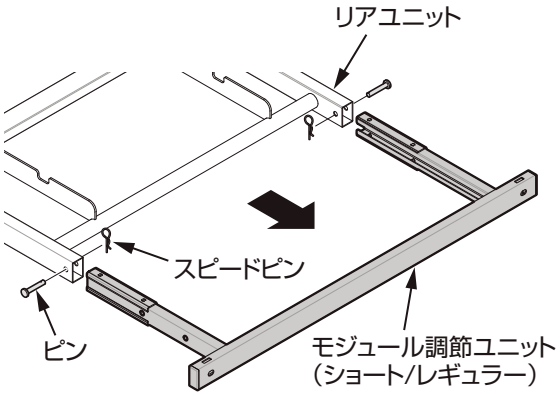
1 フットボードを取り外す 60 ページ 参照

2 膝・脚ボトムを取り外す 63 ページ 参照

※脚ボトムのマットレス止めは取り外しておきます。61 ページ 参照

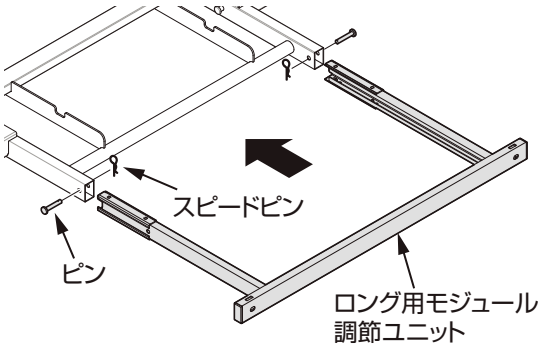
3 リアユニットからモジュール調節ユニットを取り外す

1. リアユニットのモジュール調節ユニットを固定しているピンを取り外します。（左右）
2. モジュール調整ユニットを取り外します。



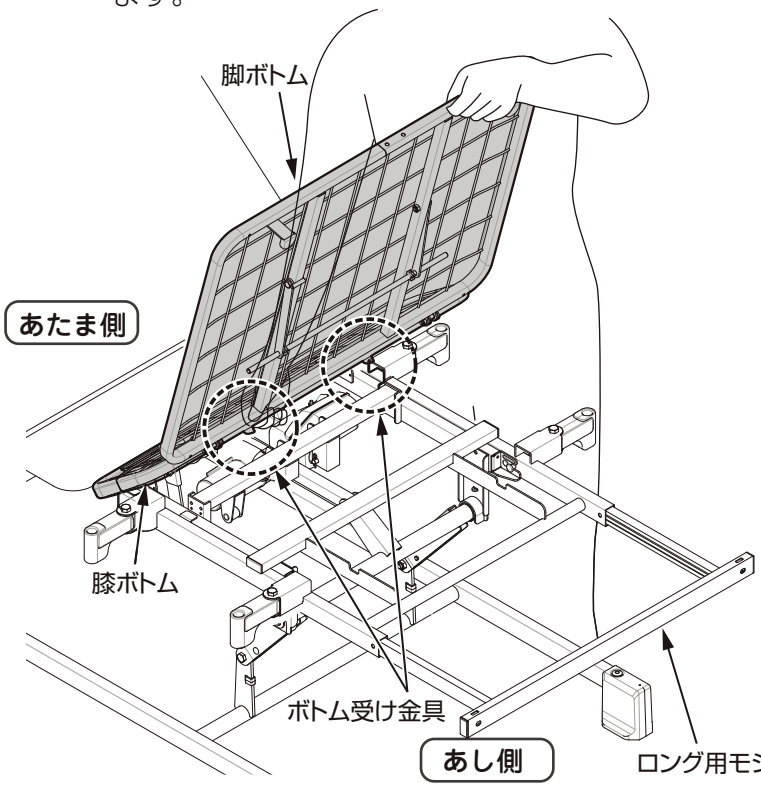
4 ロング用モジュール調節ユニットを取り付ける

1. 先の手順で外したピンを通しスピードピンで固定します。（左右）

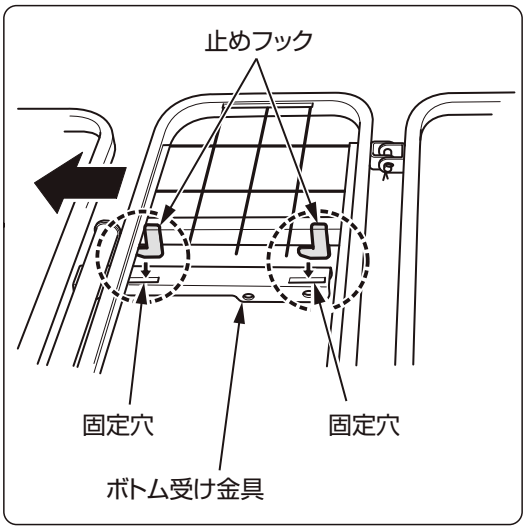


5 膝・脚ボトム（ロング）を取り付ける

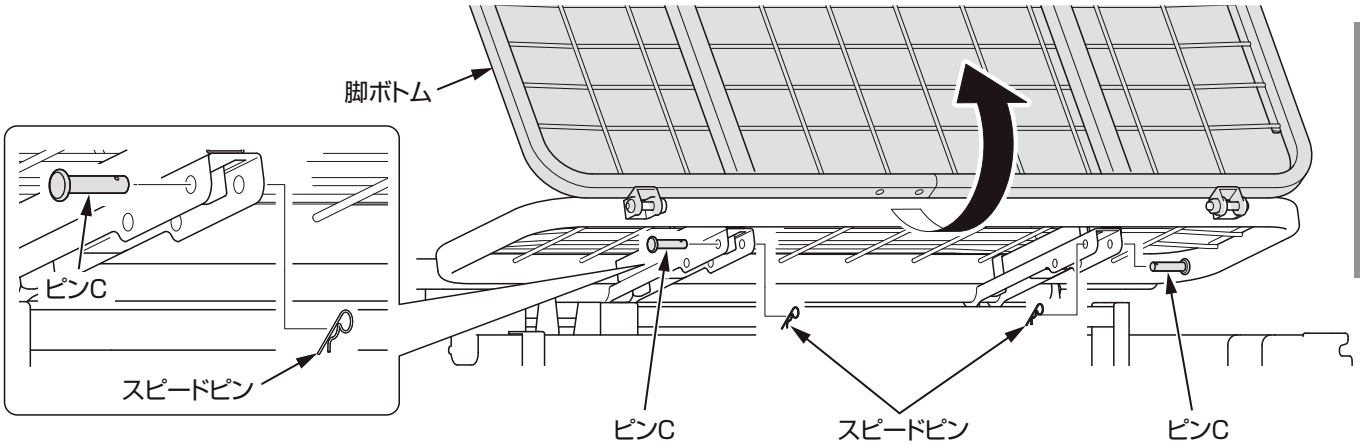
1. 膝ボトムと脚ボトムを図のように持ちます。



2. 膝ボトムの止めフックをボトム受け金具の固定穴に合わせ、矢印の方向にボトム全体をスライドさせて差し込みます。（左右４ヶ所）



3. 脚ボトムを図のように押し上げて、ボトム受け金具の穴にピンCを外側から内側に向けて差し込み、スピードピンで固定します。（左右２ヶ所）



⚠ 注意

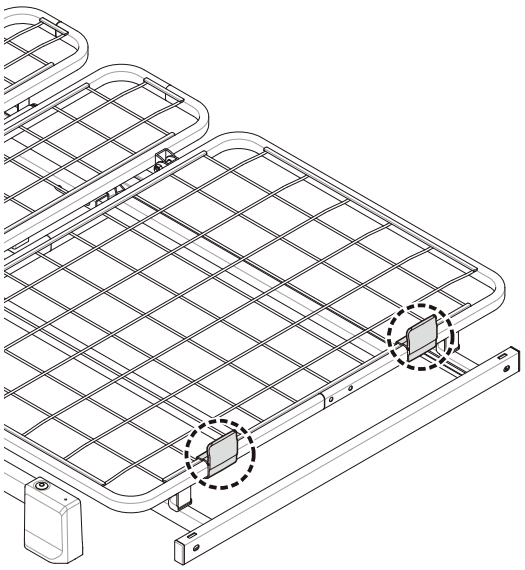
事故、破損の原因になります。

◆膝ボトムの止めフックがボトム受け金具の固定穴に確実に入っているか必ず確認してください。

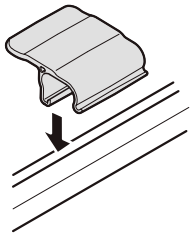
◆ピンCは、ベッドの外側から内側に向けて差し込み、スピードピンで必ず固定してください。

◆脚ボトムの落下に注意してください。

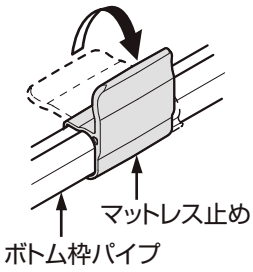
6 マットレス止めを取り付ける



1. マットレス止めボトム枠パイプにはめ込みます。



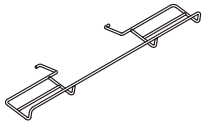
2. 取り付けたマットレス止めを回転させてボトム枠パイプに固定します。



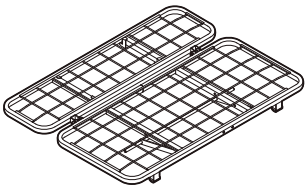
7 フットボードを取り付ける 35 ～ 36 ページ 参照

取り外した部品

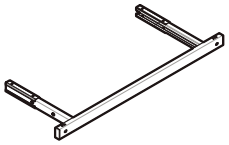
※取り外した部品は、大切に保管してください。



マットレス止め金具



ボトムユニット

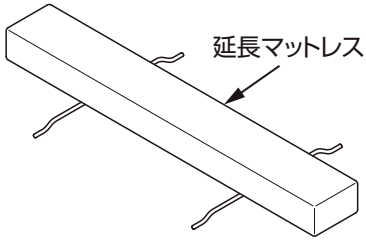


標準モジュールパイプ

延長マットレス LBU-MB900

延長マットレスは、ベッドをご使用の方の足先だけを乗せることを目的としています。

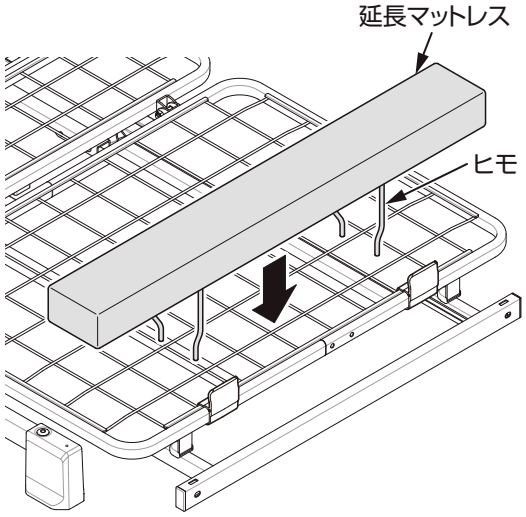
部品の確認



取り付けかた

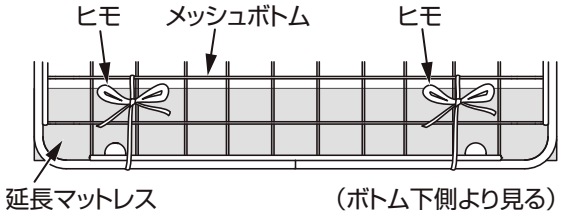
1 設置する

膝・脚ボトム（ロング）の上に延長マットレスを置きます。
ヒモはメッシュボトムの穴に通します。



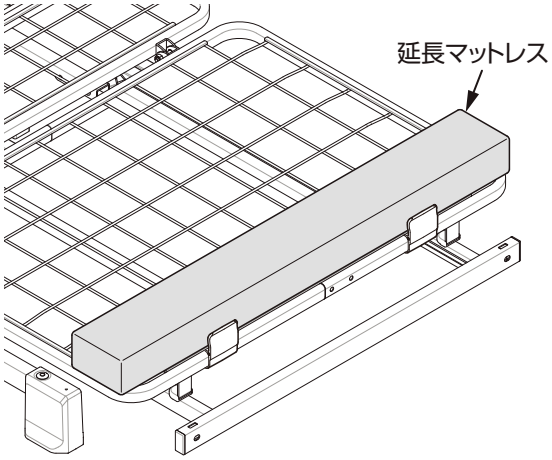
2 固定する

膝・脚ボトム（ロング）の裏側でマットレスのヒモを結びます。



3 確認する

延長マットレスが動かないことを確認します。



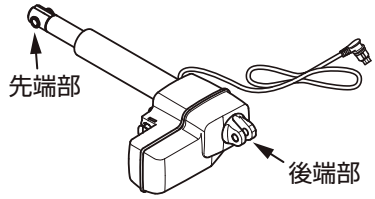
⚠ 注意

◆ベッドのサイズに合ったマットレスを必ず使用してください。
ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれたり、はまったりして動けなくなり、けがをするおそれがあります。

後付けフットモーターユニット NS-AF4080 JIS認証対象

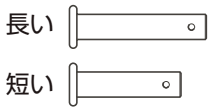
後付けフットモーターユニットを本製品（NS-820）に取り付けることにより、背ボトムと膝ボトムの角度を個別に調節できるようになります。

部品の確認



脚上げモーター

手元スイッチ（3モーター用）



ピン（2本）

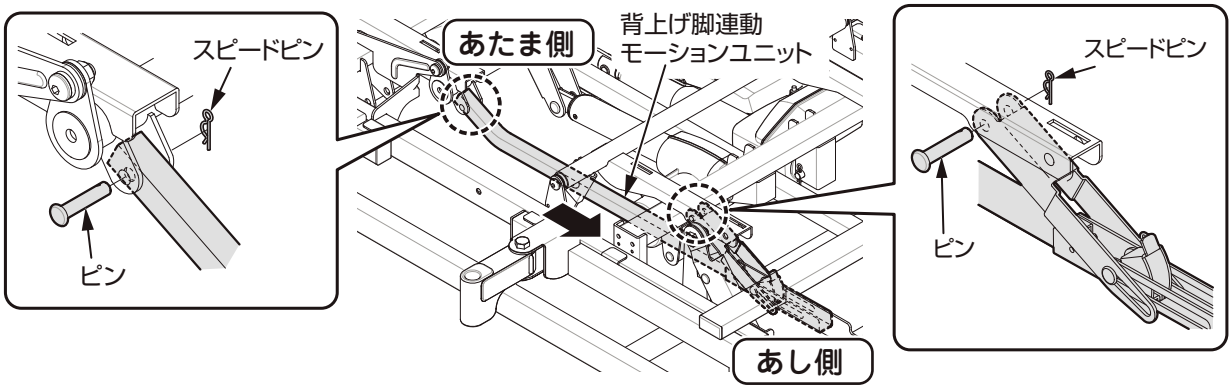
ヌケドメピン（2本）

取り付けかた

1 フットボード、全てのボトムを外す 60、63 ～ 65 ページ 参照

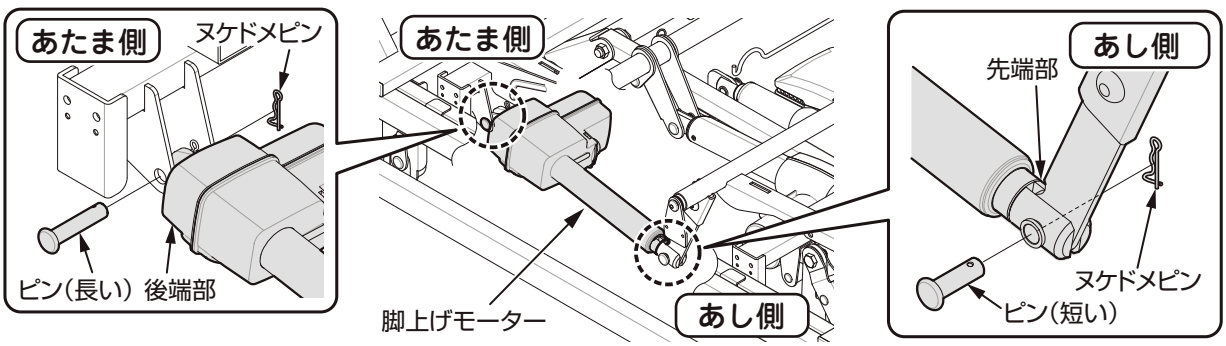
2 背上げ脚連動モーションユニットを取り外す

1. 背上げ脚連動モーションユニットを取り付けているピン、スピードピンを取り外します。（2ヶ所）
2. 背上げ脚連動モーションユニットを取り外します。



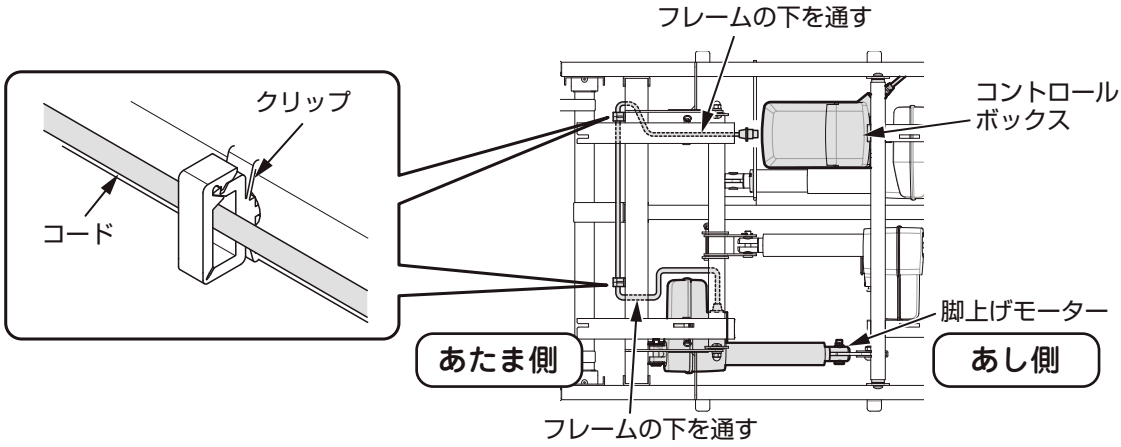
3 脚上げモーターを取り付ける

1. 脚上げモーターを取り付け位置に後端部を「あたま側」、先端部を「あし側」に配置します。
2. 脚上げモーターの後端部をピン（長い）、先端部をピン（短い）、ヌケドメピンで固定します。



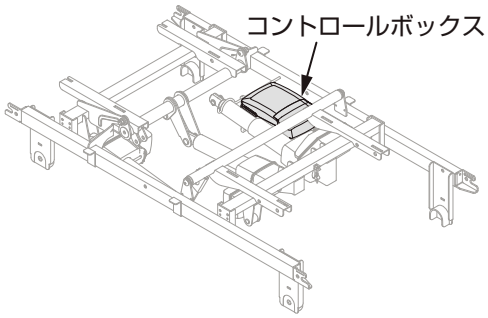
4 モーターコードを配線する

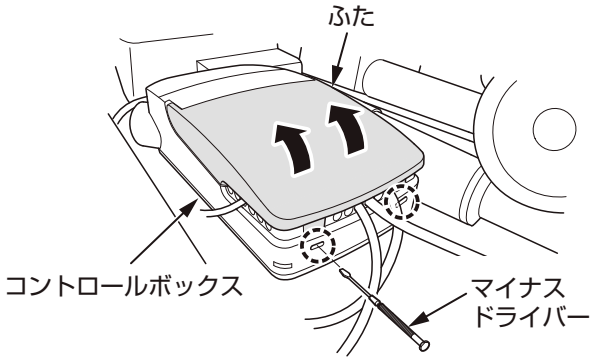
コードは必ずフレームの下を通してクリップ(2ヶ所)にたるまないようにコントロールボックスまで配線します。



5 コントロールボックスを開ける

コントロールボックスのふたを引き上げながら、片側ずつ穴(2ヶ所)にマイナスドライバーを差し込み、ふたを開けます。





Point

- コントロールボックスを開けるときにマイナスドライバーで穴（2ヶ所）の中からツメを下から押し上げると開けやすくなります。

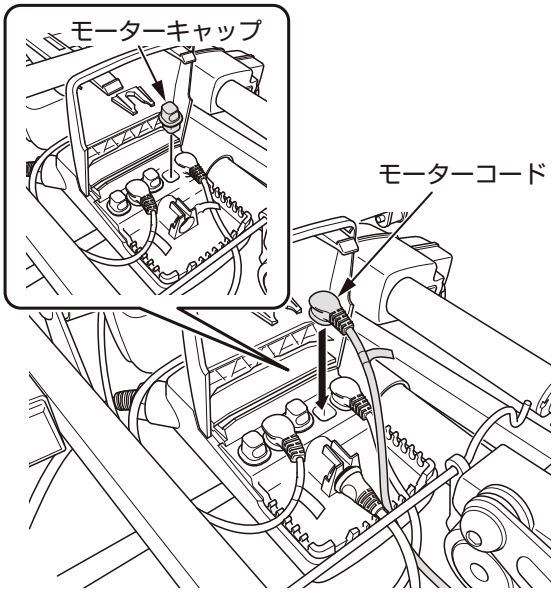
6 モーターコードを接続する

接続口のモーターキャップを取り外し、モーターコードを接続します。

⚠ 注 意

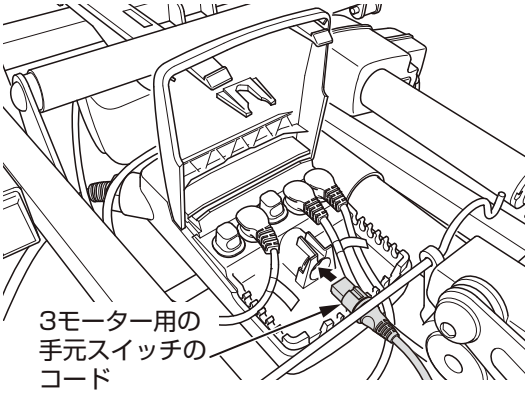
静電気によって故障するおそれがあります

静電気は衣類や人体に帯電しています。コード類をコントロールボックスに接続する前に、ベッド以外の金属製のものに触れるなどして、必ず静電気を逃してください。
故障や感電の原因となるおそれがあります。
コード類を接続する際には接続口に直接手を触れないでください。



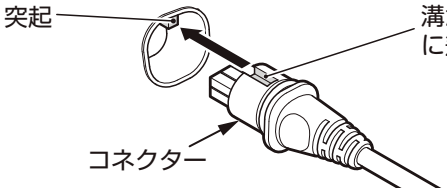
7 手元スイッチを取りかえる

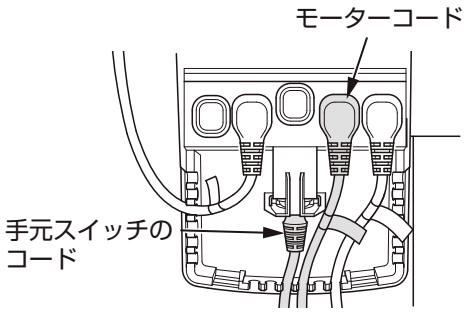
コントロールボックスに元から接続されている2モーター用の手元スイッチのコードを抜き、3モーター用の手元スイッチのコードを接続します。
手元スイッチのコネクターが奥まで差し込まれたことを必ず確認します。



⚠ 注意

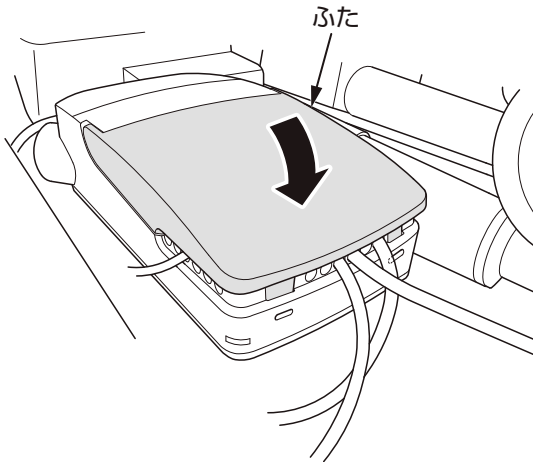
コネクターの差し込みには方向性がありますので、正しい向きで差し込んでください。
間違った向きで無理やり差し込むと、突起やコネクターを破損するおそれがあります。





8 コントロールボックスを閉じる

コントロールボックスの下面を支えながら、ふたをしっかりと押さえて閉めます。
また、ふたのツメが引っかかり、開かないことを必ず確認します。



9 全てのボトム、フットボードを取り付ける

27 ～ 28、30、35 ～ 36 ページ 参照

10 動作確認

手元スイッチのボタンを押すとベッドの各部が動きます。
ボタンを押したときにベッドの各部が動くことを確認します。

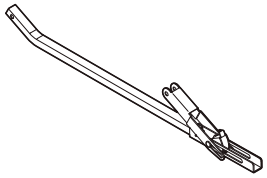
11 「使いかた」をよく読み、正しく使う

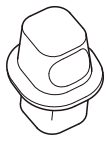
9 ～ 12 ページ 参照

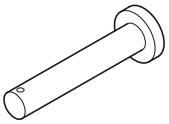
取り外した部品

※取り外した部品は、大切に保管してください。

NS-820
手元スイッチ(2モーター用)


背上げ脚連動モーションユニット


モーターキャップ


ピン(2本)

スピードピン(2本)

介護リフト使用時のご注意

走行訓練用万能リフト「ゴルボ8008 Low Base」が使用できます。

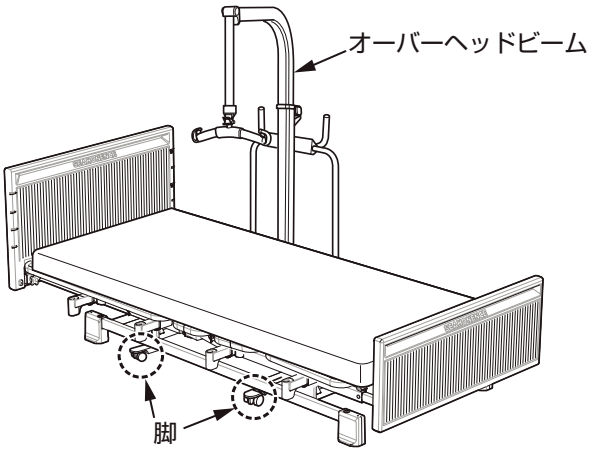
⚠ 警 告

事故・破損・ケガの原因になります

◆床走行式電動介護リフト付属の取扱説明書を必ず読む。

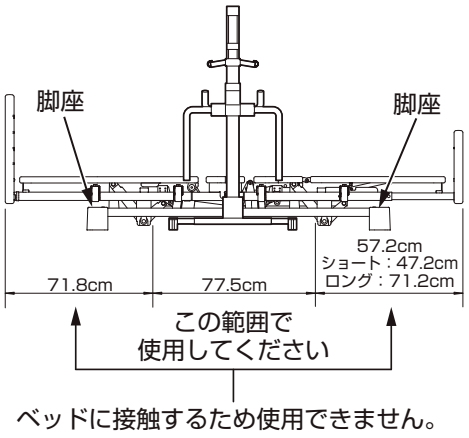
◆ベッドを上げるときや、オーバーヘッドビームを下げるときは、はさみ込みに十分注意する。

◆床走行式電動介護リフトの脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり、乗り越えたりしない。
電源コードが破損により、感電・火災のおそれがあります。



⚠ 注 意

◆右図は、電動介護リフトの使用範囲を示しています。
電動介護リフトは、この範囲で使用してください。
図の範囲外で使用すると、電動介護リフトが破損・変形するおそれがあります。
ベッドにサイドレールや回転式アーム介助バーなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できませんのでご注意ください。

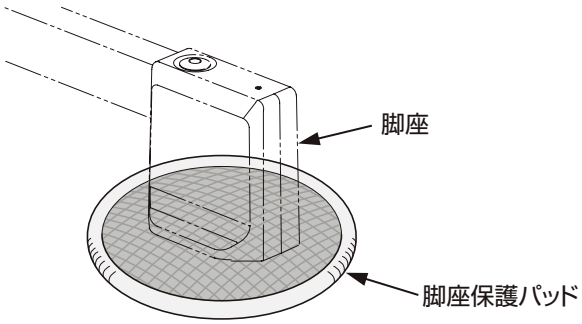


脚座保護パッド K-145

Point

●畳、じゅうたん、フローリングなどの上でベッドを長期間使用し、畳やじゅうたんなどがへこむおそれがある場合は別売の脚座保護パッドをご利用ください。

●裏面はすべりを抑えた素材を使用しています。



脚座保護パッド

マットレス

■支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

DUO WAVE（デュオウェーブ）／ダブルウェーブマットレス

MB-5200 シリーズ
MB-2500 シリーズ
MB-4500 シリーズ

<サイズ>
幅　90cm
長さ ショート＝181cm
　　レギュラー・ロング＝191cm
厚み 8cm

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたりがありません。
- 通気性･通水性があるので､カビや雑菌などが繁殖しにくく､清潔さを保てます。
- MB-2500/5200 は難燃、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-2501 は難燃、側生地に制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-4501 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。
- 上下、裏表の区別はありません。

■お好みによって使い分けることができる【硬め】、【柔らかめ】のダブルフェース

リバーシブルマットレス

MA-3000 シリーズ
RM-100 シリーズ
RM-400 シリーズ

<サイズ>
幅　90cm
長さ ショート＝181cm
　　レギュラー・ロング＝191cm
厚み MA-3000＝10cm
　　RM-100/400＝8cm

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性･通水性があるので､カビや雑菌などが繁殖しにくく､清潔さを保てます。
- MA-3000 は通気性・通水性がある側生地を使用し、中材の素材ごと交換が可能です。
- RM-100 は難燃、側生地に制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- RM-400 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。

■体圧分散効果とリハビリを促進する床ずれ予防マットレス

C−MAX（シーマックス）

SA-2030 シリーズ

<サイズ>
幅　90cm
長さ ショート＝181cm
　　レギュラー・ロング＝191cm
厚み 12cm

- シーホネンス独自のオリジナルウレタン構造により高い体圧分散効果を発揮します。
- マットレス底面は、底づきを防止するため硬めのウレタンフォームを使用しています。ベッドの背上げ・膝上げに合わせて柔軟に曲がるようにスリット加工を施しています。
- マットレス両サイドは、しっかりと安定した端座位姿勢がとれるように、また起き上がり時に手や肘を使ってしっかりと上体を起こすことができるよう硬めのウレタンフォームを使用しています。
- 抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

■高反発ウレタン素材とスリット加工によりベッドの動きにフィットしたマットレス

Fit Tex（フィットテックス）

SA−1020 シリーズ

<サイズ>
幅　90cm
長さ ショート＝181cm
　　レギュラー・ロング＝191cm
厚み 8cm

- ほどよい柔らかさの高反発ウレタンフォームを使用しており、快適な弾力でからだを安定して支えるとともに体動を吸収してリラックスできる寝心地をご提供します。
- マットレス全体にスリット加工を施すことで体圧を分散するとともに、ベッドの背上げ・膝上げの動きに合わせて柔軟に曲がります。
- 抗菌、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

⚠ 警 告

◆ベッドのサイズに合ったマットレスを必ず使用してください。
ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれたり、はまったりして動けなくなり、けがをするおそれがあります。

分解

ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めしますが、ご自分でおこなう場合は以下の手順でおこなってください。

分解の前に

1.ベッドに取り付けているオプション（ベッドサイドレールや回転式アーム介助バーなど）をベッドから取り外して、寝具・マットレスなどをベッドから降ろします。

2.電源プラグをコンセントに差し込みます。

3.ロックスイッチを「解除」に設定してください。

4.分解しやすくするために目安としてあたまを約45度、あしを約30度、たかさを約40cmに上げた状態にします。

5.電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠注意

事故、破損、ケガの原因になります。

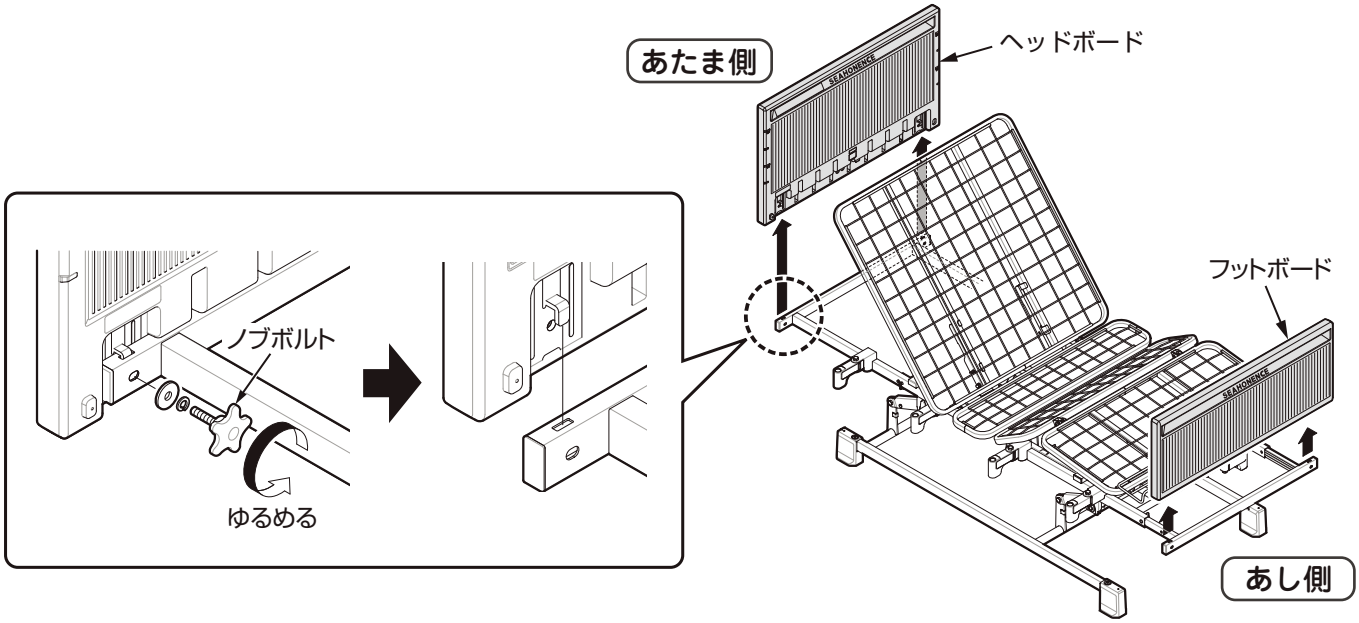
◆キャスターセット（K-128またはK-129）をご使用の場合は、必ずキャスターを固定状態にしてから作業をおこなってください。固定状態になっていない場合、分解作業中にベッドが動いておもわぬケガをするおそれがあります。

分解のしかた

STEP1　ヘッドボード・フットボードの取り外し

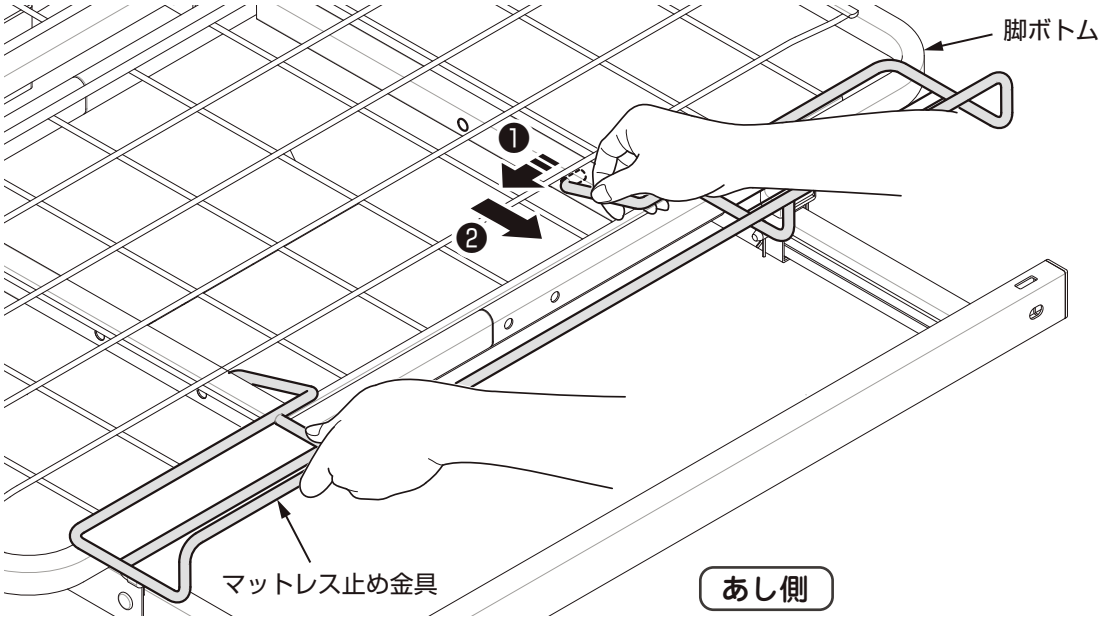
1 ヘッド・フットボードを取り外す

ノブボルトを緩めて外し、ヘッド・フットボードを両手で持って取り外します。



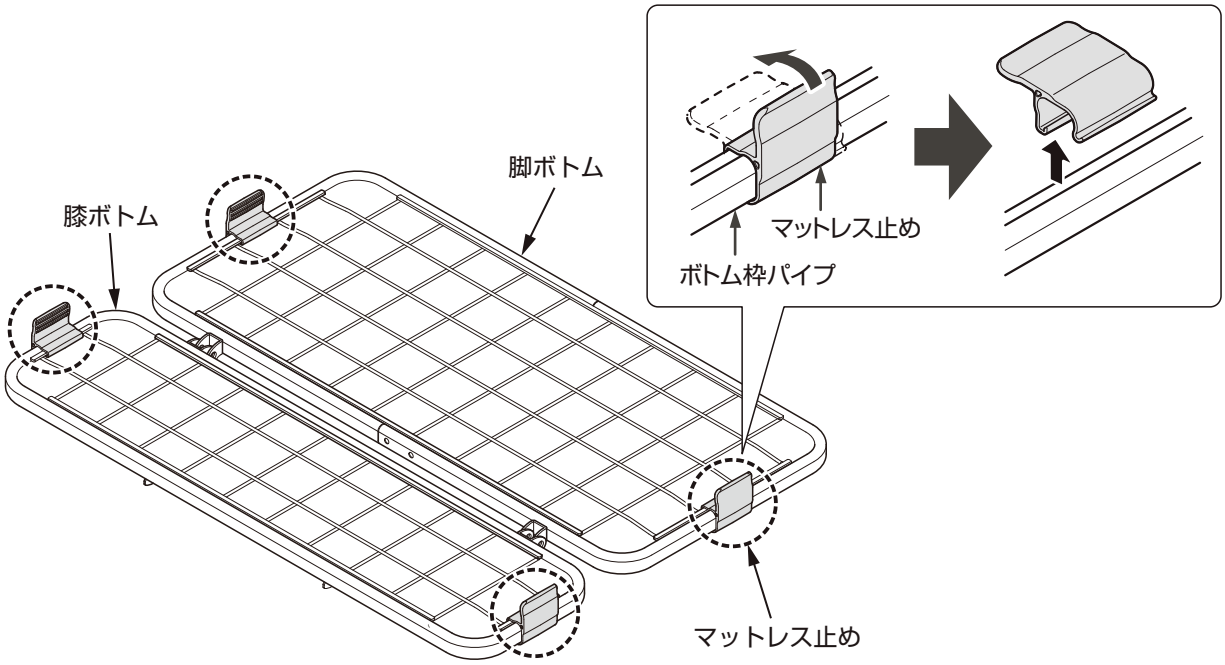
STEP2　マットレス止め金具の取り外し

1 マットレス止め金具の片側を内側に軽く押さえ、差し込み口より外す



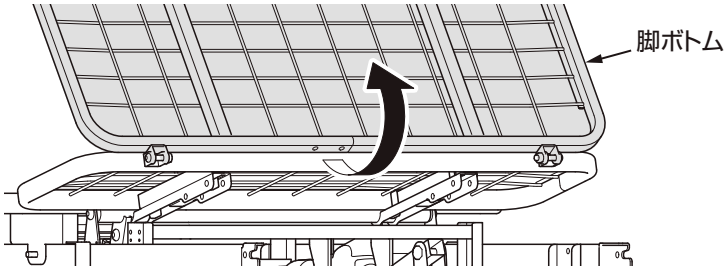
2 もう片側を差し込み口より外し、マットレス止め金具を取り外す

3 マットレス止めをベッドの内側に倒して、ボトム枠パイプより取り外す



STEP3　リアユニットの取り外し

1 脚ボトムを図のように持ち上げる



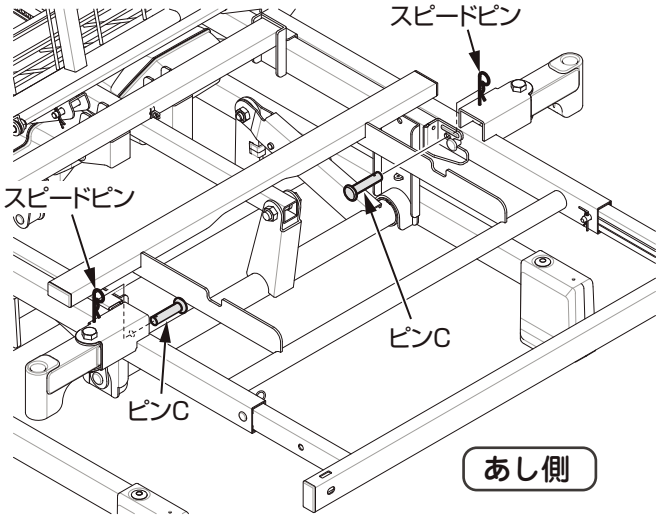
⚠ 注意

事故、破損、ケガの原因になります。

◆脚ボトムの落下に注意してください。

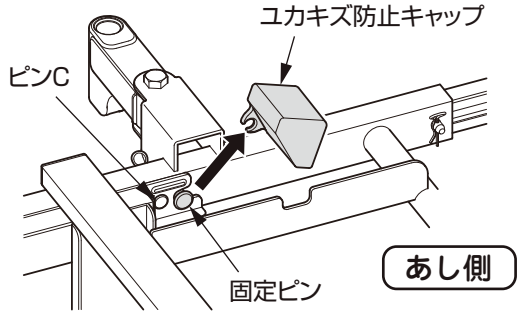
2 ピンを取り外す

スピードピンを抜き、ピンCを取り外します（左右２ヶ所）。



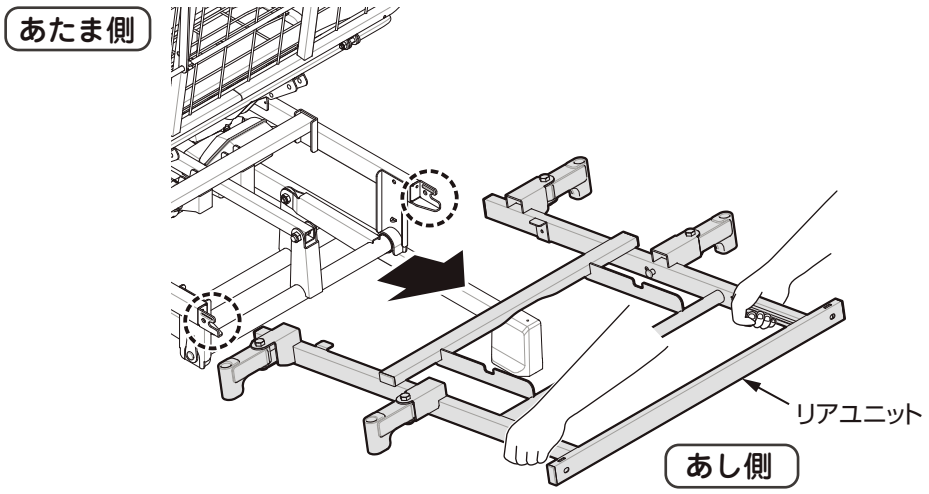
Point

●ユカキズ防止キャップ付きのとき
リアユニットの固定ピンに取り付けていたユカキズ防止キャップを取り外してから、作業してください（左右２ヶ所）。



3 リアユニットを取り外す

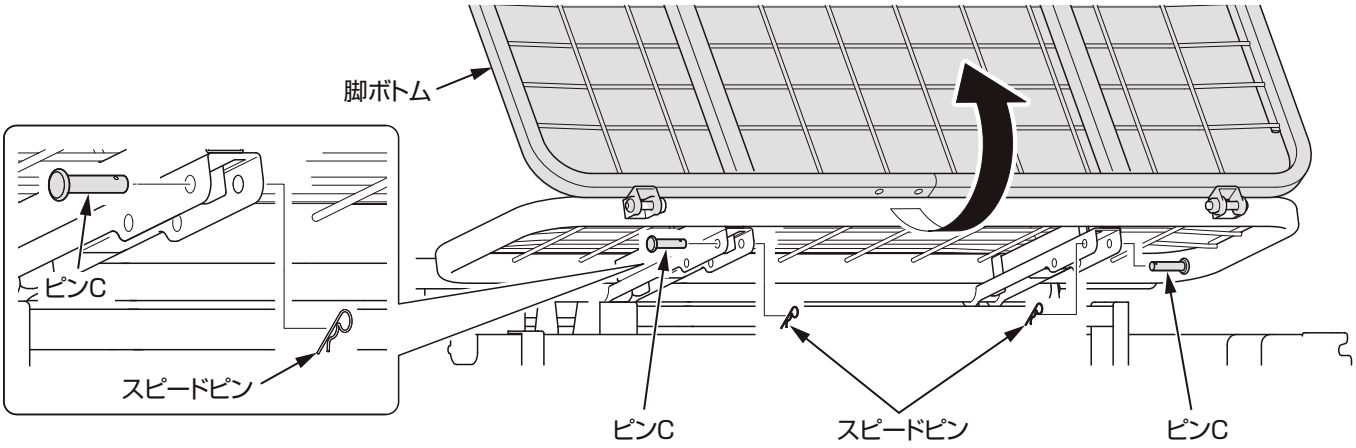
リアユニットを両手でしっかり持って矢印の向きに取り外します。



STEP4　膝ボトム・脚ボトムの取り外し

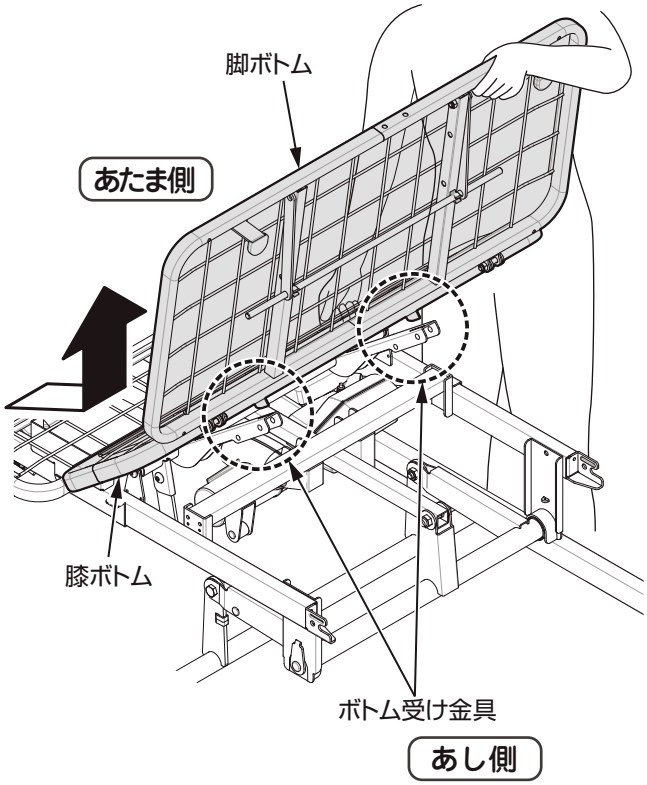
1 ピンを取り外す

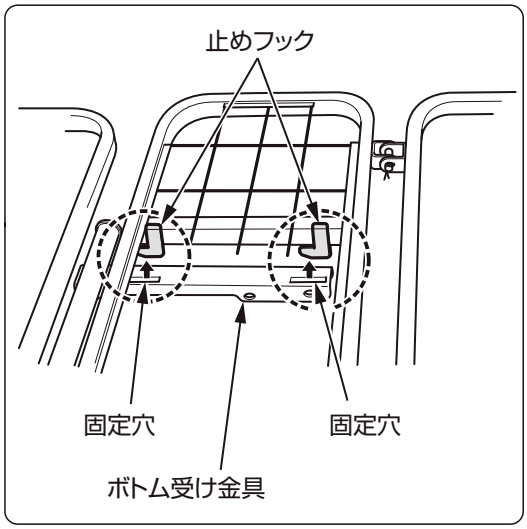
スピードピンを抜き、ピンCを取り外します。（左右2ヶ所）



2 膝ボトムと脚ボトムを取り外す

矢印の方向にボトム全体をスライドさせて、膝ボトムの止めフックをボトム受け金具の固定穴から取り外します。（左右４ヶ所）

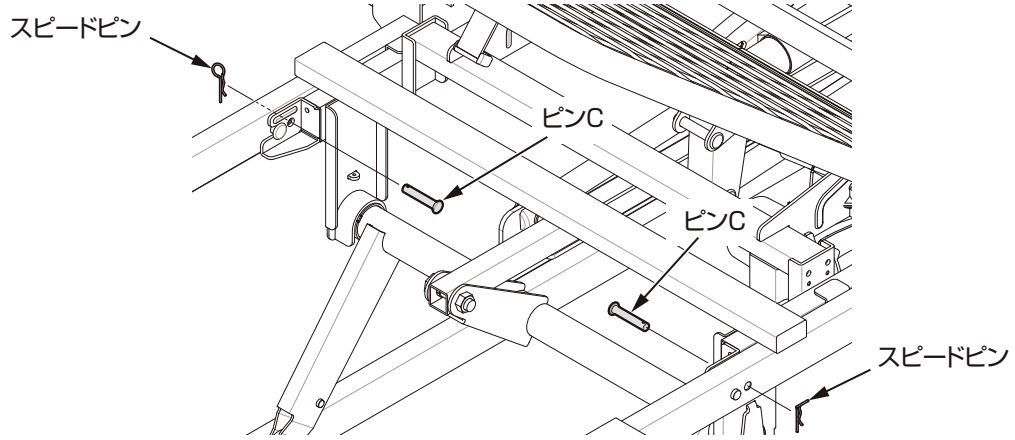




STEP5　フロントユニットの取り外し

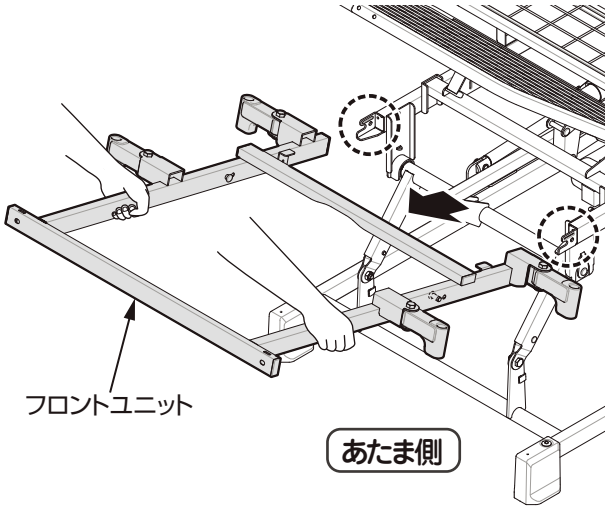
1 ピンを取り外す

スピードピンを抜き、ピンCを取り外します。（左右２ヶ所）



2 フロントユニットを取り外す

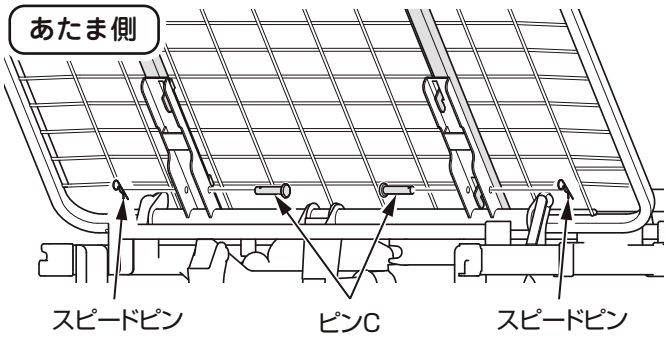
フロントユニットを図のように持ち、矢印の向きに取り外します。



STEP6　背ボトムの取り外し

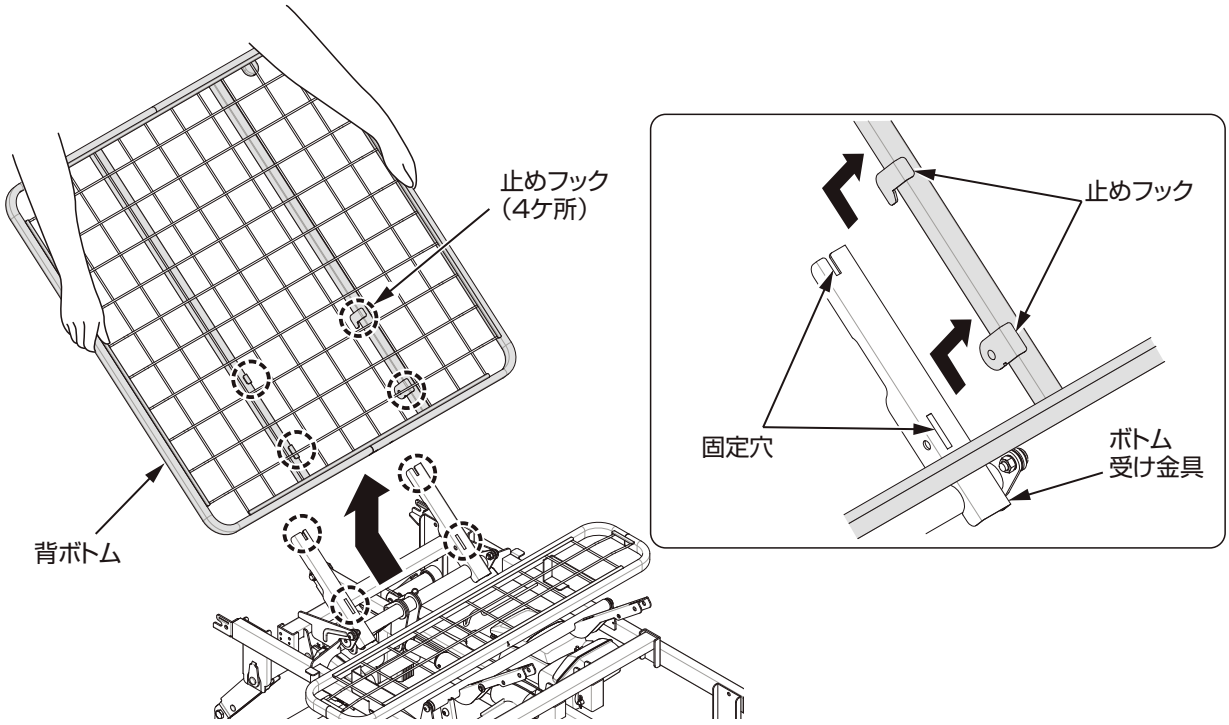
1 ピンを取り外す

スピードピンを抜き、ピンCを取り外します。（左右２ヶ所）



2 背ボトムを取り外す

矢印の方向に背ボトム全体をスライドさせて、背ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴から取り外します。（左右４ヶ所）

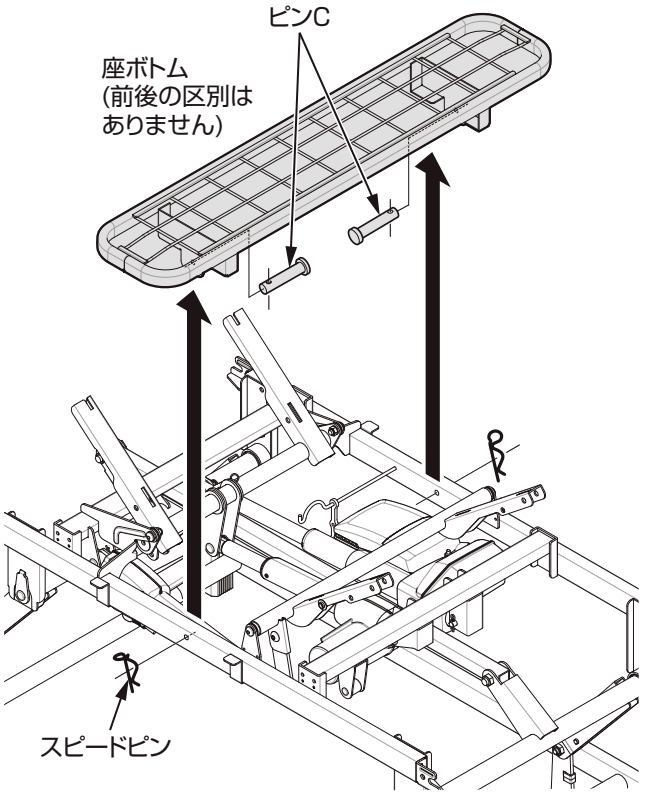


STEP7　座ボトムの取り外し

1 座ボトムを取り外す

1. スピードピンを抜き、ピンCを取り外します。（左右２ヶ所）

2. 座ボトムを矢印の向きに取り外します。



STEP8　ハイローモーターの取り外し

NS-830･NS-820

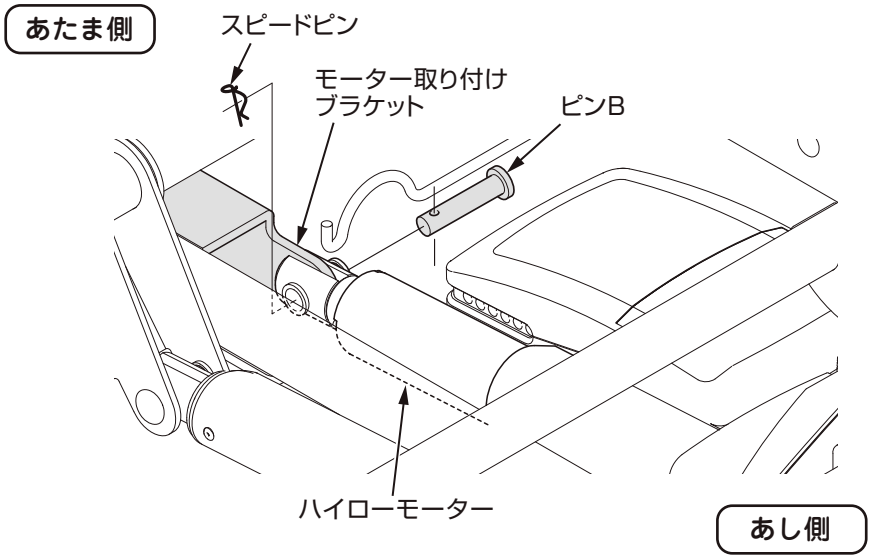
NS-810ではこの作業はおこないません

1 ベッドの角度と高さを調節する

電源プラグをコンセントに差し込みます。
手元スイッチを操作して、あたま、あし(NS-830、NS-820後付けモーターユニット装着時)、たかさを一番下まで下げます。

2 モーター先端を取り外す

1. スピードピンを抜いて、ピンBを取り外します。
2. モーター先端をモーター取付けブラケットから取り外します。



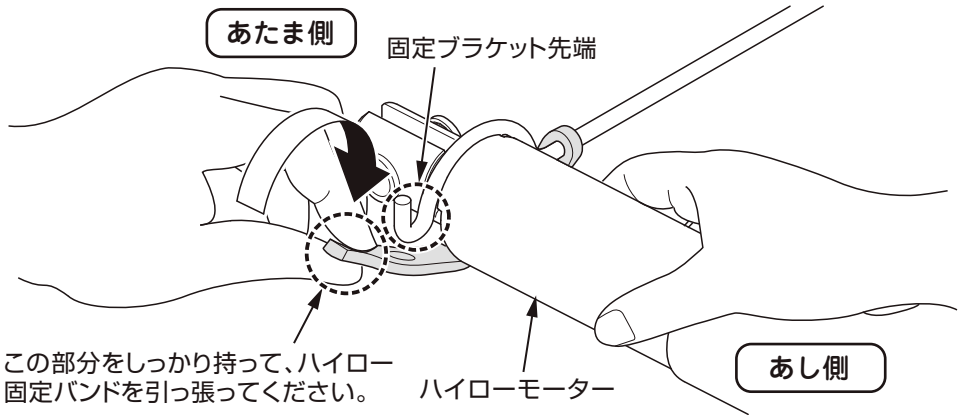
⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆ハイローモーターが脱落しないように必ずハイローモーターを手で支えてください。

3 ハイロー固定バンドで固定する

ハイロー固定バンドを矢印の方向に引っ張って固定ブラケットの先端に引っ掛けます。



STEP8　ハイロー支持金具の取り外し

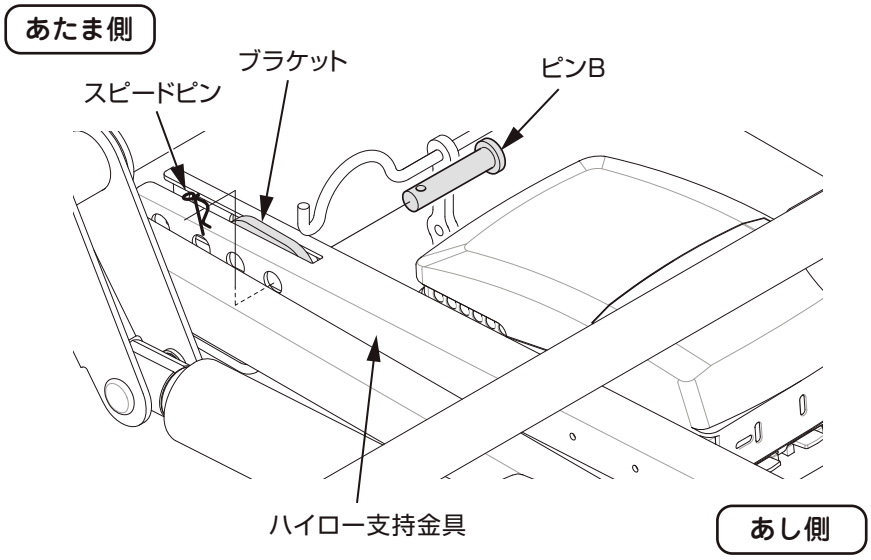
NS-810
NS-830･NS-820ではこの作業はおこないません

1 ベッドの角度を調節する

手元スイッチを操作して、あたまを一番下まで下げます。

2 ハイロー支持金具を取り外す

1. スピードピンを抜き、モーターユニットを持ち上げた状態でピンBを取り外します。
2. ハイロー支持金具をブラケットから取り外します。



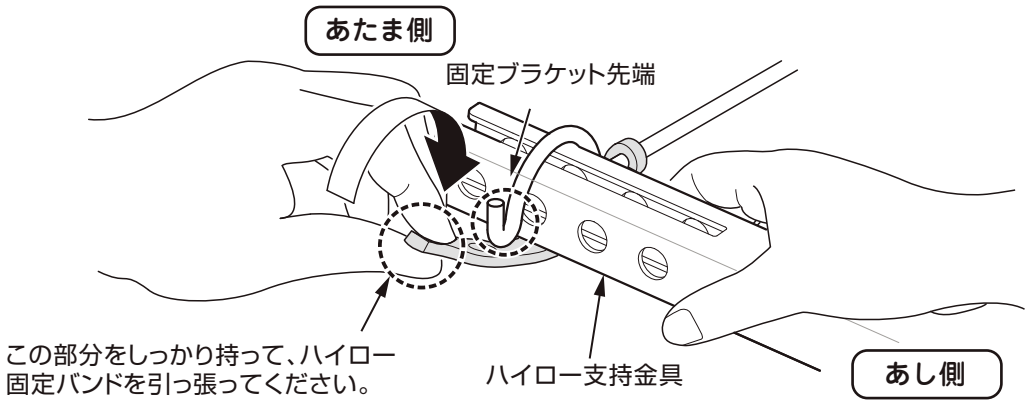
⚠ 注意

事故、破損の原因になります。

◆ハイロー支持金具が脱落しないように必ずハイロー支持金具を手で支えてください。

3 ハイロー固定バンドで固定する

ハイロー固定バンドを矢印の方向に引っ張って固定ブラケットの先端に引っ掛けます。

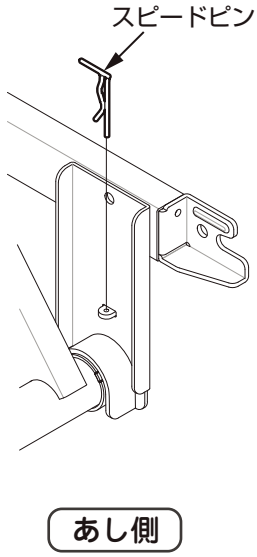


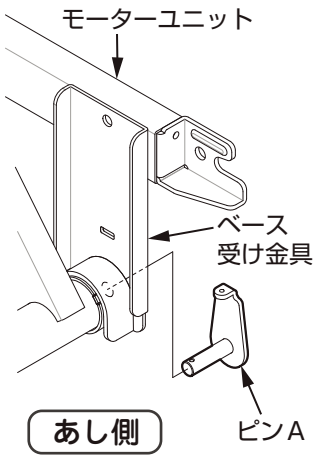
STEP9　モーターユニットの取り外し

ユカキズ防止キャップ無しのとき
ユカキズ防止キャップ付きは次頁を参照願います

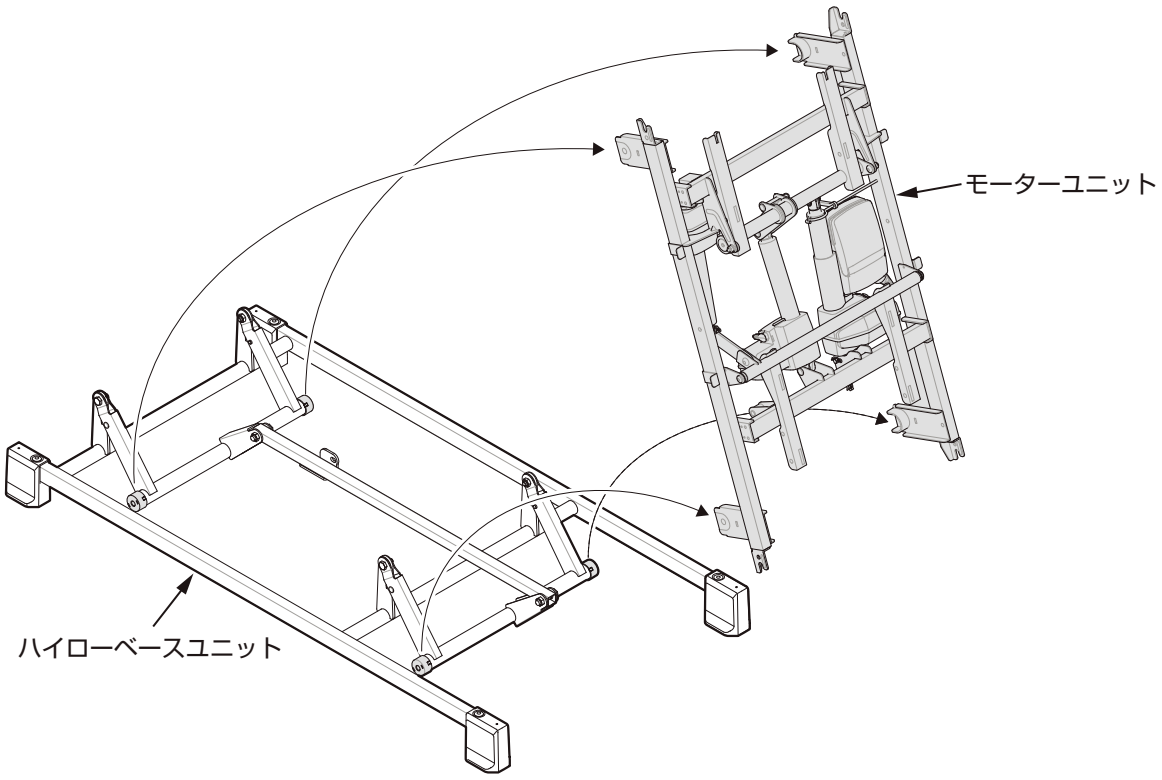
1 モーターユニットを取り外す

1. スピードピンを抜き、ピンAを取り外します。（４ヶ所）





2. モーターユニットを持ち上げ、取り外します。

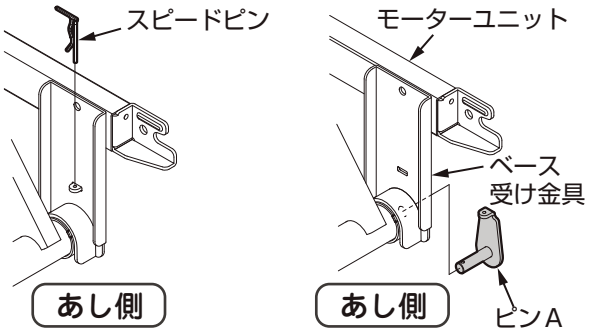


STEP9　モーターユニットの取り外し

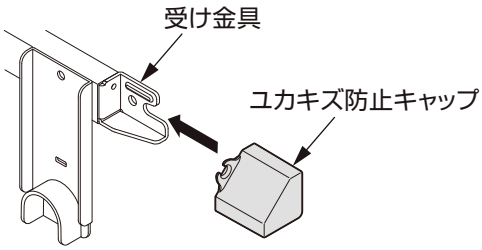
ユカキズ防止キャップ付きのとき
ユカキズ防止キャップ無しは前頁を参照願います

1 モーターユニットを取り外す

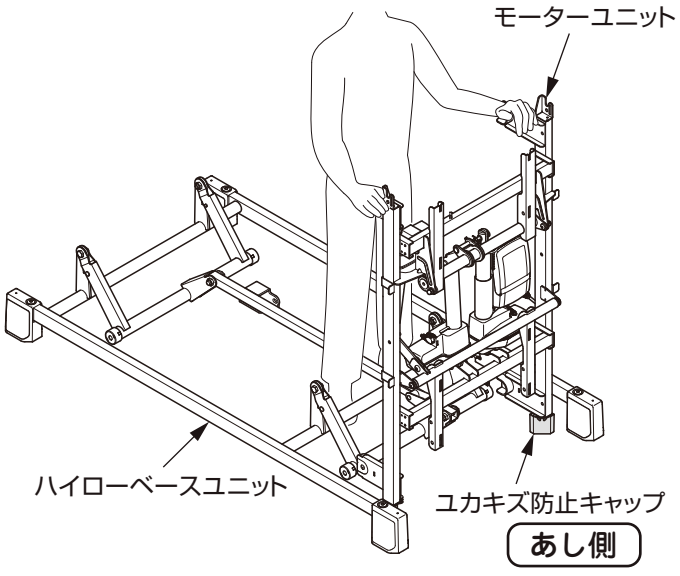
1. スピードピンを抜き、ピンAを取り外します（4ヶ所）。



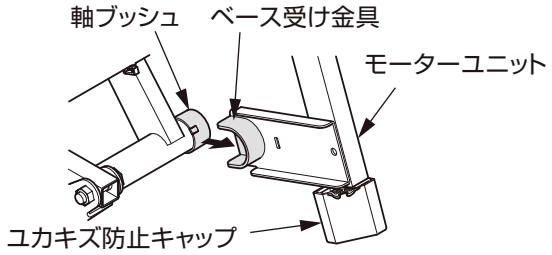
2. ユカキズ防止キャップをあし側のモーターユニットの受け金具に取り付けます（左右2ヶ所）。



3. モーターユニットのあたま側を持ち、あし側の受け金具を回転軸にして持ち上げます。



4. あし側のベース受け金具を片側ずつ動かして、ハイローベースユニットから取り外します。

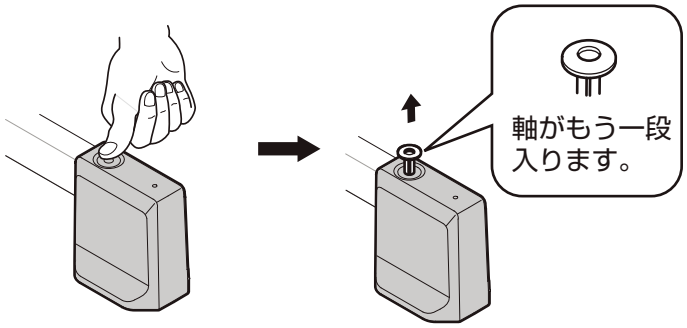


STEP10　脚座の取り外し(脚座を取り外して保管する場合)

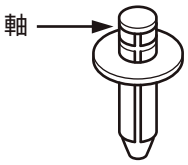
1 プッシュリベットの固定を解除する（4ヶ所）

カチッと音がするまで軸を、押し込みます。

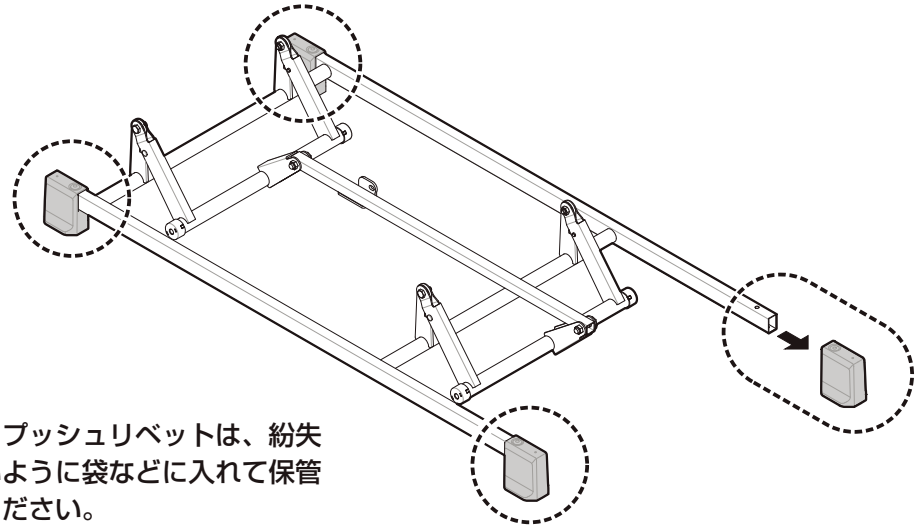
※指で押し込めない場合は、押し込みすぎないように注意してドライバーなどで軽く押し込んでください。



※再度取り付ける際は、下図のように
軸を出してください。



2 脚座を取り外す（4ヶ所）



※脚座とプッシュリベットは、紛失しないように袋などに入れて保管してください。

付属部品と分解したユニットの保管

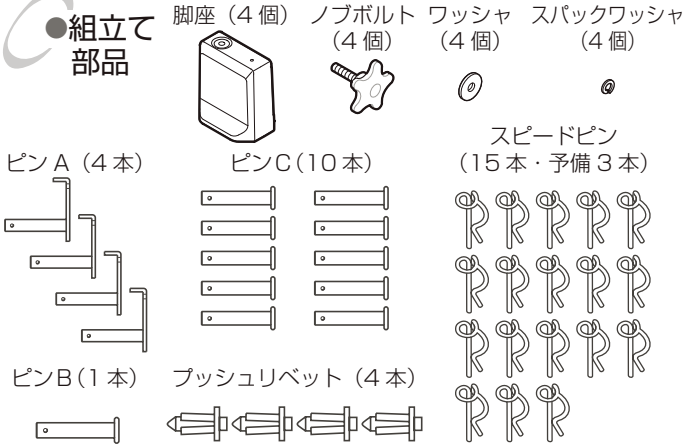
ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。

Point

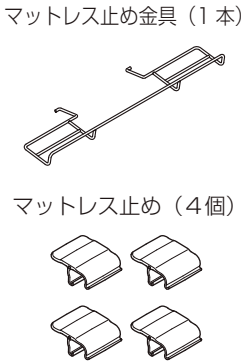
●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすいところに明記しておくと、後日開梱するときに便利です。

●取扱説明書（1 冊）

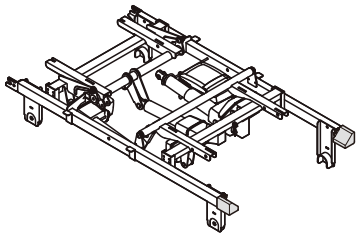
●組立て部品



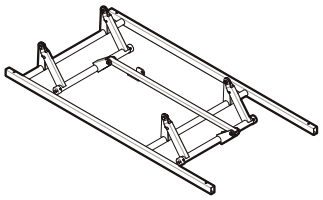
●付属部品



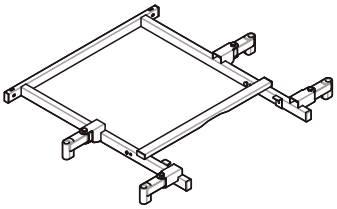
●モーターユニット



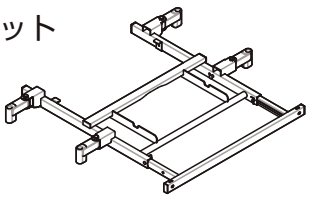
●ハイローベースユニット



●フロントユニット



●リアユニット

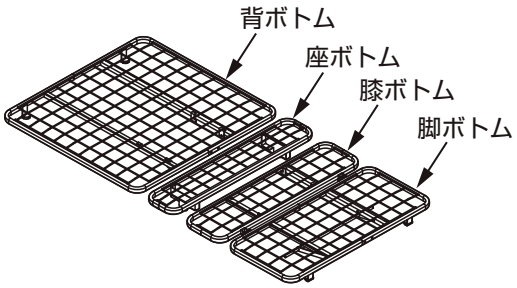


お願い

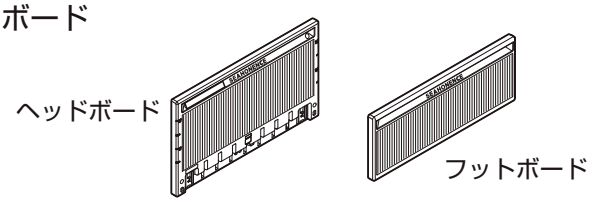
事故、破損の原因となります。

◆手元スイッチ、電源コードは束ねてモーターユニットに固定して保管してください。

●ボトム



●ボード



お願い

キズや破損の原因となります。

◆ボードを重ねるときは、金具でボードが傷つかないように当てものをしてください。

こんなときは

日常のお手入れ

●拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞っておこなってください。
●その後、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
●洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

消毒用エタノール：76.9%～81.4%
塩化ベンザルコニウム液(オスバン)：0.05%～0.2%
クロルヘキシジン液(ヒビデン)：0.05%
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)：0.05%～0.2%

・オスバンは、日本製薬㈱の登録商標です。
・ヒビテンは、アストラゼネカ・ユーケイ・リミテッドの登録商標です。
・ハイアミンは、ロンザ インコーポレーテッドの登録商標です。

⚠ 警 告

事故・故障・ケガの原因になります

◆必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

破損の原因になります

◆水で薄めた中性洗剤を使用する。
揮発性のもの**(シンナー、ベンジン、アセトン、クレゾール)**などは絶対に使用しないでください。本体が変色したり、塗装がはがれるおそれがあります。

故障かな？と思ったら

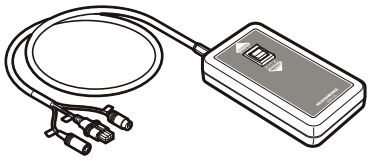
●故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。
それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店に修理をご依頼ください。

症　状	チェック	処　置
コントロールボックスのランプが消えている	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか?	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
手元スイッチを押しても動かない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか?	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
	手元スイッチコードがコントロールボックスから抜けかけていませんか？	手元スイッチのコードをコントロールボックスにしっかりと奥まで差し込んでください。 コントロールボックスのふたをしっかりと押さえて閉めてください。
	長時間連続で操作していませんか?	20 ～ 30 分後に操作してください。
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物がありませんか?	障害物を取り除いてください。
	手元スイッチの緑色ランプが点灯していますか?	電源ボタンを押してください。
	手元スイッチのオレンジ色ランプが点灯していませんか?	ロックを解除してください。 10 ページ 参照

緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅介護ベッドCORE Neoは、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手動で背ボトムを下げることができます。
「背下げの方法」には、“セーフティハンドスイッチを使用する方法” と、セーフティハンドスイッチを使用しないで “手動での方法” の2つがあります。

Point



- セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】をご用意いただくことで、急な停電で電源が確保できない緊急時でも、安全にベッドを操作することができます。
- セーフティハンドスイッチを使用するとベッドの背ボトム「下げ」以外にも、膝ボトム「上げ・下げ」操作、ベッドの高さ「下げ」操作をおこなうことができます。

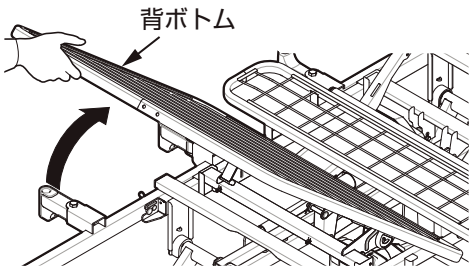
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

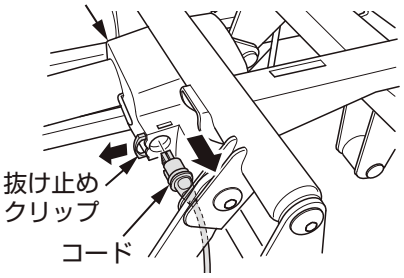
◆ベッドをご使用の方・寝具をベッドから降ろして作業をおこなってください。
◆背ボトムを手で支えて作業をおこなってください。
◆電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いてください。
◆スピードピンを外す際は、ラジオペンチやプライヤーを使用してください。

セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】を使用する方法について

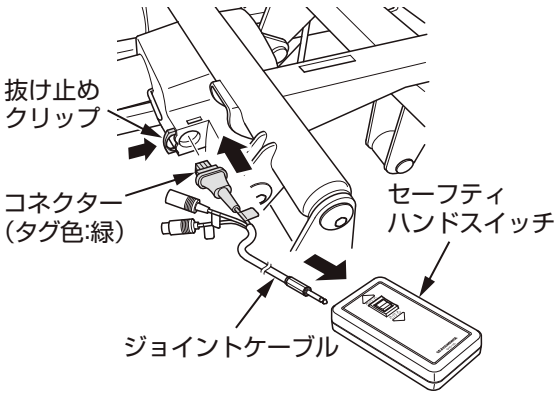
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。60 ページ 参照
3. 背ボトムを持ち上げます。



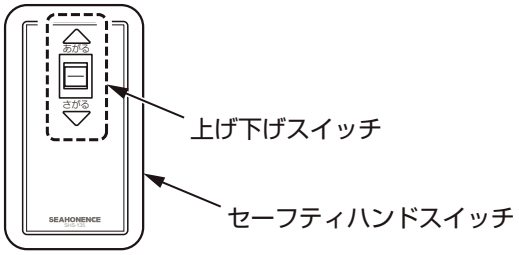
4. 背上げモーターからコードを抜きます。
   ・抜け止めクリップを外し、コードを引き抜きます。



5. 背上げモーターにジョイントケーブルのコネクター（タグ色：緑）を接続します。
6. ジョイントケーブルをセーフティハンドスイッチに接続します。



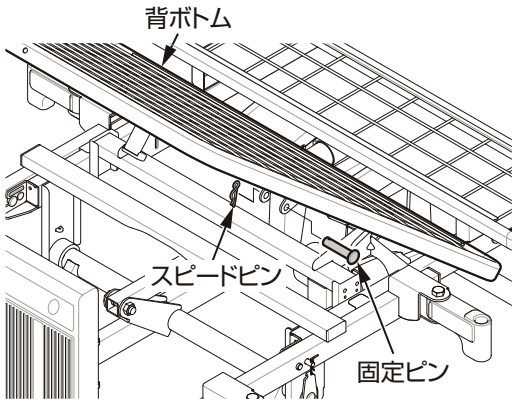
7. セーフティハンドスイッチの上げ下げスイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。



8. 背上げモーターからセーフティハンドスイッチのジョイントケーブルコネクターを抜き、手順4.で抜いたコードを接続します。
9. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
10. ヘッドボードを取り付けます。35 ～ 36 ページ 参照

手動での方法

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具をベッドから降ろします。
3. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。60 ページ 参照
4. 背ボトムが落下しないように手で支えます。
5. 図の固定ピンとスピードピンを取り外します。



Point

- 外した固定ピン、スピードピンは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。

6. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
7. ヘッドボードを取り付け、寝具をベッドに戻します。
その後、ご使用の方にベッドへお戻りいただきます。35 ～ 36 ページ 参照

もどしかた

電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具をベッドから降ろします。
3. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。60 ページ 参照
4. 背ボトムを手で支えて上に上げます。
5. 固定ピンとスピードピンを取り付けます。
6. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
7. ヘッドボードを取り付け、寝具をベッドに戻します。
8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
その後、ご使用の方にベッドへお戻りいただきます。35 ～ 36 ページ 参照

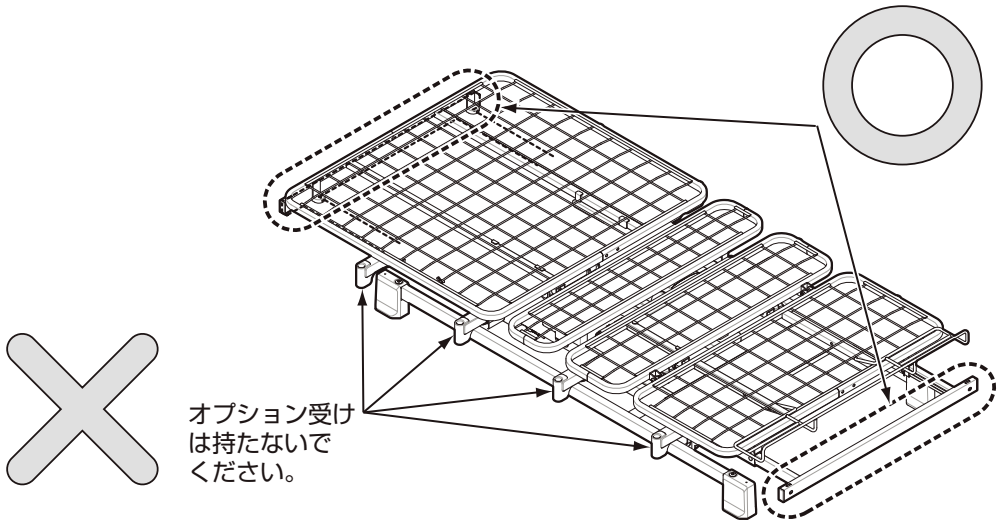
保管と移動

組み立てた状態で保管する場合

- ベッドの高さを最低位置まで降ろしてください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平の位置まで降ろしてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを乗せないでください。
- マットレスの上には何も乗せないでください。（マットレスの上に物を乗せたままにしますとマットレスが変形する場合がありますのでおやめください）
- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードは破損しないよう束ねてください。
- 立て掛けたり、横倒しにしないでください。
- 高温、多湿、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- お使いになる場合は、「組み立て後の点検」37 ページ 参照 に従って点検してください。

組み立てた状態で移動する場合

- 背中、腰を痛めないように4人以上で運んでください。
- 使用されている方をベッドから降ろして、寝具、マットレス、ヘッドボード・フットボード、オプション（回転式アーム介助バー、サイドレールなど）は取り外してください。
- 移動の際は、フレームを両手でしっかり持っておこなってください。
- 危険ですのでヘッドボード・フットボード、オプション受け、ボトムなどは持たないでください



- 電源コード、手元スイッチは、移動の前に束ねてキズなどがつかないようにベッドに固定してください。

分解して保管または移動する場合

ベッドの分解は販売店、または弊社カスタマーサポート（有料）にご依頼されることをお勧めします。
お客様でベッドを分解される場合は、「分解」を参照してベッドを分解してください。
60 ～ 71 ページ 参照
使用を再開する場合は、「設置」を参照して組み立てた後に必ず点検してください。
16 ～ 37 ページ 参照

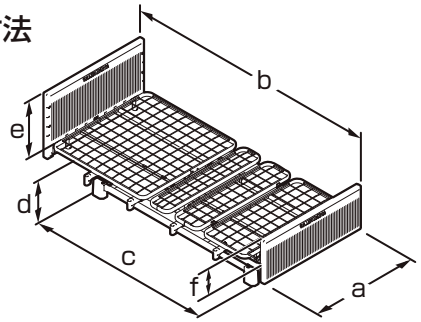
仕　様

品名		CORE Neo		
品番		NS-830/ NS-820/ NS-810		
ベッド本体	サイズ（幅）	90cm 幅		
	タイプ（長さ）	ショート	レギュラー	ロング（オプション）
	寸　法 a：全幅	98.8cm		
	寸　法 b：全長	196cm	206cm	220cm(オプション)
	寸　法 c：脚座間の長さ	141cm		
	寸　法 d：ボトム高さ	NS-830/NS-820：25cm ～ 61cm（ゆかからボトム上面まで）		
	寸　法 d：ボトム高さ	NS-810＝25cm・29cm・33cm・37cm（組みかえ式）		
	寸　法 e：ヘッドボード高さ	樹脂ボード：39.5cm（ボトム上面からヘッドボード上面まで）		
	寸　法 f：フットボード高さ	樹脂ボード：22cm（ボトム上面からフットボード上面まで）		
	寸　法 ボトム幅	90cm		
	寸　法 ボトム長さ	181cm	191cm	205cm(オプション)
	総質量（樹脂ボード） NS-830	72kg	72kg	73kg
	総質量（樹脂ボード） NS-820（脚連動モーション）	71kg	71kg	72kg
	総質量（樹脂ボード） NS-810（背上げ 1 モーター）	69.5kg	69.5kg	70.5kg
	モーター数	NS-830：3 モーター / NS-820：2 モーター / NS-810：1 モーター		
	操　作	手元スイッチ、ボタン操作		
	主な材質 ハイローベースユニット	スチール製・粉体焼付塗装仕上げ・ 合成樹脂成形品・アルミダイカスト成形品 塗装色：ディープブラウン		
	主な材質 モーターユニット			
	主な材質 フロント・リアユニット			
	主な材質 各ボトム			
	主な材質 ヘッド・フットボード	樹脂ボード：PP 樹脂ブロー成形、木製ボード：MDF、高級木目化粧シート、PVC		
	最大利用者体重	138kg		
	安全動作荷重	174kgf（1700N）※1		
	最大マットレス厚	17cm※2		
	背上げ 傾斜角度	0 ～ 70 度		
	背上げ 昇降時間	約 30 秒		
	膝上げ 傾斜角度	NS-830：0 ～ 30 度　/　NS-820、NS-810：0 ～ 20 度		
	膝上げ 昇降時間	NS-830：約 16 秒　/　NS-820、NS-810：背上げと連動		
	高さ調節 昇降距離	NS-830、NS-820：36cm　/　NS-810：4cm 間隔		
	高さ調節 昇降時間	NS-830、NS-820：約 33 秒　/　NS-810：手動組みかえ式		
	ヘッドレスト（オプション） 昇降角度	0 ～ 30 度		
	ヘッドレスト（オプション） 昇降時間	約 10 秒		
	動作保証条件	10 ～ 40℃　/　30 ～ 75%RH		
電装品	モーター形式	リニアアクチュエータ（DC モーター）		
	電源電圧、周波数	AC100V　50/60Hz		
	消費電力（無負荷）	高さ調整：約 60W 以下　背上げ：約 35W 以下、膝上げ：約 35W 以下 ヘッドレスト（オプション）：約 15W 以下		
	待機電力	約 3W 以下		
	連続使用時間	2 分（間欠 18 分）		
	動作音	65dB 以下		

※1　最大利用者体重とマットレスやオプションを含めた重さ

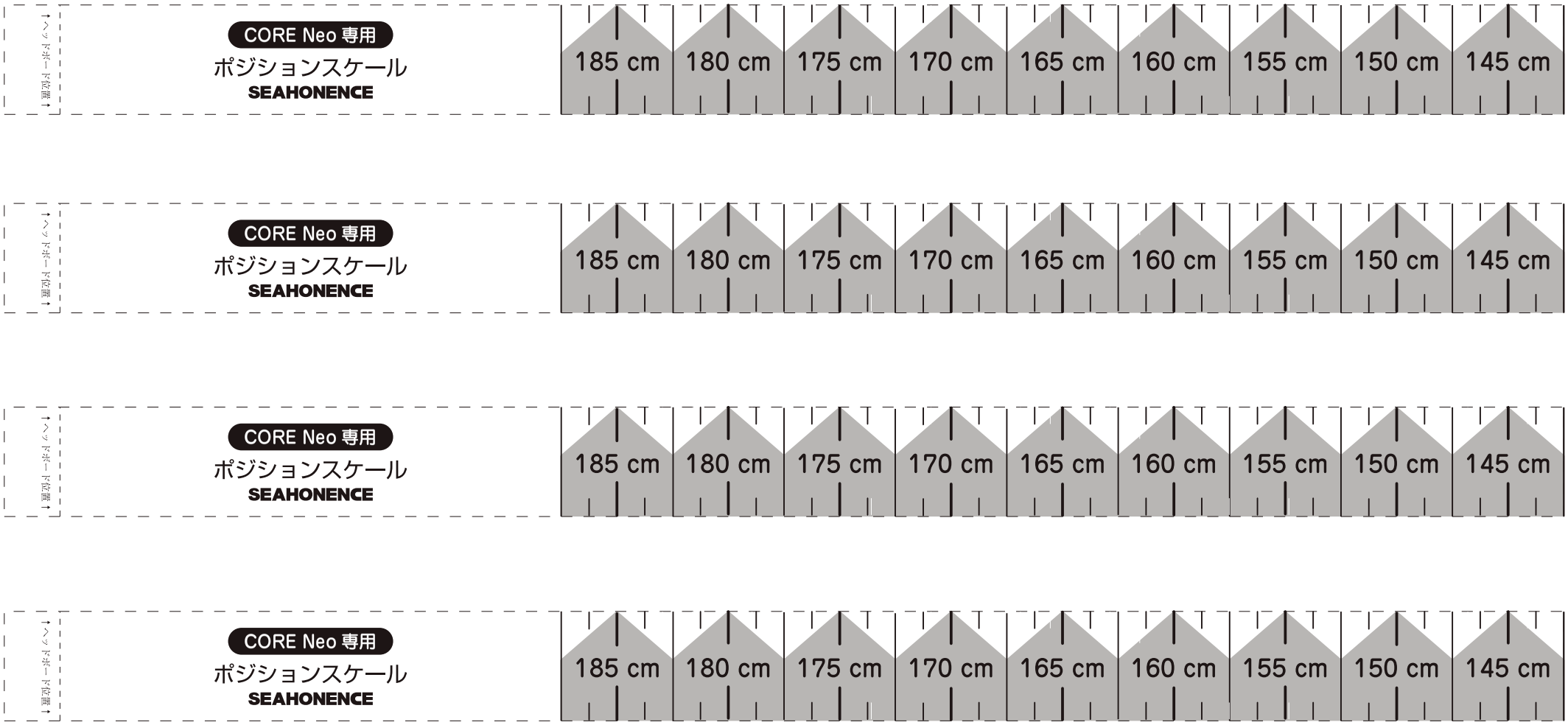
※2　サイドレール使用時に適合する最大マットレス厚

■各部の寸法



※a～f の寸法は、上記表に記載しています。

	項　目	箇　所
a	全幅	最大外径寸法（オプション受け使用時）
b	全長	最大外径寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム間（最低高さ～最高高さ）
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボード上端



このページをコピーして「ポジションスケール」を使用してください。

15ページ 参照

MEMO

保証とアフターサービス

修理を依頼されるとき

故障した際は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名、品番　●故障・異常の内容(できるだけ詳しく)　●お買い上げ日　●お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

保証書

このベッドには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証書

品名／品番	電動在宅ケアベッド　CORE Neo NS-830,NS-820,NS-810	保証期間	お買い上げより1ヵ年間
お客様	お名前 〒 住所 TEL	販売店	お買い上げ日　　年　　月　　日 販売店名 住所 TEL

1.1年間の保証期間に取扱説明書に従った正常な使用状況で故障した場合には、無償修理致します。
2.保証期間内でも次の場合は有償になります。
　①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損がある場合。
　②お買い上げ後の落下による故障および破損。
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
　④本書の提示がない場合。
　⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3.本書は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4.本書は再発行いたしませんので紛失しないようご注意ください。

※販売店さまへのお願い… お買い上げ日および貴店名、住所、電話番号を記入、捺印したうえでお客様にお渡しください。

修理、お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まずお買い上げの販売店、レンタル取次店へお申し付けください。

10月1日は 福祉用具の日

カスタマーサポートお問い合わせ窓口・・・ FreeCall 0120-20-1001（無料 ツーワ）

シーホネンス株式会社

札幌/仙台/東京/神奈川/静岡/名古屋/大阪/高松/広島/九州/南九州/宮崎/沖縄

本　社　／　〒537-0001　大阪市東成区深江北3-10-17
TEL(06)6973-3471　FAX(06)6973-3440

医療・介護ベッドの最新情報は、シーホネンス・ホームページをご覧ください。 **www.seahonence.co.jp**

©2017　SEAHONENCE INC.（シーホネンス株式会社）All Rights Reserved.

2018.06.01